官報　第八千十九號　明治四十三年三月十九日　土曜日　印刷局

○勅令

朕衛戍條例改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十三年三月十八日

内閣總理大臣　侯爵桂太郎
陸軍大臣　子爵寺内正毅

勅令第二十六號

衛戍條例

第一條　陸軍軍隊ノ永久一地ニ駐屯スルヲ衛戍ト稱シ當該軍隊ニ於テ其ノ地ノ警備及陸軍ノ秩序軍紀風紀ノ監視竝陸軍ニ屬スル建築物等ノ保護ニ任ス

第二條　衛戍勤務ハ東京ニ在リテハ東京衛戍總督之ヲ統轄シ要塞又ハ警備隊ノ所在地ニ在リテハ要塞司令官又ハ警備隊司令官其ノ他ニ在リテハ其ノ地駐屯團隊ノ高級團隊長（憲兵隊長ヲ除ク）衛戍司令官ト爲リ之ヲ管轄スルモノトス

第三條　衛戍勤務執行ノ區域ハ東京衛戍總督又ハ衛戍司令官之ヲ定メ其ノ區域ヲ衛戍地ト稱シ其ノ地名ヲ冠シテ某衛戍地ト謂フ

師團長ハ衛戍勤務ニ關シ師管内各衛戍司令官ヲ監督ス

第四條　團隊長又ハ要塞司令官若ハ警備隊司令官ニシテ衛戍司令官ナルトキハ其ノ部隊ノ副官ハ衛戍副官ヲ兼ヌルモノトス

第五條　東京衛戍總督及衛戍司令官ハ衛戍勤務ニ關シテハ其ノ地駐屯ノ軍隊（憲兵隊ヲ除ク）ヲ指揮シ衛兵ノ部署及其ノ編成ヲ定ム但シ衛戍勤務ハ近衛師團ノ禁闕守衛勤務ヲ妨クルコトナシ

第六條　東京衛戍總督及衛戍司令官ハ警備上必要ト認ムルトキハ其ノ管轄ニ屬セサル軍隊ト雖其ノ衛戍地ニ在ルモノニ對シ援助ヲ請求シ又ハ憲兵ヲシテ地方ノ狀況ヲ報告セシメ且緊急ノ場合ニハ直ニ之ニ命令スルコトヲ得

第七條　前條ノ請求ヲ受ケタル團隊長ハ正當ノ理由ナクシテ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第八條　衛戍地ニ在ル軍隊ハ東京衛戍總督又ハ衛戍司令官ノ管轄ニ屬セサルモノト雖東京衛戍總督又ハ衛戍司令官ノ定メタル衛戍ニ關スル諸規則ヲ遵守スヘキモノトス

第九條　東京衛戍總督及衛戍司令官ハ災害又ハ非常ノ際治安維持ニ關スル處置ニ付テハ當該地方官ト協議スルモノトス

東京衛戍總督及衛戍司令官ハ災害又ハ非常ノ際地方官ヨリ兵力ヲ請求スルトキ事急ナレハ直ニ之ニ應スルコトヲ得

其ノ事地方官ノ請求ヲ待ツノ遑ナキトキハ兵力ヲ以テ便宜處置スルコトヲ得

第十條　東京衛戍總督及衛戍司令官ハ豫メ災害又ハ非常ノ際陸軍ニ屬スル諸建築物其ノ他ノ物件ノ救防及警戒ニ關スル處置ヲ規定シ置クヘシ皇族邸宅官衙公署等ノ救防及警戒ニ關シ必要アルトキ亦同シ

東京衛戍總督ハ前項ノ事項ニシテ宮闕ニ關聯スルモノハ近衛師團長ト協議スヘシ

第十一條　軍隊ハ衛戍地外ニ在ルトキト雖其ノ任務ニ妨ナキ限リ本令ニ準シ衛戍勤務ヲ行フヘシ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○軍令

朕衛戍勤務令ヲ制定シ之カ施行ヲ命ス

御名御璽

本文
特80119号

明治四十三年三月十八日

陸軍大臣　子爵寺内正毅

軍令陸第三號

衛戍勤務令

第一章　總則

第一　衛戍勤務ハ本令及衛戍條例ニ依リテ之ヲ行フ

第二　本令ニ於テ衛戍司令官ト稱スルハ東京衛戍總督ヲ含ム

第二章　衛戍司令官ノ職務

第三　衛戍司令官ハ衛兵ヲ以テ警備スヘキ官衙學校倉庫等竝衛兵ニ充ツヘキ部隊衛兵ノ編成哨所ノ箇所、守則服務時間及報告等ニ關スル事柄ヲ定ムヘシ

第四　衛戍司令官ハ巡察ヲ出スヘキ兵科部隊、巡察ノ人員、日時及地域ニ關スル事柄ヲ定ムヘシ

第五　衛戍司令官ハ衛戍勤務ニ關シ衛戍地ニ在ル諸部隊ノ長官ニ對シ移牒、命令、訓示ヲ發シ所要ノ通報、報告ヲ求ムルコトヲ得但シ其内務ニ及フコトナシ

第六　衛戍司令官ハ衛戍勤務ニ關スル規定中必要ナル事柄ハ地方官及憲兵ニ通報スヘシ

第七　衛戍司令官ハ災害又ハ非常ノ際ニ方リ兵力ヲ用ヰムトスルトキ若ハ用ヰタルトキハ之ヲ陸軍大臣ニ報告スヘシ但シ師團長ノ統轄ニ屬スル衛戍司令官ニ在リテハ之ト同時ニ當該師團長ニ報告スヘシ

第八　衛戍勤務執行ノ區域ハ衛戍司令官之ヲ陸軍大臣ニ報告スヘシ但シ師團長ノ統轄ニ屬スル衛戍司令官ニ在リテハ當該師團長ヲ經ヘキモノトス

第九　衛戍司令官ハ衛兵所備付物品ノ品目員數ヲ定ムヘシ

第十　軍港又ハ要港所在地ノ衛戍司令官ハ職務ノ執行ニ關シ海軍ニ關聯スル事柄ハ豫メ海軍官憲ト協議スヘシ

第三章　衛戍勤務

第一款　通則

第十一　衛戍勤務ハ主トシテ衛戍衛兵及衛戍巡察ヲ以テ之ヲ行フ

衛戍勤務ニ服スル者ハ其必要ニ應シ步騎砲、工輜重兵科ノ者ヲ以テ之ニ充ツ

第十二　衛戍勤務ニ服スル者ハ左ニ記スル場合ニ非サレハ兵器ヲ用ユルコトヲ得ス

一　暴行ヲ受クルトキ又ハ兵器ヲ用ユルニ非サレハ鎭壓スルノ手段ナキトキ

一　人及土地其他ノ物件ヲ防衛スルニ兵器ヲ用ユルニ非サレハ他ニ手段ナキトキ

衛戍勤務ニ服スル者兵器ヲ用ヰタルトキハ直ニ衛戍司令官ニ報告シ衛戍司令官ハ之ヲ陸軍大臣ニ報告スヘシ但シ師團長ノ統轄ニ屬スル衛戍司令官ニ在リテハ之ト同時ニ當該師團長ニ報告スヘシ

第十三　衛戍勤務ニ服スル者ハ其任務ニ妨ナキ限リ左ニ掲クル者ヲ逮捕スルコトヲ得又軍人外ノ犯罪者ト雖之カ逮捕ノ爲憲兵又ハ警察官ヨリ援助ノ請求アルトキハ之ニ應スルコトヲ得但シ衛兵司令及其衛兵ノ約半數ハ何レノ場合ニ於テモ衛兵所ヲ離ルルコトヲ許サス

一　暴行殺人逃亡放火賭博强盜竊盜等ノ現行犯人

一　營内居住ノ下士兵卒日夕點呼後勤務ニ依ラス又ハ免許證ヲ所持セスシテ營外ニ在ル者

總テ逮捕シタル者ハ軍人軍屬又ハ常人タルトニ依リ成ルヘク速ニ憲兵、警察官又ハ所屬部隊ニ引渡スヘシ

第十四　衛兵司令及巡察勤務ニ服スル者ハ禁錮以上ノ刑ニ該ルヘキ現行犯人ニ非スト雖軍人軍屬ノ現行犯ヲ認ムルトキハ其氏名所屬部隊ヲ尋問シ必要アルトキハ憲兵又ハ所屬部隊ニ引渡スヘシ

第二款　衛戍衛兵

第十五　衛戍衛兵ハ其警備スル官衙等ノ名稱ヲ冠シ某衛戍衛兵ト稱ス

第十六　衛戍衛兵ノ服務ハ通常二十四時間トシ一哨所ニ兵卒三名ヲ充テ單哨ニシテ概ネ一時間毎ニ交代スルモノトス但シ衛戍司令官ハ必要ニ應シ其兵數ヲ增加シ哨所ノ數ヲ增シ又ハ複哨下士哨ト爲スコトヲ得

第十七　衛戍司令官ハ衛戍衛兵ヲ衛戍地外ニ在ル彈藥庫火藥庫等ニ備フルトキ分遣隊ト稱ス又ハ警備上其他必要ト認ムルトキハ衛戍衛兵ヲシテ約一週間若ハ必要期間逗續服務セシムルコトヲ得

第十八　衛戍衛兵ノ服裝ハ軍裝トシ通常水筒雜嚢器具、手旗、飯盒、豫備靴携帶天幕毛布ヲ除クモノトス但シ銃ヲ携ハサル者ハ背嚢ヲ負フコトナシ

第十九　衛戍衛兵衛兵所ニ在ル間ハ銃及背嚢ヲ順序正シク整頓シ置クヘシ敬禮ノ爲整列スルトキ及巡察ノ際ハ背嚢ヲ負ハサルモノトス

第二十　衛戍衛兵ハ書見スヘカラス又許可ナクシテ衛兵所ヲ離ルヘカラス衛兵司令衛舍ヲ離ルルヲ要スルトキハ代理者ヲ命シ置クヘシ

第二十一　衛戍司令官ハ夜間衛兵ノ三分ノ一ニ衛兵所ニ於テ假眠ヲ許シ又毛布蚊帳ノ使用ヲ許スコトヲ得

第二十二　衛戍司令官ハ分遣隊ノ者ニ限リ夜間將校下士ノ内一名上等兵ノ内一名及一二等卒ノ内次回ノ上番タルヘキ者ヲ除クノ外之ニ就眠ヲ許シ又衛兵所ニ寢具ヲ備付クルコトヲ得

第二十三　衛兵所ニハ非常用トシテ實包ヲ備フ但シ其彈藥函ノ鍵ハ衛兵司令之ヲ保管シ衛戍司令官ノ命令アルカ又ハ萬已ムヲ得サルニ非サレハ實包ヲ分配スヘカラス

第二十四　緊急ノ場合ニ備フル爲衛兵所ニハ衛戍司令官、最寄軍隊、憲兵隊、警察署、消防署等ノ所在及之ニ通スル道路ヲ示シタル略圖ヲ備ヘ必要ナル電話番號等ヲ記シ置クヘシ

第二十五　衛兵司令ハ勤務ノ輕重ニ應シ將校、准士官又ハ下士ヲ以テ之ニ充テ衛舍掛步哨掛ハ下士若ハ上等兵ヲ以テ之ニ充ツ

衛兵ノ人員少キトキハ一名ヲシテ衛舍掛步哨掛ヲ兼ネシメ又上等兵ヲ以テ衛兵司令ト爲スコトヲ得

第二十六　衛兵司令ハ衛戍司令官ノ命ヲ承ケ其任務ニ服シ且衛兵所及備付物品ノ清潔保存ノ責ニ任ス

第二十七　衛兵司令ハ步哨ヲ出スヘキ哨所ノ數、巡察若ハ斥候ノ規定、災害又ハ非常ノトキニ於ケル處置竝門ノ出入ヲ許スヘキ者及物品持出ニ付テハ豫メ衛戍司令官ノ指示ヲ受クヘキモノトス

第二十八　衛兵交代ノ際下番衛兵ハ通常衛兵所ノ前ニ於テ其左方ニ上番衛兵ノ爲餘地ヲ置キ整列シ兩衛兵ハ部隊相互ノ敬禮ヲ行ヒ下番衛兵司令ハ必要ノ申送ヲ爲シ步哨ノ交代、物件ノ受渡ヲ了ヘタル後再ヒ部隊相互ノ敬禮ヲ行ヒ下番衛兵ハ退場ス

第二十九　衛兵司令ハ衛兵交代後直ニ各哨所ヲ巡視シ步哨ニ其守則ヲ試問スヘシ爾後屢巡察シ步哨ノ勤惰ヲ監視シ非違ヲ戒メ特ニ火災豫防ニ注意スヘシ

第三十　衛兵司令ハ門ノ出入若ハ倉庫ノ開扉等ヲ請フ者アルトキハ自ラ之ヲ檢シ疑ナキコトヲ確認スルニ非サレハ許スヘカラス但シ守警若ハ守衛ニ於テ之ヲ檢スルノ規定アルモノハ此限ニ在ラス

第三十一　衛兵司令ハ門ノ出入多キトキ又ハ倉庫開扉中等必要ト認ムルトキハ一時哨兵ヲ增スヘシ

第三十二　分遣隊ニ於ケル衛兵司令ハ警備ニ差支ナキ限リ衛兵ヲシテ教練ヲ行ハシムヘシ

第三十三　衛兵司令ハ衛兵中勤務ニ堪ヘ難キ病者ヲ生シ又ハ刑法ニ該ル犯人アリテ交代ヲ要スルトキハ直ニ當該所屬隊ニ交代者ヲ請求スヘシ

第三十四　衛兵司令ハ衛兵所備付物品中修理又ハ交換ヲ要スルモノ及消耗品ハ之ヲ衛兵所所屬ノ官廳ニ請求スヘシ但シ故意又ハ過失ニ依ル破損缺失ニ付テハ始末書ヲ徵シ衛戍司令官ニ差出スヘシ

第三十五　衛兵司令ハ火災又ハ非常ノ際等至急ヲ要スルモノハ即時、其他服務中ノ出來事ハ衛兵交代ノトキ報告表ニ記入シ衛戍司令官ニ報告スヘシ

第三十六　衛舍掛ハ衛兵司令ノ命ヲ承ケ當番卒ヲ指揮シ衛兵所竝之ニ屬スル下番衛兵司令ハ服務中ノ狀態ヲ歸隊ノ後週番大尉ニ報告スヘシ

第三十七　衛舍掛ハ衛兵司令ノ命ヲ承ケ當番卒ヲ指揮シ衛兵所竝之ニ屬スル建物等内外ノ清潔保存ニ任シ備付物品ヲ監守シ特ニ火元取締ニ任スヘシ

第三十七　上番衛舍掛ハ衛兵交代ノトキ下番衛舍掛立合ニテ衛兵所哨舍其他諸物品ヲ檢シ之ヲ受領スヘシ若シ破損缺失アルトキハ下番衛舍掛ヨリ其證明書ヲ徵シ之ヲ衛兵司令ニ差出スヘシ

第三十八　步哨掛ハ衛兵司令ノ命ヲ承ケ步哨ノ交代ヲ掌リ哨舍ノ清潔保存ニ任シ步哨ヲシテ服裝ヲ正フシ守則ヲ熟知シ且嚴密ニ之ヲ實施セシムヘシ

第三十九　衛兵交代ノトキ步哨掛ハ上番步哨ヲ率ヰテ哨所ニ至リ下番步哨ニ向キ合ヒ又ハ之ニ竝ハシメ下番步哨掛立合ニテ守則ノ申繼ヲ受ケシムヘシ

衛兵交代ノ場合ニ非サル步哨ノ交代モ亦之ニ準ス

第四十　步哨ハ嚴ニ守則ヲ守リ常ニ耳目ヲ働カシ警戒ヲ怠ルヘカラス

第四十一　步哨ハ立銃又ハ擔銃ヲ爲シ常ニ姿勢動作ヲ正クシ用務ノ外他人ト談話スヘカラス又頭巾ヲ冠ルコトヲ禁ス

第四十二　步哨ハ雨雪ノトキ哨舍ニ入ルコトヲ得但シ特ニ警戒ヲ要スルトキ又ハ敬禮ヲ行フ際ハ哨舍ヨリ出ツヘシ

第四十三　步哨ハ衛戍勤務ニ關係アル上官及直屬系統ノ團隊長ニ非サレハ之ニ守則ヲ語ルヘカラス

第四十四　步哨ハ特ニ定メラレタル場合ノ外哨所ノ位置ヨリ三十步以外ノ地ヲ運動スルコトヲ禁ス

第四十五　步哨ハ衛兵所又ハ鄰リ步哨ニ警報セムトスルトキハ「氣ヲ著ケ」ト呼フヘシ

第四十六　步哨ハ夜間又ハ別命アル場合ヲ除クノ外銃ニ劍ヲ著クヘカラス

第四十七　步哨ノ敬禮ハ哨所ノ位置ニ於テ之ヲ行フヘシ但シ其位置ニ復スルノ進ナキトキハ現位置ニ於テ行フモ妨ナシ

衛舍前ニ在ル步哨ハ陸軍禮式ニ依リ衛兵整列ノ敬禮ヲ受クヘキ者來ルトキハ「整列」ト呼フヘシ

第四十八　衛兵ノ勤務ニ關シテハ本款ノ外野外要務令前哨勤務ノ規定ヲ準用ス

第三款　衛戍巡察

第四十九　衛戍巡察ハ衛兵ノ勤惰ヲ監察シ定メラレタル場所ヲ巡回シ軍人軍屬ノ非違ヲ戒メ又災害若ハ非常ノ際ニ方リテ治安維持ノ爲指定ノ地域ヲ巡視スルモノトス

第五十　衛戍巡察ハ將校又ハ准士官ヲ以テ之ニ充テ必要ニ應シ之ニ下士兵卒ヲ附屬ス

第五十一　衛戍司令官ハ巡察ノ數、種類、日時及巡察スヘキ場所又ハ區域ヲ定ムル若シ巡察スヘキ區域廣キトキハ數箇ニ分チ巡察セシム

第五十二　衛戍巡察ヲ分チテ第一種巡察第二種巡察トス

第五十三　第一種巡察ハ主トシテ衛兵ノ勤惰ヲ監察シ兼テ軍人軍屬ノ非違ヲ戒ムルモノトス

第8019号

第一種巡察ハ通常一週間服務スルモノニシテ毎日少クモ一回定メラレタル箇所ヲ巡察ス

第五十四 第二種巡察ハ主トシテ軍人軍屬ノ非違ヲ戒ムルモノニシテ休日其他臨時ニ外出ヲ許シタル場合ニ於テ定メラレタル區域ヲ各隊ヨリ巡察セシムルモノトス

第五十五 衞戍巡察勤務ニ服スル者ノ服裝ハ第十八ニ同シ

第五十六 衞戍巡察ハ衞兵ヲ巡視シ若シ過誤懈怠等ノ所爲アリタルトキハ之ヲ矯正シ其狀況ヲ當該衞兵司令ニ通告スヘシ

衞戍巡察ハ衞兵ヲ整列セシメ之ヲ檢査スルコトヲ得但シ衞兵司令ニシテ衞戍巡察ヨリ上級ナルトキハ次級ノ者其整列ノ指揮ヲ執ルモノトス

第五十七 衞戍巡察ハ必要ト認メタルトキハ定メラレタル地域外ト雖巡視スヘキモノトス

第五十八 衞戍巡察ハ軍人軍屬ノ非違ヲ認メタルトキ下級者ニ在リテハ直ニ之ヲ矯正シ必要アルトキハ其違反者ヲ最寄憲兵若ハ所屬部隊ニ引渡シ上級者ニ在リテハ其非違ノ行爲ナルコトヲ進言シ官職氏名ヲ聞キ取リ其顚末ヲ衞戍司令官ニ報告スヘシ

第五十九 衞戍巡察ハ其巡察中ノ出來事ニシテ至急ヲ要スルモノハ即時其他ハ勤務ヲ終リタル後衞戍司令官ニ報告スヘシ

第六十 衞戍勤務ニ服スル者ノ直屬系統ノ團隊長ハ部下服務ノ狀態ヲ監視スル爲時々巡視スヘシ

前項ノ巡視ヲ爲シタルトキ必要ト認メタル事柄ハ之ヲ衞戍司令官ニ報告スヘシ

第六十一 軍隊內務書ノ規定ニ依リ各隊ヨリ出シタル巡察ハ第二種巡察ニ屬ス

第四款 暗號

第六十二 暗號ハ特別ノ場合ニ於テ夜間之ヲ用ユルモノトス

第六十三 衞戍司令官ハ暗號及之ヲ用ユルノ時機竝其傳達方ヲ定ムヘシ

第六十四 暗號ヲ用ユルトキ步哨、巡察等ノ問查法ハ野外ノ要務令前哨勤務ノ規定ヲ準用スヘシ

第五款 號砲

第六十五 號砲ハ師團司令部其他所定ノ衞戍地ニ於テ衞戍司令官ノ定ムル所ニ依リ正午ニ之ヲ發スルモノトス

東京ニ在リテハ前項ノ外別ニ定ムル所ニ依ル

第六十六 號砲手ハ衞戍司令官ノ命ヲ承ケ號砲ニ關スルコトヲ掌ル

第四章 雜則

第六十七 現役軍人ハ當該衞戍地外ニ居住スルコトヲ得ス

第六十八 衞戍司令官ハ特ニ規定アルモノヲ除クノ外儀式、禮式、祭典等ノ爲軍隊及軍人軍屬集合スルトキ其集合所ヲ指定シ且靜肅及秩序ヲ維持スル爲必要ノ處置ヲ爲スヘシ

第六十九 衞戍司令官ハ特ニ規定アルモノヲ除クノ外儀式、禮式、祭典等ノ爲出場スヘキ軍隊軍人及制服ヲ著スヘキ軍屬ノ服裝ヲ定ムヘシ

第七十 衞戍司令官ハ儀式、禮式、祭典等ノ際ニ於ケル儀仗兵、總代及禮砲ニ關シテハ各其規定ニ從ヒ之カ處置ヲ爲スヘシ

第七十一 衞戍司令官ハ必要ニ應シ街路ノ雜沓及危害ヲ避クル爲行軍隊形行進速度等ヲ制限シ其他所要ノ方法ヲ定メ且風紀ニ害アリト認ムル場所及傳染病流行地域ニ軍人軍屬ノ出入ヲ禁スルコトヲ得

第七十二 衞戍司令官ハ衞戍地及其附近ニ於テ兵器、俘虜、囚人、刑事被告人ノ護送及法廷又ハ死刑執行ノ場所ヲ警衞スル等ノ爲護衞兵ノ請求ヲ受ケタルトキハ衞戍地ノ軍隊ヨリ所要ノ護衞兵ヲ出サシムヘシ

第七十三 衞戍司令官ハ命令及報告等ノ傳達ニ任スル爲衞戍地ノ軍隊ヨリ所要ノ人員ヲ出サシムルコトヲ得

第七十四 一時衞戍地ニ宿營スル軍隊ノ指揮官ハ其目的及豫定日時ヲ衞戍司令官ニ通報シ且衞戍上ニ關スル指示ヲ受クヘシ

(附表略ス)

○省令

大藏省令第九號

明治四十一年四月大藏省令第二十號鹽賣捌規則中左ノ通改正シ明治四十三年三月二十五日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十三年三月十九日　大藏大臣　侯爵桂太郎

第八條但書ヲ左ノ如ク改ム

但シ專賣局長官ハ必要ト認ムル場合ニ於テ二箇所以上ノ營業所ノ設置ヲ許可スルコトアルヘシ

第十二條 削除

第十四條中「指定引渡ノ場合」ノ下ニ「及鹽販賣官署所在地外ニ於ケル回送鹽引渡ノ場合」ヲ加フ

第十六條ノ二 鹽ヲ買受クル者其ノ代金及回送費納付期日迄ニ之ヲ納付セサルトキハ年五分ノ割合ヲ以テ遲延利息ヲ徵スルコトアルヘシ

第二十條中「申告スヘシ」ノ下ニ「二箇所以上ノ營業所ヲ有スル鹽賣捌人其ノ一箇所又ハ數箇所ヲ廢止セムトスルトキ亦同シ」ヲ加ヘ左ノ一項ヲ加フ

前項ノ期間ヲ經過セシテ其ノ營業又ハ營業所ヲ廢止セムトスルトキハ專賣局長官ノ許可ヲ受クヘシ

第二十二條中其ノ營業ヲ承繼スル者ナキトキ」ノ下ニ「指定期間滿了シ引續キ

第二十三條中「專賣局收納所」ヲ「專賣支局」ニ「所轄收納所」ヲ「所轄專賣支局又ハ其ノ出張所」ニ「當該收納所又ハ其ノ出張所若ハ瀛置所」ヲ「當該專賣支局又ハ其ノ出張所」ニ改メ第四項ヲ左ノ如ク改ム

外國鹽又ハ臺灣鹽ノ買受ニ關スル書類ハ專賣局長官ノ指定シタル專賣支局又ハ出張所ニ提出スヘシ

第三號書式 削除

第六號書式中「專賣局何販賣所(又ハ何收納所)」ヲ「何專賣支局(又ハ何專賣支局何出張所)」ニ改ム

○府令

統監府令第三號

船舶規則左ノ通定ム

明治四十三年三月十二日　統監　子爵曾禰荒助

船舶規則

第一條 韓國ニ主タル事務所ヲ有スル日本法人ニシテ其ノ代表者ノ全員カ日本臣民ナルモノノ所有ニ屬スル船舶ハ日本船舶トス

第二條 前條ニ該當スル船舶ノ所有者ハ韓國ニ船籍港ヲ定メ其ノ地ヲ管轄スル理事廳ニ船舶原簿ノ登錄及船舶國籍證書ノ交付ヲ申請スヘシ但シ總噸數二十噸未滿若ハ積石數二百石未滿ノ船舶及端舟其ノ他櫓櫂ノミヲ以テ運轉シ又ハ主トシテ櫓櫂ヲ以テ運轉スル舟ハ此ノ限ニ在ラス

第三條 前條但書ニ該當スル船舶ノ所有者ハ左ニ掲クル者ヲ除クノ外韓國ニ船籍港ヲ定メ其ノ地ヲ管轄スル理事廳ニ船鑑札ノ交付ヲ申請スヘシ

一 總噸數五噸未滿又ハ積石數五十石未滿ノ帆船

二 端舟其ノ他櫓櫂ノミヲ以テ運轉シ又ハ主トシテ櫓櫂ヲ以テ運轉スル舟

第四條 第二條ニ依リ船舶原簿ノ登錄及船舶國籍證書ノ交付ヲ申請セムトスル者ハ第一號書式ノ申請書ヲ差出シ其ノ船舶ノ積量ノ測度ヲ受クヘシ

前條ニ依リ船鑑札ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ第二號書式ノ申請書ヲ差出スヘシ

第五條 船舶法、船舶法施行細則、船鑑札規則及登錄稅法第四條ノ規定ハ之ヲ第一條ニ該當スル船舶ニ準用ス

第六條 官吏ヲ欺キ船舶原簿ニ不實ノ登錄ヲ爲サシメタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯サムトシテ未タ遂ケサル者ハ刑法未遂罪ノ例ニ依リ處斷ス

第七條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ船長ヲ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 法令ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外船舶國籍證書若ハ船鑑札ヲ受有セスシテ日本ノ國旗ヲ掲ケ又ハ航行シタルトキ

二 法令ノ定ムル所ニ從ヒ日本ノ國旗ヲ掲ケサルトキ

前項ノ規定ハ船長ニ代リテ其ノ職務ヲ行フ者ニモ之ヲ適用ス

第八條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ船舶所有者ノ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 法令ノ定ムル所ニ從ヒ船舶ノ名稱、船籍港、番號、積量、喫水ノ尺度其ノ他ノ事項ヲ船舶ニ標示セサルトキ

二 許可ヲ得スシテ船舶ノ名稱ヲ變更シタルトキ

三 修繕ノ爲船舶ノ積量ニ變更ヲ生シタルモノト認ムル場合ニ於テ改測ノ申請ヲ爲ササルトキ

四 登錄シタル事項ニ變更ヲ生シタル場合ニ於テ之カ變更ノ登錄ヲ爲ササルトキ

五 船舶國籍證書又ハ船鑑札ニ記載シタル事項ニ變更ヲ生シ又ハ船舶國籍證書若ハ船鑑札ヲ毀損シタル場合ニ於テ之カ書換ヲ申請セサルトキ

六 船舶國籍證書又ハ船鑑札カ滅失シタル場合ニ於テ之カ再交付ノ申請ヲ爲ササルトキ

七 抹消ノ登錄ヲ爲シ船舶國籍證書又ハ船鑑札ヲ返還スヘキ場合ニ於テ其ノ義務ヲ怠リタルトキ

前項ノ規定ハ船舶管理人又ハ法人ノ代表者若ハ滿算人ニ之ヲ適用ス

附則

本則ハ明治四十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一條ニ該當スル船舶ニシテ本則施行ノ際現在セルモノノ所有者ハ本則施行ノ日ヨリ六箇月內ニ第二條又ハ第三條ノ申請ヲ爲スヘシ

(第一號書式)

積量測度申請書

何丸

一 船舶(汽船)名稱 何地

二 船籍港 總噸數何噸又ハ積石數何石

三 積量 造船者 何地何某又ハ何會社

四 製造地 何地

五 進水ノ年月日 明治又ハ西暦何年何月何日

六 汽機製造者 何地何某又ハ何會社

七 汽機製造ノ年月日 明治又ハ西暦何年何月何日

八 汽罐製造者 何地何某又ハ何會社

九 汽罐製造ノ年月日 明治又ハ西暦何年何月何日

十 所有者(共有ノ場合ハ其ノ持分) 何

十一 所有者ノ屬名 何地何會社

十二 船舶管理人 何地何某

十三 測度ヲ受ケムトスル場所 某所

右者今般新造致シ(又ハ何國人何某ヨリ買受ケ等正當ニ)當管內ニ船籍港ヲ定メ候ニ付積量測度相成度關係書類何通相添此段及申請候也

明治　年　月　日

住所

代表者　氏　名　印

(理事廳名)

御中

特 8019 号

備考

一 船名、船籍港、氏名及名稱ニハ振假名ヲ附記シ外國ノ名稱ナルトキハ外國文字ヲ附記スヘシ

二 原名ト稱スルハ國籍取得前ニ於ケル最近ノ船名ヲ謂フ

三 前記件名中船舶ノ種類ニ依リ事項ナキモノハ之ヲ省略スヘシ

四 關係書類トハ左ニ掲クル書類ヲ謂フ

製造ニ依リ船舶ヲ取得シタル場合又ハ製造後未タ積量ノ測度ヲ申請セサル船舶ヲ取得シタル場合ニ在リテハ造船者ニ於テ製造地、進水ノ年月日ヲ證スル書面及機關ヲ有スル船舶ニ在リテハ汽機、汽罐ノ製造者ニ於テ汽機、汽罐製造ノ年月日ヲ證スル書面

前項以外ノ原因ニ依リ船舶ノ國籍ヲ取得シタル場合ニ在リテハ前項ニ掲ケタル事項ノ外前所有者、造船者、汽機及汽罐ノ製造者並船舶ノ原名ヲ證スル書面

船舶規則第二條但書ニ掲ケタル船舶ノ積量總噸數二十噸以上又ハ積石數二百石以上ト爲リタル場合ニ在リテハ現ニ受有スル船鑑札ヲ申請書ニ添付スヘシ

（第二號書式）

船鑑札交付申請書

一 船種（國籍ノ取得ノ原因ヲ記載シ且其ノ日時ヲ明記スヘシ）船名

二 船籍港

三 進水年月

四 尺度（船體ノ最大ノ長、幅、深）

五 測度ヲ受ケムトスル場所

六 申請ノ事由（新造、外國船購入等）

右船舶ニ對シ船鑑札交付相成度此段申請候也

明治 年 月 日

住所
代表者 氏 名印

（理事廳名）
御中

統監府令第四號

船舶檢査規則左ノ通定ム

明治四十三年三月十二日

統監 子爵曾禰荒助

船舶檢査規則

第一條 日本船舶ニシテ韓國ノ沿岸ノミヲ航行シ又ハ韓國ヲ起點トシテ外國ニ航行スルモノハ左ニ掲クルモノヲ除クノ外本則ニ依リ檢査ヲ受クヘシ

一 船舶檢査法ニ依リ船舶檢査證書ヲ受有シ且其ノ航行期間滿了セサル船舶

二 航行ノ用ニ供セサル船舶

三 總噸數二十噸未滿又ハ積石數二百石未滿ノ帆船

四 端舟其ノ他櫓櫂ノミヲ以テ運轉シ又ハ主トシテ櫓櫂ヲ以テ運轉スル舟

五 平水航路ノミヲ航行スル帆船

前項ニ於テ平水航路トハ河川、港內及別ニ指定セル區域內ノ航路ヲ謂フ

第二條 船舶ノ檢査ハ船舶ヲ初メテ航行ノ用ニ供セムトスルトキ、航行期間滿了ノトキ及航行期間內特ニ必要アルトキ船舶所有者又ハ船長ノ申請ニ依リ之ヲ行フ

政府ニ於テ檢査ノ必要アリト認メタルトキハ前項ノ申請ヲ待タスシテ之ヲ行フ

第三條 船舶ノ檢査ハ仁川、釜山及特ニ指定シタル開港ニ於テ其ノ地ヲ管轄スル理事廳之ヲ行フ

第四條 船舶所有者又ハ船長ハ相當ノ事由アル場合ニ限リ前條ノ場所以外ニ於テ檢査ヲ受クルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ船舶檢査申請者ハ檢査官吏ノ出張ニ要スル成規ノ旅費ヲ納付スヘシ

第五條 船舶檢査官吏ニ於テ船舶ヲ檢査シ航行ニ適當ナリト認メタルトキハ航路定限、旅客定員、汽壓制限及航行期間ヲ定メ當該理事廳ヨリ船舶檢査證書ヲ交付スヘシ

航行期間內ト雖船舶檢査官吏ニ於テ船舶カ航行ニ不適當ナリト認メタルトキ若ハ船舶檢査證書ニ記載ノ事項ニ適合セスト認メタルトキハ當該理事廳ハ其ノ船舶檢査證書ヲ返還セシメ若ハ其ノ記載事項ヲ變更スルコトヲ得

第六條 船長ハ正當ノ理由アル場合ヲ除クノ外船舶檢査證書ヲ受有スルニ非サレハ其ノ船舶ヲ航行ノ用ニ供スルコトヲ得ス

第七條 船舶檢査官吏檢査ヲ結了シタルトキハ船舶檢査手帖及安全瓣鍵ヲ封緘シ之ヲ船長ニ交付スヘシ

船舶檢査手帖及安全瓣鍵ハ船長ニ於テ之ヲ船內ニ保管スヘシ

船舶檢査手帖ノ封緘ハ檢査官吏ノ外之ヲ開クコトヲ得ス

安全瓣鍵ノ封緘ハ正當ノ事由アル場合ノ外之ヲ開クコトヲ得ス

安全瓣鍵又ハ其ノ封筒ヲ滅失若ハ毀損シタルトキ又ハ正當ノ事由ニ依リ安全瓣鍵ヲ開封シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ更ニ安全瓣ノ封鎖ヲ申請スヘシ

第八條 船舶ノ檢査ニ對シ不服アルトキハ其ノ所有者又ハ船長ハ其ノ事由ヲ具シ統監府ニ再檢査ヲ申請スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ再檢査決定前船舶ノ原狀ヲ變更スルコトヲ得ス

第九條 船舶檢査證書ニ記載シタル航路定限若ハ航行期間ヲ超エテ船舶ヲ回航セムトスルトキハ所有者又ハ船長ヨリ事由ヲ具シ當該理事廳ニ申請シ認可ヲ受クヘシ

理事廳ハ前項ノ申請カ正當ノ事由アルモノニシテ且其ノ船舶ハ回航ニ適スルモノト認メルトキハ回航認可證書ヲ交付スヘシ

第十條 船長ハ船舶檢査證書又ハ回航認可證書ヲ船內最見易キ場所ニ掲ケ置クヘシ

第十一條 船舶檢査證書、回航認可證書又ハ船舶檢査手帖ヲ滅失若ハ紛失シタルトキハ船長ハ遲滯ナク其ノ事由ヲ具シ當該理事廳ニ其ノ再交付ヲ申請スヘシ

第十二條 船舶檢査證書ニ記載シタル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ船長ハ遲滯ナク當該理事廳ニ其ノ書換ヲ申請スヘシ船舶檢査證書ヲ毀損シタルトキ亦同シ

第十三條 船舶檢査官吏ハ何時ニテモ船舶ニ臨觀シ若檢査ヲ爲スノ必要アリト認メタルトキハ其ノ航行ノ停止ヲ命スルコトヲ得

第十四條 軍隊ノ輸送又ハ臨時ニ多數ノ漁夫、移住民若ハ出稼人ヲ運送セムトスルトキハ所有者又ハ船長ハ當該理事廳ノ認可ヲ受ケ定員外ニ旅客ヲ搭載スルコトヲ得

第十五條 船舶ノ航行期間內ニ於テ左ニ掲クル事故アルトキハ船長ハ直ニ其ノ事由ヲ具シ當該理事廳ニ屆出ツヘシ

一 船舶ヲ入渠又ハ上架セムトスルトキ

二 船體若ハ機關ノ要部又ハ重要ナル屬具ニ損傷ヲ生シタルトキ又ハ之ヲ修繕變更セムトスルトキ

三 汽機若ハ汽罐ヲ取放サムトスルトキ又ハ螺旋軸ヲ拔出サムトスルトキ

第十六條 船舶檢査證書又ハ回航認可證書ノ交付書換若ハ再交付ヲ受ケムトスル者ハ汽船ニ在リテハ一圓ノ手數料ヲ納付スヘシ

船舶檢査手帖ノ再交付ヲ受ケムトスル者ハ汽船ニ在リテハ五圓、帆船ニ在リテハ三圓ノ手數料ヲ納付スヘシ

前二項ノ手數料ハ收入印紙ヲ以テ納付スヘシ

官有ノ船舶ニハ本條ノ規定ヲ適用セス

第十七條 船舶檢査官吏ハ船舶ノ所有者又ハ船舶職員ニ對シ檢査ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十八條 左ノ場合ニ於テハ船舶檢査證書ヲ當該理事廳ニ返還スヘシ

一 船舶ノ航行期間滿了シタルトキ

二 船舶カ滅失若ハ沈沒シタルトキ又ハ解撤セラレタルトキ

三 船舶カ本則ノ規定ニ依リ檢査ヲ受クルコトヲ要セサルモノト爲リタルトキ

第十九條 左ノ場合ニ於テハ船長ヲ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 正當ノ事由ナクシテ船舶檢査證書ヲ受有セスシテ船舶ヲ航行ノ用ニ供シタルトキ

二 船舶檢査證書ニ記載シタル事項ニ違反シタルトキ

三 船舶檢査官吏ノ臨觀ヲ拒ミ若ハ航行停止ノ命令ニ違反シタルトキ

再檢査決定前ニ船舶ノ原狀ヲ變更シタルトキ其ノ申請者ノ罰亦前項ニ同シ

第二十條 左ノ場合ニ於テハ船長ヲ二十五圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第五條第二項ノ規定ニ基キ發スル命令ヲ拒ミタルトキ

二 第七條ノ規定ニ違反シ船舶檢査手帖又ハ安全瓣鍵ヲ船內ニ保管セス又其ノ封緘ヲ開キ若ハ安全瓣ノ封鎖ヲ申請セサルトキ

三 第十條ノ規定ニ違反シタルトキ

四 第十一條ノ規定ニ違反シ船舶檢査證書、回航認可證書若ハ船舶檢査手帖ノ再交付ヲ申請セス又ハ第十二條ノ規定ニ違反シ船舶檢査證書ノ書換ヲ申請セサルトキ

五 船舶檢査證書ヲ返還スルノ義務ヲ怠リタルトキ

六 第十五條ノ規定ニ依ル屆出ノ義務ヲ怠リタルトキ

第十七條ノ規定ニ基キ發スル命令ニ違反シタル者ノ罰亦前項ニ同シ

第二十一條 詐僞ノ所爲ヲ以テ船舶檢査證書若ハ回航認可證書ヲ受ケタル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罰則ハ法人ニ在リテハ其ノ所爲ヲ爲シタル法定代理人ニ之ヲ適用ス

第二十二條 本則中船長ニ適用スヘキモノハ船長ニ代リテ其ノ職務ヲ行フ者ニモ亦之ヲ適用ス

第二十三條 船舶檢査申請書、船舶檢査證書及回航認可證書ハ第一號乃至第三號書式ニ依ル

附則

本則ハ明治四十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

日本臣民ニ於テ外國船舶ヲ借入レ韓國各港ノ間又ハ韓國ト外國トノ間ニ使用スル者ハ本則ニ依リ檢査ヲ受クヘシ

本則施行ノ際現在セル船舶ノ所有者又ハ船長ハ本則施行ノ日ヨリ六箇月內ニ第一條ニ依ル船舶ノ檢査ヲ申請スヘシ

本則施行前理事廳ヨリ交付シタル船舶檢査證書ハ本則ニ依リ交付シタルモノト見做ス

（第一號書式）

船舶檢査申請書

一 船種、船名

一 總噸數（若ハ積石數）

一 所有者

一 船籍港

一 船長ノ氏名及其ノ海技免狀ノ種類

一 航行セムトスル航路

一 檢査ヲ受ケムトスル期日

一 檢査ヲ受ケムトスル場所

一 檢査申請ノ事由

右檢査相成度此段申請候也

明治 年 月 日

申請者 氏 名印

（理事廳名）
御中

特 8019 号 本文

（第二號書式）

第　號

竪九寸横一尺三寸

制印

船舶檢査證書

番號	船名	信號符字	港籍	所有者	汽機種類	汽罐種類	汽壓制限	汽艇種類	汽艇端船長	航路限定	航期間	旅客定員 一等室	二等室	三等室	噸數	總噸數

右檢査ヲ遂ケ船舶檢査規則第五條ニ依リ此ノ證書ヲ交付ス

明治　年　月　日

理事廳名印

竪九寸三分横六寸六分

（第三號書式）

制印

回航認可證書

船舶所有者住所（所在地）
氏　名（名稱）

右所有（汽又ハ帆）船客、貨物ノ搭載ヲ許シタルトキ又ハ之ヲ禁シタルトキハ其ノ旨ヲ記ス）ヨリ　マテ航行スルコトヲ認可シ此ノ證書ヲ交付ス

但シ此ノ證書ハ明治　年　月　日限リ無效トス

明治　年　月　日

理事廳名印

○訓令

大藏省訓令第三號

明治四十一年三月大藏省訓令第十六號專賣局作業費豫算經理規程中左ノ通改正シ明治四十三年度ヨリ之ヲ施行ス

明治四十三年三月十九日

大藏大臣　侯爵桂太郎

第三條　專賣局作業費ノ仕拂豫算ハ年額ヲ定メ又ハ必要ノ都度之ヲ配賦ス但シ數量及等級鑑定諸費、死傷手當賠償金、訴訟費、諸拂戻金竝缺損補塡金ニ限リ支出ヲ要スル事實確定ノトキ所要額明細書ヲ調製シ之ヲ申請スヘシ

第六條　仕拂豫算各項中目ノ金額ニ不足ヲ生スルトキハ第一豫備金ヲ以テ補充シ得ヘキモノヲ除ク外彼此之ヲ流用スルコトヲ得但シ特ニ用途ヲ指定シタルモノニ付テハ許可ヲ受ケスシテ之ヲ他ノ費途ニ使用スルコトヲ得ス

第七條　削除

第十四條中第二號ヲ削ル

第二號書式中左ノ備考ヲ追加ス

三　內國旅費ニ限リ該目ノ次位ニ節ノ口座ヲ設ケ整理スヘシ

第三號書式削除

第六號書式中「及費途」竝「何々費途」ヲ削リ備考ヲ左ノ如ク改ム

一本表ハ支出簿、概算渡及現金前渡整理簿ニ依リ記載スヘシ但シ節ノ記載ハ內國旅費ニ限ル

○告示

大藏省告示第三十八號

大阪稅務監督局管內新宮稅務署ヲ明治四十三年三月二十二日和歌山縣東牟婁郡新宮町三百八十八番地ニ移ス

明治四十三年三月十九日　大藏大臣　侯爵桂太郎

大藏省告示第三十九號

熊本稅務監督局管內平戶稅務署ヲ明治四十三年三月二十五日長崎縣北松浦郡平戶町字築地町四百九十五番地ニ移ス

明治四十三年三月十九日　大藏大臣　侯爵桂太郎

文部省告示第九十三號

明治三十六年文部省令第十四號專門學校入學者檢定規程第八條第一號ニ依リ左記ノ者ヲ中學校卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト指定ス

明治四十三年三月十九日　文部大臣　小松原英太郎

和歌山縣私立古義眞言宗聯合高野中學林卒業者（但シ明治四十三年三月以後ノ卒業者ニ限ル）

文部省告示第九十四號

岡山縣兒島郡琴浦村ニ設置セル琴浦村立兒島實業學校ヲ明治四十三年三月限廢止ノ件認可セリ

明治四十三年三月十九日　文部大臣　小松原英太郎

農商務省告示第百四十五號

明治四十三年三月七日左記入漁ニ關スル事項ヲ免許漁業原簿ニ登錄セリ

明治四十三年三月十九日　農商務大臣　男爵大浦兼武

漁業ノ種類及名稱	漁獲物ノ種類	漁業時期
鰹船曳網漁業	鰹、鰹鯖	
登錄番號 第一一一七號		
入漁區域 大分縣大分郡八幡村佛崎ヨリ大分、速見兩郡界ニ至ル間ノ地先免許番號第三五八七號ノ漁場		自一月一日至三月三十一日
入漁權者 一箇年ニ付金五圓		
大分縣速見郡別府町五百五十二番地、永井三吉		
入漁料		
玉筋魚房丈網漁業	玉筋魚	
登錄番號 第一一一八號		
入漁區域 佐賀縣東松浦郡呼子村大字小川島平瀨ノ東側（平瀨網代）免許番號第三二二號ノ漁場內		自一月一日至三月三十日
入漁權者 其他ノ權利		
義務 入漁網數ハ四統ヲ超ユヘカラス		
入漁權者 佐賀縣東松浦郡濱崎村大字濱崎、濱崎漁業組合		
磯建網漁業	磯魚、龍蝦	
登錄番號 第一一一九號		
入漁區域 佐賀縣東松浦郡ノ土器崎ヨリ包石ニ至ル間ノ沖合免許番號第二八四〇號ノ漁場內		自一月一日至三月三十一日
入漁權者 其他ノ權利		
義務 免許ヲ受ケタル鯛地漬網及鰤船曳葛網ノ漁場並附屬威縄ノ使用區域內ハ其ノ免許漁期中入漁スルコトヲ得ス		
入漁權者 福岡縣糸島郡芥屋村大字岐志、岐志新町浦漁業組合		
磯建網漁業	磯魚、龍蝦	
登錄番號 第一一二〇號		
入漁區域 佐賀縣東松浦郡ノ土器崎ヨリ包石ニ至ル間ノ沖合免許番號第二八四〇號ノ漁場內		自一月一日至三月三十一日
入漁權者 其他ノ權利		
義務 免許ヲ受ケタル鯛地漬網及鰤船曳葛網ノ漁場並附屬威縄ノ使用區域內ハ其ノ免許漁期中入漁スルコトヲ得ス		
入漁權者 福岡縣糸島郡芥屋村大字岐志、岐志新町浦漁業組合		
磯建網漁業	磯魚、龍蝦	
登錄番號 第一一二一號		
入漁區域 佐賀縣東松浦郡ノ土器崎ヨリ包石ニ至ル間ノ沖合免許番號第二八四〇號ノ漁場內		自一月一日至三月三十一日
入漁權者 其他ノ權利		
義務 免許ヲ受ケタル鯛地漬網及鰤船曳葛網ノ漁場並附屬威縄ノ使用區域內ハ其ノ免許漁期中入漁スルコトヲ得ス		
入漁權者 福岡縣糸島郡芥屋村大字姫島、姫島浦漁業組合		
磯建網漁業	磯魚、龍蝦	
登錄番號 第一一二二號		
入漁區域 佐賀縣東松浦郡ノ土器崎ヨリ包石ニ至ル間ノ沖合免許番號第二八四〇號ノ漁場內		自一月一日至三月三十一日
入漁權者 其他ノ權利		
義務 免許ヲ受ケタル鯛地漬網及鰤船曳葛網ノ漁場並附屬威縄ノ使用區域內ハ其ノ免許漁期中入漁スルコトヲ得ス		
入漁權者 福岡縣糸島郡芥屋村大字岐志、岐志新町浦漁業組合		
磯建網漁業	磯魚、龍蝦	
登錄番號 第一一二三號		
入漁區域 佐賀縣東松浦郡ノ土器崎ヨリ包石ニ至ル間ノ沖合免許番號第二八四〇號ノ漁場內		自一月一日至三月三十一日
入漁權者 其他ノ權利		
義務 免許ヲ受ケタル鯛地漬網及鰤船曳葛網ノ漁場並附屬威縄ノ使用區域內ハ其ノ免許漁期中入漁スルコトヲ得ス		
入漁權者 福岡縣糸島郡芥屋村大字岐志、岐志新町浦漁業組合		
磯建網漁業	磯魚、龍蝦	
登錄番號 第一一二四號		
入漁區域 佐賀縣東松浦郡ノ土器崎ヨリ包石ニ至ル間ノ沖合免許番號第二八四〇號ノ漁場內		自一月一日至三月三十一日
入漁權者 其他ノ權利		
義務 免許ヲ受ケタル鯛地漬網及鰤船曳葛網ノ漁場並附屬威縄ノ使用區域內ハ其ノ免許漁期中入漁スルコトヲ得ス		
入漁權者 福岡縣糸島郡芥屋村大字岐志、岐志新町浦漁業組合		
磯建網漁業	磯魚、龍蝦	
登錄番號 第一一二五號		
入漁區域 佐賀縣東松浦郡ノ土器崎ヨリ包石ニ至ル間ノ沖合免許番號第二八四〇號ノ漁場內		自一月一日至三月三十一日
入漁權者 其他ノ權利		
義務 免許ヲ受ケタル鯛地漬網及鰤船曳葛網ノ漁場並附屬威縄ノ使用區域內ハ其ノ免許漁期中入漁スルコトヲ得ス		
入漁權者 福岡縣糸島郡芥屋村大字姫島、姫島浦漁業組合		
玉筋魚房丈網漁業	玉筋魚、鮐	
五智網漁業	鯛、いさき、鰹	
手繰網漁業	鰹、石首魚、狗母、舟魚、鮮鰈、蝦	
鰹流網漁業	鰹	
鯛網漁業	鯛	
鯛一本釣漁業	鯛	
鱸一本釣漁業	鱸	
いさき一本釣漁業	いさき	
めばる一本釣漁業	めばる	
鰆一本釣漁業	鰆、鰺	
磯魚一本釣漁業	磯魚	
玉筋魚房丈網漁業	玉筋魚、鮐	
五智網漁業	鯛、いさき、鰹	
入漁區域 福岡縣糸島郡北崎村大字西浦ノ岬ヨリ野北村ノ三ツ嶺ニ至ル間ノ地先免許番號第二七〇七號ノ漁場內		自一月一日至三月三十一日
入漁權者 免許番號第二七〇七號ノ免許期間		同
入漁料 玉筋魚房丈網漁業ニ付テハ一箇年金五圓、釣漁業全部ニ付テハ一箇年金三圓、其他ノ漁業ニ付テハ無償		
義務 (一)玉筋魚房丈網漁業ノ入漁區域ハ岬網代ニ限ル (二)五智網及手繰網漁業ノ入漁區域ハ漁場圖中一ヨリ二、三、四、五、六及七ヲ經テ一ニ至ル七直線以內ニ限ル (三)鰹流網漁業ノ入漁區域ハ西浦岬ヨリ殘島荒崎間シ線以北野北岬ヨリツヲ山出シ線以東ニ限ル		自七月一日至三月三十一日
鰹打網漁業	鰹、鱸、鮮、めばるいさき、鰆	自一月一日至三月三十一日
五智網漁業	鯛、いさき、鰹	同
手繰網漁業	鰹、石首魚、狗母、魚鮮、鰈、蝦	同
鰤刺網漁業	鰤、すゝき、烏賊	自一月一日至三月三十一日
飯刺網漁業	飯、鰹	自一月一日至三月三十一日
鰹刺網漁業	鰹	自一月一日至三月三十一日
鱶刺網漁業	鱶、魚鯛、のうさば、鰈、牛舌魚、鯖、石首魚、鮮、鰈、蟹	自一月一日至三月三十一日
磯建網漁業	鯛、鮮、かいめ、のうさば	同
濱建網漁業	鱸	同
鱸流網漁業	鱸	自四月一日至三月三十一日
鯛延縄漁業	鯛、鮮、かいめ、のうさば	自一月一日至三月三十一日
鰤延縄漁業	鰤、あなご	同
鱈延縄漁業	鱈	同
河豚延縄漁業	河豚	自一月一日至三月三十一日
磯魚延縄漁業	磯魚、鰈、鮐、海鰌、鯛、鮮、鰈、鮮、かいめ、のうさば	同
濱魚延縄漁業	鯛	同
鯛一本釣漁業	鯛	同
海鰌一本釣漁業	海鰌	自四月一日至三月三十一日
鱸一本釣漁業	鱸	同
いさき一本釣漁業	いさき	同
めばる一本釣漁業	めばる	自一月一日至三月三十一日
鰆一本釣漁業	鰆、鱈	自四月一日至三月三十一日
鱈一本釣漁業	鱈、鮮	自一月一日至三月三十一日
鮮一本釣漁業	鮮	自一月一日至三月三十一日
狗母魚一本釣漁業	狗母魚	自一月一日至三月三十一日
鱶一本釣漁業	鱶、あなご	同
鰈一本釣漁業	鰈	同
磯魚一本釣漁業	磯魚	同
柔魚釣漁業	柔魚	同
蝦釣漁業	蝦	同
鮑釣漁業	鮑	同
とこぶし漁業	とこぶし	同
螺漁業	螺	同
をきうど漁業	をきうど	同
うみそうめん漁業	うみそうめん	同
和布漁業	和布	自二月一日至三月三十一日

（四）釣漁業ノ入漁區域ハ大國、長間國、小長間國、懶及壁瀨ニ限ル但シ大國、長間國及小長間國ニ入漁スル時期ハ毎年三月ヨリ八月マテトス

入漁權者　福岡縣糸島郡北崎村大字宮浦、庶浦漁業組合

鰹船曳網漁業	鰹、鰹鯖	
海鰌延縄漁業	海鰌、鯛、鰈	
鰈延縄漁業	鰈	
假蝦貝縄漁業	假蝦	
登錄番號 第一一二四號		
入漁區域 福岡縣博多灣東部ノ沖合免許番號第二七一八號ノ漁場內		自一月一日至三月三十一日
入漁期間 免許番號第二七一八號ノ免許期間		
入漁料		
入漁權者 福岡縣糟屋郡和白村大字奈多、奈多浦漁業組合		
鯛一本釣漁業	鯛	
めばる一本釣漁業	めばる	
登錄番號 第一一二五號		
入漁區域 福岡縣糟屋郡志賀島村ノ明神鼻ヨリ堅瀨ニ至ル間ノ地先免許番號第二七二一號ノ漁場		自一月一日至三月三十一日
入漁權者 福岡縣糸島郡北崎村大字宮浦、庶浦漁業組合		
蝦漬網漁業	蝦、鯛、かいめ、のうさば	自一月一日至三月三十一日
鯛延縄漁業	鯛	同
海鰌延縄漁業	海鰌、鯛、鰈	自一月一日至三月三十一日
あなご延縄漁業	あなご	同
鱶延縄漁業	鱶	自一月一日至三月三十一日
鰈一本釣漁業	鰈	自一月一日至三月三十一日
鱸一本釣漁業	鱸	同
いさき一本釣漁業	いさき	同
めばる一本釣漁業	めばる	自一月一日至三月三十一日
鱶一本釣漁業	鱶	自一月一日至三月三十一日
柔魚釣漁業	柔魚	同
鰈一本釣漁業	鰈	同
鱸一本釣漁業	鱸	同
いさき一本釣漁業	いさき	同
めばる一本釣漁業	めばる	同
鱶一本釣漁業	鱶	同
柔魚釣漁業	柔魚	同
鰈一本釣漁業	鰈	同
鱸一本釣漁業	鱸	同
磯魚一本釣漁業	磯魚	同
柔魚釣漁業	柔魚	同
蝦釣漁業	蝦	同
鮑釣漁業	鮑	同
とこぶし漁業	とこぶし	同
螺漁業	螺	同
をきうど漁業	をきうど	同
うみそうめん漁業	うみそうめん	同
和布漁業	和布	自二月一日至三月三十一日

入漁料

入漁權者　福岡縣福岡市洲崎土手町（福岡漁業組合

鱶、鱸、鮮、めばるいさき、鰆		自一月一日至三月三十一日
五智網漁業	鯛、いさき、鰹	同
手繰網漁業	鰹、石首魚、狗母、魚鮮、鰈、蝦	同
鰤刺網漁業	鰤（名産鰤）、すゝき、烏賊	自一月一日至三月三十一日
飯刺網漁業	飯、鰹	自一月一日至三月三十一日
鰹刺網漁業	鰹	自一月一日至三月三十一日
鱶刺網漁業	鱶、魚鯛、のうさば、鰈、牛舌魚、鯖、石首魚、鮮、鰈、蟹	自一月一日至三月三十一日
磯建網漁業	鯛、鮮、かいめ、のうさば	同
濱建網漁業	鱸	同
鱸流網漁業	鱸	自四月一日至三月三十一日
鯛延縄漁業	鯛、鮮、かいめ、のうさば	自一月一日至三月三十一日
鰤延縄漁業	鰤、あなご	同
鱈延縄漁業	鱈	同
河豚延縄漁業	河豚	自一月一日至三月三十一日
磯魚延縄漁業	磯魚、鰈、鮐、海鰌、鯛、鮮、鰈、鮮、かいめ、のうさば	同
濱魚延縄漁業	鯛	同
鯛一本釣漁業	鯛	同
海鰌一本釣漁業	海鰌	自四月一日至三月三十一日
鱸一本釣漁業	鱸	同
いさき一本釣漁業	いさき	同
めばる一本釣漁業	めばる	自一月一日至三月三十一日
鰆一本釣漁業	鰆、鱈	自四月一日至三月三十一日
鱈一本釣漁業	鱈、鮮	自一月一日至三月三十一日
鮮一本釣漁業	鮮	自一月一日至三月三十一日
狗母魚一本釣漁業	狗母魚	自一月一日至三月三十一日
鱶一本釣漁業	鱶、あなご	同
鰈一本釣漁業	鰈	同
磯魚一本釣漁業	磯魚	同
柔魚釣漁業	柔魚	同
蝦釣漁業	蝦	同
鮑釣漁業	鮑	同
とこぶし漁業	とこぶし	同
螺漁業	螺	同
をきうど漁業	をきうど	同
うみそうめん漁業	うみそうめん	同
和布漁業	和布	自二月一日至三月三十一日

入漁區域　福岡縣遠賀郡江川村ノクジ搾水流ヨリ鷹屋町大字山鹿ノ帶瀬ニ至ル間ノ地先
免許番號第二七六二號ノ漁場
入漁期間　免許番號第二七六二號ノ免許期間
入漁料　ナシ
入漁權者　福岡縣遠賀郡鷹屋町大字山鹿、山鹿浦漁業組合

鯛延繩漁業
海鯽延繩漁業
鱸延繩漁業
鯛一本釣漁業
海鯽一本釣漁業
めばる一本釣漁業
鰤一本釣漁業
ひこぜ一本釣漁業
鰈一本釣漁業
磯魚一本釣漁業
鯛掛釣漁業
河豚掛釣漁業
蛸釣漁業
飯蛸釣漁業
登錄番號　第一一二八號
入漁區域　福岡縣門司市大戸口ノ滑石ヨリ葛葉一ッ石ニ至ル間ノ地先
免許番號第三三三一號ノ免許期
入漁期間　免許番號第三三三一號ノ免許期
入漁料　ナシ
入漁權者　福岡縣企救郡柳ケ浦村、大里浦漁業組合

鯛延繩漁業
海鯽延繩漁業
鱸延繩漁業
鯛一本釣漁業
海鯽一本釣漁業
鱸一本釣漁業
ひこぜ一本釣漁業
鰈一本釣漁業
海鼠漁業
とこぶし漁業
螺蠟漁業
竹蟹漁業
登錄番號　第一一三一號
入漁區域　福岡縣小倉市ノ紫川ヨリ企救郡賀郡界ニ至ル間ノ地先
免許番號第三三四五號ノ免許期間

鯛延繩漁業
海鯽延繩漁業
鱸延繩漁業
鯛一本釣漁業
海鯽一本釣漁業
鱸一本釣漁業
ひこぜ一本釣漁業
鰈一本釣漁業
柔魚釣漁業
烏賊釣漁業
水烏賊擬餌釣漁業
海鼠漁業
鮑漁業
とこぶし漁業
螺蠟漁業
竹蟹漁業
登錄番號　第一一三一號
入漁區域　福岡縣小倉市ノ紫川ヨリ企救郡賀郡界ニ至ル間ノ地先
免許番號第三三四五號ノ免許期間

鯛延繩漁業
海鯽延繩漁業
鱸延繩漁業
鯛一本釣漁業
海鯽一本釣漁業
鱸一本釣漁業
ひこぜ一本釣漁業
鰈一本釣漁業
柔魚釣漁業
烏賊
烏賊擬餌釣漁業
海鼠

船橋銚子間　金二十五錢　金十五錢
船橋佐倉間　金十五錢　金十錢
船橋市川間　金十錢　金十錢
東金東京間　金二十五錢　東金成田間　金二十錢
東金大宮間　金二十五錢　東金一宮（上総）間　金十五錢
東金甲府間　金五十錢　金十五錢　東金横須賀間　金二十五錢　金十五錢
東金千葉間　金十五錢　金二十錢　東金前橋間　金四十錢　金二十錢

遞信省告示第三百六十一號

本月二十一日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置シ明治三十六年三月勅令第四十一號ニ基ク請願ニ依リ電信事務ヲモ取扱フ但シ郵便物集配竝電報配達事務ヲ取扱ハス

明治四十三年三月十九日　遞信大臣　男爵後藤新平

名稱	位置
湯殿（ユドノ）郵便局	和歌山縣西牟婁郡湯戸船山村（湯戸船山村ノ誤記）

統監府告示第二十二號

明治四十三年三月十六日ヨリ左記郵便所ヲ設置ス但シ龍山漢江通郵便所ニ於テハ郵便物集配事務ヲ取扱ハス

法聖浦、泗川及長鬐各郵便所ニ於テハ其ノ開所ノ日ヨリ電信事務ヲモ取扱ハシム

明治四十三年三月十二日　統監　子爵曾禰荒助

名稱	位置
龍山漢江通郵便所（リウサンカンコウドホリ）	京畿道京城山下町一丁目（ホウライホ）
法聖浦郵便所	全羅南道靈光郡陳良面法聖浦（チヤウキ）

統監府告示第二十三號

明治四十三年三月十五日限リ左記郵遞所ヲ廢止ス同所ニ於テ取扱ヒタル事務ハ下記郵便所之ヲ承繼ス

明治四十三年三月十二日　統監　子爵曾禰荒助

所名	位置	承繼所名
泗川郵遞所	慶尚南道泗川郡泗川邑	泗川郵便所
長鬐郵遞所	慶尚北道長鬐郡長鬐邑	長鬐郵便所

統監府告示第二十四號

統監府及韓國政府ハ韓國沿海及內河ノ航行ニ關スル約定書ヲ左ノ通改正シ本年四月一日ヨリ之ヲ實施ス

第二條第二項ヲ削除ス

第三條ヲ左ノ通改ム

日本國船舶ハ韓國法令ノ定ムル所ニ從ヒ韓國船舶ト同樣ノ船稅ヲ韓國海關ニ納付スヘシ

明治四十三年三月十二日　統監　子爵曾禰荒助

正誤

一昨十七日鐵道院告示第十四號二行ト三行トノ間ニ但小木津發車場ハ一車積貨物ヲ扱ハスノ一行ヲ脫ス　鐵道院參事官

本月十四日遞信省告示第三百十一號中高木園ノ傍訓タカキセハタカギセノ誤　遞信省參事官

一昨十七日內務省告示第四十五號中竝ノ刻版ハ刻版竝ノ誤昨十八日官報法律第一號家畜市場法第十四條中帳簿ノ下ニ、ヲ脫ス（以上誤植）

○敍任及辭令

○明治四十三年三月十八日

陸敍高等官六等　專賣局主事補從七位勳六等　大川一水
任陸軍一等軍醫正　陸軍二等軍醫正六位勳四等功四級　長宗我部俊城
任陸軍步兵中佐　陸軍步兵少佐從五位勳四等功三級　笹間知之
任陸軍二等藥劑正　陸軍三等藥劑正六位勳四等功四級　宮川漁男
任陸軍三等藥劑正　陸軍一等藥劑官從六位勳五等　倉知精三
任陸軍一等藥劑官　陸軍一等藥劑官正六位勳四等　濱武規熊
任陸軍二等主計　陸軍二等藥劑官正七位勳六等　柿原龍彥
陸敍高等官四等　內務省參事官從六位勳六等　塚本清治
陸敍高等官四等　神奈川縣事務官從六位勳六等　橋本正治
陸敍高等官五等　長崎縣港務長從六位勳六等　竹井貞太郎
陸敍高等官六等　京都府技師正七位勳六等　井堤疇一
陸敍高等官六等　鳥取縣氣高郡長正七位勳六等　西村重久
陸敍高等官六等　京都府技師從七位　松平次郎
陸敍高等官六等　京都府技師從七位　齋藤勝藏
陸敍高等官六等　京都府技師從七位　森下馬助
陸敍高等官六等　京都府技師從七位　龜岡末吉
陸敍高等官六等　京都府技師從七位　中條一貢
陸敍高等官六等　神奈川縣警視從七位　吉澤誠一
陸敍高等官六等　靜岡縣田方郡長從七位　尾崎敏樹
陸敍高等官六等　德島縣技師從七位　高北良一
陸敍高等官七等　神奈川縣警視正八位　林省三
陸敍高等官七等　愛知縣警視正八位　國宗鹿太郎
陸敍高等官七等　愛媛縣周桑郡長正八位勳八等　荒田讀之助
陸敍高等官七等　沖繩縣事務官補正八位勳八等　五味武
陸敍高等官六等　兵庫縣美方郡長從七位勳六等　增夫
陸敍高等官六等　石川縣事務官從七位　福田文理
陸敍高等官六等　石川縣技師從七位　片岡
陸敍高等官七等　三重縣警視正八位　岩藤馬太郎
陸敍高等官七等　福井縣警視正八位　立花寶太郎
任新潟縣技師　千葉縣技師從五位勳五等　木村米次郎
敍高等官三等　青木壽

任島根縣簸川郡長　島根縣美濃郡長從六位勳六等　千代延聰建
敍高等官五等　警視廳警視　高木虎槌
任島根縣美濃郡長　農商務技師從六位勳六等　櫟谷政鶴
敍高等官八等
任臺灣總督府技師
敍高等官四等

鐵道院監理部兼務ヲ命ス（各通）　鐵道院技師　久野知義
檢事　手塚太郎
檢事兼司法省參事官　橫田五郎

御用有之歐米各國ヘ被差遣　日英博覽會事務官（種苗牧場技師）　豐原資清
英國派遣被免　石崎芳吉
御用有之歐米各國ヘ被差遣（以上三月十八日內閣）

株式會社東京石川島造船所請負ニ係ル酉契第一三二號鋼橋桁三組ニ對スル製作方監督ヲ命ス（三月十七日鐵道院）　鐵道院技師　中村謙一
賜一級俸　大使館一等書記官　信夫淳平
墺國在勤ヲ命ス（以上三月十七日外務省）　大使館一等書記官　信夫淳平
一級俸下賜（三月十八日大藏省）　專賣局主事補　大川一水

免本職補臨時陸軍建築部仙臺支部部員　臨時陸軍建築部仙臺支部部員陸軍砲兵中佐　梅五十七
臨時陸軍建築部仙臺支部盛岡出張所在勤ヲ命ス　臨時陸軍建築部仙臺支部部員陸軍砲兵中佐　梅五十七
免本職補步兵第六十聯隊大隊長　臨時陸軍建築部仙臺支部部員陸軍少佐　田村乙吉
免本職補步兵第六十聯隊附　長隊步兵第六十聯隊大隊附　陸軍步兵少佐　鈴木綱彥
免本職補飯田聯隊區司令官　陸軍第六十聯隊附　陸軍步兵少佐　箕浦敬三郎
豫備被仰付　陸軍步兵中佐（小倉衞戍病院附兼第十二師團軍醫部部員）　笹間知之
免本職竝兼職補陸軍衞生材料廠廠員　旅順衞戍病院附陸軍一等藥劑官（第一等藥劑官）　村田康太郎
免本職補小倉衞戍病院附兼第十二師團軍醫部部員　濱武規熊
近衞步兵第一聯隊附被仰付（以上三月十八日陸軍省）　柿原龍彥

補大審院判事　京都地方裁判所長判事（陸軍主計）　藤川陟記
補大審院檢事　盛岡地方裁判所檢事正檢事　佐倉強哉
補大審院判事　栃木區裁判所判事判事　住谷毅
補東京控訴院判事　下妻區裁判所判事判事　生方一哉
四級俸下賜　大審院判事判事　藤川陟記
一級俸下賜　大審院檢事檢事　佐倉強哉
三級俸下賜　大審院判事判事　住谷毅

四級俸下賜　東京控訴院判事判事（司法省試補）　生方一哉
鳥取區裁判所檢事代理ヲ解ク（以上三月十八日司法省）　宮脇幸治
本俸八級俸下賜　東京帝國大學工科大學教授工學博士　橫田成年
東京帝國大學工科大學教授工學博士　寺野精一
造船學第二講座擔任ヲ免シ造船學第一講座擔任ヲ命ス（東京帝國大學工科大學教授工學博士）　橫田成年
造船學第二講座擔任ヲ命ス　東京帝國大學工科大學教授工學博士　橫田成年
力學講座分擔ヲ命ス（以上三月十七日文部省）　文部省實業學務局長工學博士　眞野文二
宮城山形二縣ヘ出張ヲ命ス（三月十八日同）　山林技師　西田又二

青森縣東津輕郡東平內村田中吉治外十二名ノ特賣出願ニ係ル同縣同郡同村大字狩場澤字堀差國有林雜立木ハ下戾決定ノモノナルニ拘ラス青森大林區署長代理トシテ特賣許可ノ決裁ヲナシタル段不注意ノ致ス所不都合ニ付文官懲戒令ニ依リ譴責ス　山林事務官　齋藤鎌治
山林事務官補ヲ以テ青森大林區署經理課長勤務中青森縣東津輕郡東平內村田中吉治外四名ノ申請ニ係ル同縣同郡同村大字狩場澤字堀差國有林下戾ノ實地引渡命令書回覽ニ當リ部下產物販賣係員ノ閱覽未濟ナルニ氣付カス其儘他課ヘ回付シタル爲後日同國有林立木特賣契約ヲ締結スルニ至ラシメタル段不都合ニ付文官懲戒令ニ依リ譴責ス　山林事務官　鈴木清
青森大林區署監理課長心得勤務中青森縣東津輕郡東平內村田中吉治外十二名ノ特賣出願ニ依リ同縣同郡同村大字狩場澤字堀差國有林雜立木處分ニ際シ不注意ノ爲下戾決定ノモノナルニ拘ラス特賣契約ヲ爲スニ至ラシメタル段不都合ニ付文官懲戒令ニ依リ譴責ス（以上三月十八日農商務省）　通信技師　渡部釓太郎
九級俸下賜　通信技師補　渡部釓太郎
經理局大阪出張所在勤ヲ命ス　通信技師　田尻種彥
六級俸下賜　通信事務官補　田尻種彥
鹿兒島郵便局臨時在勤ヲ命ス　通信事務官補　蜂屋玄一郎
五級俸下賜（以上三月十七日遞信省）　通信事務官補　深井常吉
補平壤控訴院通譯官　平壤控訴院通譯官（監府裁判所通譯官統）　清永三男
補京城控訴院通譯官（以上三月十九日統監府）

○彙報

○官廳事項

○在橫濱英國副領事館務處辨賜暇離任　在橫濱和蘭國副領事館務處辨バスチン賜暇離任セシニ付キ其不在中ハ在同地白耳義國總領事館務處辨エルヅールツーニ於テ英國副領事館館務ヲ處辨スヘキ旨關國公使ヨリ本月二日附ヲ以テ通知アリ

官報 8019 号 明治四十三年三月十九日

○智利國公使館事務所移轉　本邦駐箚智利國特命全權公使ニ任命セラレタルユリボサ、リケルメ(Elovia Riquelme)ノ現住所ハ「ホテル、メトロポール」ニシテ又同國公使館事務所ヲ同旅館内ニ移轉セシ旨同國臨時代理公使ヨリ本月十四日附ヲ以テ通知アリ

○横濱駐在白國總領事賜暇離任　横濱駐在白耳義國總領事セー、バステン賜暇離任セシ旨且ツ其不在中同總領事館館務ハ副領事エル、ブールソーニ於テ處辯スヘキ旨同國公使ヨリ本月四日附ヲ以テ通知アリ

○官吏發著　麗ニ京都府下ヘ出張ノ内匠寮技師山本直三郎ハ一昨十七日歸京セリ

蔵ニ上京ノ橘源由良要塞司令官及加藤佐世保要塞司令官ハ本月十四日水田舞鶴要塞司令官ハ同十五日就モ離著❸平井歩兵第二十旅團長ハ地理實査ノタメ丹後ヘ出馬地方ヘ向ヒ同十四日、英佛兩國ヘ差遣ノ陸軍一等樂長永井建子ハ同十六日、遞谷輜重兵監ハ千葉縣下習志野地方ニ向ヒ一昨十七日就モ出發セリ

龍勢仙藏地方裁判所長、山形地方裁判所長戸田敬一郎、福島地方裁判所長柳澤重固、青森地方裁判所長福岡豊和、秋田地方裁判所長三浦順太郎、盛岡地方裁判所長橋爪捨藏ハ本月十六日就モ上京❸馬場廣島控訴院長ハ同日出發歸任セリ

○官吏卒去及死去　平壌控訴院檢事統監府檢事正五位勳五等笹重次郎ハ去月九日、平壌地方裁判所長統監府判事正五位勳四等元木直一ハ同二十四日休職判事從四位勳四等北村泰一ハ本月十五日就モ卒去シ京城控訴院判事統監府判事柳東作ハ本年一月三十一日、稅務官從七位勳七等井上盛八ハ本月十五日就モ死去セリ

警察及監獄

○出火　千葉縣外三縣ニ於ケル出火左ノ如シ

千葉縣　本月十五日午後一時三十分夷隅郡大多喜町ヨリ出火寺院二棟及家屋八戸（十一棟）全燒原因過失ナリ

茨城縣　本月十六日午後八時頃島郡古河町字鹽町ヨリ出火十三戸燒失同九時鎮火原因詳ナラス

青森縣　本月七日午後一時三十分中津經郡千年村六和澤尋常小學校ヨリ出火校舍外三棟全燒同四時鎮火原因過失ナリ

鹿兒島縣　十八日午前一時三十分鹿兒島縣立第一中學校ヨリ出火教室、醫劍室、銃器庫、倉庫附屬建家各一棟燒失同三時鎮火死傷ナシ

原因取調中　鹿兒島縣發信十七時二十分着電報

○在監人員　本年一月末日現在在監人員左ノ如シ△印減

	男	女	計	前月末日現在	前年同月末日現在	增減 前月比較	增減 前年比較
刑事被告人	七、〇九四	三一四	七、四一八	七、一四七	六、七五七	△ 四〇一	一五、五七六
受刑者	五九、四八一	三、七三八	六三、二一九	六三、六二〇	五四、六四三	△ 三四七	六六一
勞役場留置者	七五八	九二	八五〇	九三〇	八〇	△ 八〇	五〇三
懲治人	五九七	三四	六六七	六六七	六、二五一	△ 一、二五一	△ 六二〇
携帶兒	四六	四八	九四	九三	五六	△ 一	△ 三八
總計 監獄	六七、〇九六	四、〇八〇	七一、一七六	七一、六四一	五四、八〇三	△ 四六五	一六、三七三
總計 警察署留置場	八八〇	一五六	一、〇三六	一、〇三一	八一六	△ 五	二一〇
總計	六七、九七六	四、二三六	七二、二一二	七二、六七二	五六、〇五四	△ 二四五	一六、一五八

本表中外國人ヲ國籍ニ依リ區別スレハ左ノ如シ

刑事被告人	男	女	計	受刑者	男	女	計
清國（支）	九	一	一〇	佛蘭西（フ）	二		二
韓國（ハ）	五三	六二	一一五	露西亞（ロ）	一		一
英吉利（ヒ）	一一	二二	三三	伊太利（イ）	二		二
				獨逸（ド）	一		一
				丁抹（ハ）	一		一
				總計	七		七

○陸海軍

○水路告示第二千二百三十八號

一艦船ニ於テ此告示ヲ領受シタルトキハ遠ニ其關係ノ圖誌ヲ改正增補セシムコトヲ要ス

一方位ハ總テ磁針ニシテ壁受シタル方位ハ海方ヨリ取ル

一經緯度ハ別ニ記事ナキトキハ總テ極位ナリ

一燈臺等ノ光達距離ハ晴夜ニ於ケルモノナリ

一霧中信號ハ密濃若クハ霧霧アル天氣ノ時ノミ施行ス然ラサルモノハ特ニ其旨ヲ注記ス

一水深ハ平均大低潮面下ノモノヲ示ス

一高ハ平均大高潮面上ノモノヲ示ス

第六九四八項

内海　來島海峽

潮流觀測挂燈浮標ノ復舊及假燈ノ廢止等

一記　事　明治四十三年三月十四日官報遞信省告示第三一三號ヲ注視スヘシ

一關係海圖　第一三二號第一六三號第一四一號第一五三號第一〇〇號甲及乙

一關係誌類　日本水路誌第三卷第二五四頁東洋燈臺表上卷二六頁八三番a.七〇頁一九番及水路告示第二一六一號第二一八二號

第六九四九項

本洲東岸　下總地方

犬吠埼燈臺霧笛ノ設置

一記　事　明治四十三年三月十四日官報遞信省告示第三一四號ヲ注視スヘシ

一關係海圖　第五七號第六二號第二號第七三號

一關係誌類　日本水路誌第一卷一八九頁東洋燈臺表上卷五六頁一八二番記事欄（記入）

第六九五〇項

東京海灣　横濱港

槳船浮標ノ碇置及番號變更

一記　事　横濱港内ニ左記ノ如ク槳船浮標ノ碇置及番號ノ變更アリ

一位　置　北水堤燈臺　北緯三五度二七分三四秒　東經一三九度三九分三〇秒

(一)浮標碇置

位置　第十六號浮標ヨリ　北水堤上立標ハ　南五八度東　距離五鏈半弱

第十七號浮標ヨリ　北水堤燈臺ハ　北四六度半東　距離六鏈

第十七號浮標ヨリ　北水堤上立標ハ　南六九度東　距離六鏈

第二十七號浮標ヨリ　北水堤燈臺ハ　北五七度東

第二十七號浮標ヨリ　北水堤燈臺ハ南八二度半東距離九鏈

(二)浮標番號變更

舊番號　新番號　位置

第十八號　第十四號　北水堤燈臺ヨリ南八八度西距離五鏈

第二十二號　第十八號　北水堤燈臺ヨリ北八四度二五分西距離六鏈弱

第二十七號　第二十二號　北水堤燈臺ヨリ北六三度西距離八鏈

一偏　差　明治四十三年四度三〇分西

一關係海圖　第六七號第六八號

一出　所　明治四十三年三月十二日附堀神奈川縣港務部長臨時代理通知

右告示ス

明治四十三年三月十九日　水路部長　中尾雄

注　意

一當部刊行ノ圖誌類ハ左記ノ各地ニ於テ之ヲ販賣ス

日本鄧船株式會社東京本店○神戸、長崎、函館、門司ノ四支店及大阪荷扱所

一此告示ノ印刷物ハ若干部ヲ前記ノ圖誌販賣所ニ備置キ無代價ニテ各航海者應時ノ要望ニ應スヘシ

一此告示ノ印刷物ハ左記ノ韓國沿海各理事廳及帝國領事館ニモ送付シアルヲ以テ各航海者ハ臨時該廳ニ就テ閲覧スルヲ得ヘシ

鎮南浦　馬山　仁川　木浦　群山　釜山　元山　城津○孟買　新嘉坡　愚尼剌　香港　盤谷

厦門　汕頭　上海　漢口　杭州　福州　芝罘　天津　牛莊　浦鹽斯德　曉香坡　シヤトル

柴港　ポノルヽ　シドニー

一海上ノ危險ヲ發見シ又ハ航海上現行圖誌ノ改補ニ必要ナル實驗ヲ爲シタルトキハ速ニ其當局者ヨリ直接水路部ニ報告アランコトヲ希望ス依テ便宜ノ爲メ水路報告用紙ト題セル印刷物若干部ヲ第一號ニ記セル各圖誌販賣所ニ備置キ無代價ニテ各航海者ノ要望ニ應ス但必スシモ此用紙ヲ用ユルニ及ハス

○生徒退校　陸軍戸山學校軍樂生徒松尾庄造ハ同校條例第十七條第三項第一號ニ依リ本月十六日退校セリ（陸軍省）

○歸鐵術卒業　輜重兵第六大隊ニ於テ本月十二日左記ノ者三名、歸鐵術卒業證書ヲ付與セリ（陸軍省）

階級	氏名	月日	著		階級	氏名	月日	著	
輜重兵二等卒	熊本縣士族	自濱	利德		輜重兵一等卒	熊本縣平民	友田	三吉	
輜重兵一等卒	鹿兒島縣士族	釘田	清		輜重兵二等卒	富崎縣平民	萩原	岩提藏	
輜重兵一等卒	鹿兒島縣平民	石山	傳五郎		輜重兵二等卒	熊本縣士族	伊藤	靜雄	
輜重兵二等卒	熊本縣平民	鬼鹿毛	藤七		輜重兵二等卒	熊本縣平民	西村	末一	
輜重兵二等卒	鹿兒島縣平民	福山	豐吉		輜重兵二等卒	鹿兒島縣士族	竹之內	清吉	

○軍艦發著　各港灣ニ於ケル軍艦發著左ノ如シ（海軍省）

艦名	月日	著	發	行先	艦名	月日	著	發	行先
阿蘇	三、七	横須賀	三笠	大湊	橋立	三、八	小濱	釜山	佐世保
宗谷			雷						竹敷

○日本赤十字社錄事

有功章授與　日本赤十字社ハ福井縣和田見龍、佐賀縣西村陸奥夫ノ社業功勞ニ對シ上奏勅裁ヲ經テ有功章ヲ授與セリ

特別社員推薦　日本赤十字社ハ左記三十五人ノ社業ニ對スル功勞及ハ社資ノ幫助セル篤志ニ對シ特別社員ニ推薦セリ

新潟縣	鷲澤 庄二郎	愛知縣	池田 宏	廣島縣	山下 重太郎	德島縣	鷲澤 庄二郎
渡邊 耶太郎	長谷川牛左衛門	福井縣	杉浦深右衛門	阿武 倫造	郷谷 元敬	石立 虎雄	渡邊 耶太郎
高内 眞賢	間藤 宗作	富山縣	多邊 市兵衛	岡村	田代 貞雄	香川縣	長谷川牛左衛門
茨城縣	中山 惣次郎	上森	石川 高次郎	山口縣	豐田 清藏	加藤 乾	高内 眞賢
三重縣	湯地 幸平	石崎	米光 清助	津田 牛五郎	五十部增太郎	愛媛縣	間藤 宗作
		島取縣	井上 利一	末岡 幾三郎	藤本 東雄	加藤	富山縣
		稻田 直道	末岡 忠三	阿武	名和田松太郎	大分縣	茨城縣
				和歌山縣	篠田 武之進	染矢 佐一	中山 惣次郎
				平野 貞一郎	壷	太田 重助	三重縣

木杯贈與　日本赤十字社ハ京都府三宅武彦、山口縣貫志滿太ノ社業上功勞ニ對シ木杯一組宛ヲ贈與セリ（以上宮内省）

○學事

○第三回萬國美術會議狀況（昨十八日ノ續）

四　圖畫ノ教育

（摘要）圖畫（ドローイング）ハ其最初ノ教育ヨリ事實ノ人工的描出ナルコトヲ忘ルヘカラス故ニ印刷物ノ肉筆ト問ハス手本ヲ模寫スルコトハ全然不可ナリ

最初ノ練習ニ於テハ白及其他ノ色ヲ有スル「チョーク」若クハ木炭ヲ以テ成ルヘク大キク描カシムルヲ良シトス其ヨリ漸次小形ニ遷ラシメ鉛筆若クハ毛筆ヲ以テ描カシメ後色鉛筆ヲ以テ著色セシムヘシ用紙ハ白色若クハ著色セラレタルモノ其就ハ用フルモ差支ナシ

物體ノ輪廓ヲ畫クニ色鉛筆ノミヲ用ヒテ練習セシムルハ望マシカラス生徒ヲシテ調子ノ表象ヲ描出シ得ル樣訓練スルヲ要ス

毛筆及水彩モ早クヨリ之ヲ用フルヲ得策トス又粘土ヲ以テ形狀ヲ造ラシムルコトモ必要ナリ

標本ハ實際ノ器物ヨリ選ムヲ要ス幾何學的形體ハ之ヲ用フルノ必要ナシ而シテ標本ノ列ヘ方及彩光ノ方法等ハ特ニ注意ヲ要ス

想像力、發明思想及美的鑑識力ノ養成最モ肝要ナリ

五　中學程度ニ於ケル自在畫

（摘要）專門ノ技術學校ニ新入シ來リタル生徒ノ多クハ遽ニ視覺ノ業養至テ少キヲ以テ自在畫ヲ描クノ技能ニ乏シク大ニ不便ヲ感スル是レ中學時代ニ於ケル自在畫ノ教育宜シカラサル所以ヲ證ス將來ハ中學時代ニ於テ此種ノ業養ヲ付スルコト最モ肝要ナリ抑モ圖畫ノ教育ハ絲密ニ之ヲ行ハサルヘカラス不正確ナル描法ハ害アリトモ益ナシ而シテ中學時代ニ於テ專門ノ技術學校ニ進ムノ準備トシテ充分ナル業養ヲ與フル樣教育スルヲ要ス

六　小學程度ニ於ケル圖畫

（摘要）工業界ニ美術思想ノ養成ト云フ事ハ日ヲ遂ヒテ其必要ヲ感ス而シテ將來斯界ニ其職ヲ求ムル者ハ現時英國及威爾斯ヲ通シテ約六百万ノ多キニ在ル小學生徒ヲ選擇セラルヽモノ若僅サルヘカラス是ヲ以テ此等ノ人ミ未タ小學ノ課程ニ於テ學ヒツヽアル時其思想ヲ注入シ置クコト肝要ナリ是レ小學校ニ於ケル圖畫教育ノ最モ責任アル所以ナリ而シテ教育ノ任ハ教師ニ在リ故ニ完全ナル小學教師ノ養成ハ肝要ナル事項ニシテ又急務ナリトス

小學校校舍ノ如キモ生徒ノ美術思想ノ養成ノ國ラントスレハ又適當ナル建築法ヲ用ヒタルモノヲ設立セサルヘカラス小學校ノ或ルモノハ其建築ノ慣ト相距ル遠カラサルモノアルハ甚タ遺憾ナリ

七　工業美術ト圖畫教育

（摘要）現今ノ工業美術品ノ多クハ其製作極テ巧妙ナルモ唯其方面ニノミ注ヲ注キタル結果性質ヲ缺リ實用ニ適合セサル見ル是レ裝飾ノ皆好スルノ念過多ナルニ因ル故ニ此種ノ專門家ノ訓練スルニハ作物ノ性質ヲ了解シ實用ノ範圍ヲ脱セサル樣注意シテ之ヲ行フコト最モ肝要ナリ

八　中學校ニ於テ圖畫ト美術トヲ同時ニ教授スル方法

（摘要）圖畫ノミノ教育ニテハ手及目ノ練習ニ過キス同時ニ美術其何物ナルヤヲ了解スルコト難シ

ダヴィウド、シモン氏　チヒ、シーケス氏　ジヤ、ジヤ、グラーフ教授　ヒイチ、ハナ氏　ヘンリー、ヨヤ、非ース氏

官報 80119 号外

教ト圖畫教育ト共ニ美術ノ歴史ト講シ又繪畫彫刻、建築等ノ批評ヲ行ヒ以テ美術思想ノ啓發ヲ圖ラサルヘカラス而シテ講義ニハ幻燈ヲ用ヒ又寫眞、印刷物、石膏標本等ヲ陳列シ置キ生徒ノ鑑識力ヲ漸時增進セシムヘシ此方法ハ今日マテ既ニ百人ノ生徒ニ就キテ實地ノ經驗ヲ經タ其結果ノ良好ナルヲ認メタレハ今後引續キ實施スルノ計畫ナリ

右終リテ討論別ニ決議セシ事項ナシ

午後二時開會　サージョン、ゴースト氏議長席ニ就ク

（ヘンリー、ジェホース氏登壇シテ午前則讀セシ同氏ノ論文ニ付キ註釋的演說ヲ爲ス）

次ニミルラー氏ハ前日提出セシ色彩博物館建設ノ案ニ就キ議決ヲ促セリ

本會ハ美術的教育ノ一科トシテ色彩ノ教育ニ益々多クノ注意ヲ加ヘ其目的ヲ遂センタメ色彩ノ博物館ヲ設立スルコトヲ主張ス滿場一致可決

次ニ北米合衆國ノアンクネー教授ハ目下合衆國ニ於テノ圖畫教育上必要ナリトテ左ノ事項ヲ議決シ置クコトヲ希望セリ

（一）凡テノ「カレーヂ」ニ於テ入學試驗科目トシテ圖畫ヲ顧慮材ニ加入スルコト

（二）凡テノ「カレーヂ」ニ於テ付與スル所ノ學位ヲ得ルニ必要ナル科目ノ一トシテ加ヘラルヽ樣

美術教育ヲ組織スルコト

滿場異議ナク可決

次ニジュエレス、ビルレッフ氏ノ（器械畫ニ使用スル符號言語ヲシテ萬國共通ノ規典ヲ定ムルコト）ナル論文ノ則讀アリ等ノ論文ハ同氏ノ佛國ノダバン氏代リテ則讀セリ

（摘要）第一回萬國美術會議ニ於ケル本問題ニ就キテノ決論ヨリ第二回會議ニ至ルマテノ顚末第二回ノ決論等ノ說明シ且ツ此計畫ハ「インターナショナル、フェデレーション」ニ一任セラレンコトヲ希望スル旨ヲ述フ

次ニ英國ノハラップ氏ハ右ノ案ニ修正ヲ加ヘテ提出セリ即チ特別ノ委員ヲ本會員中ヨリ選出シテ研究セシメントノ謂フニ在リ

會長ハ右ニ樣ノ定案ノ中執ヲ取ルヘキカヲ議場ニ問フ立結果修正案ハ否決ゲバリン氏提出ノ原案可決セリ

右終リテ左ノ論文則讀アリ

一　新教育ニ於ケル手工

（摘要）合衆國ノ公立學校ノ科目ニ手工科ヲ加ヘタルコトハ學校教員養成ノ一時代ヲ作レリ初ハ試驗的ニノヲ課シタルカ其結果良好ナルヲ以テ今日ニテハ學校教育上最モ必要ナル一科トシテ目スルニ至レリト最初ニカーネルバーカー、プロフェッソー、デューウエー氏等ノ實驗セシ方法、結果及其教授法ノ順序ヲ述ヘ終ニ擔任教師ノ責任重キコトヲ以テ佛國ノダバン氏代リテ則讀セリ

（摘要）第一回萬國美術會議ニ於ケル本問題ニ就キテノ決論ヨリ第二回會議ニ至ルマテノ顚末第二回ノ決論等ノ說明シ且ツ此計畫ハ「インターナショナル、フェデレーション」ニ一任セラレンコトヲ希望スル旨ヲ述フ

次ニ英國ノハラップ氏ハ右ノ案ニ修正ヲ加ヘテ提出セリ即チ特別ノ委員ヲ本會員中ヨリ選出シテ研究セシメントノ謂フニ在リ

會長ハ右ニ樣ノ定案ノ中執ヲ取ルヘキカヲ議場ニ問フ立結果修正案ハ否決ゲバリン氏提出ノ原案可決セリ

右終リテ左ノ論文則讀アリ

一　新教育ニ於ケル手工

（摘要）合衆國ノ公立學校ノ科目ニ手工科ヲ加ヘタルコトハ學校教員養成ノ一時代ヲ作レリ初ハ試驗的ニノヲ課シタルカ其結果良好ナルヲ以テ今日ニテハ學校教育上最モ必要ナル一科トシテ目スルニ至レリト最初ニカーネルバーカー、プロフェッソー、デューウエー氏等ノ實驗セシ方法、結果及其教授法ノ順序ヲ述ヘ終ニ擔任教師ノ責任重キコトヲ以テ佛國ノダバン氏代リテ則讀セリ

ミス、エリザベス、ユーフロジンラングレー氏

右ニテ第三回萬國美術會議ノ討論ハ結了ス議長ハ立チテ概要左ノ演說ヲ爲セリ

會員諸君ノ補佐ニ由リテ故障ナク本會議ノ終結ヲ見タルハ深謝スル所ナリ此會議ニ列セラレタル諸君ハ之ニ由リテ得タル利益ノ僅少ニアラサルヘシト信スルモノナリ

吾人ハ美術ノ人ハ我國ト他國トノ別ナク平等ニ其勞ヲ惜マサルヘシ美術ハ一箇國ノ專有物トシテ存シ得ヘキモノニアラス若シ一國ニシテ其美術上ノ進歩著シクシテ嶄然頭角ヲ現スニ至レハ他ノ諸國ニ其利益ヲ分與スルコト亦多大ナルヘシ吾人ハ自國ニ於テ其進歩發達ヲ望ムコト切ナルト同時ニ他國ニ於テ其成功ヲ展覽會ハ未タ曾テ見サル有益ナルモノナリシ此會ニ陳列ノ勞ヲ惜マサリシ諸國ノ世界ニ有益ナル知識ヲ與ヘラレタル功績ハ長ク忘レスルヲ得シメンカタメ三十年ノ歲月トニ

セラルヘシトハ深ク信スルモノナリ

聽キテ得ル所所ハ少カラサルヘク殊ニ小學校ニ於テ圖畫教育ノ輕視スヘカラサル一事ノ如キハ當局者ノ欣聽ヲ俱スル所ナリ

余ハ本會議ノ世界ノ美術思想ノ上ニ與ヘタル效力ノ少カラサルヘキヲ想フト同時ニ各國ノ代表者諸君ハ新シキ思想ト新シキ同情ト又他ノ國民ニ對シテ新シキ愛情トヲ土產ニシテ各其母國ニ歸ラルヽコトヲ深ク喜フモノナリ終ニ臨ミ今年ノ美術會議ハ世界各國民ノ一大親睦會タリシコトヲ永ク記憶セラレンコトヲ希望ス

第六日（八月八日、土曜日）

議長ハ次回ノ開會地ニ就キテ評議ヲ要スルコトヲ述フ　エフ、ブリッチ氏之ニ答モ決スルヲ得ス猶ホ熟考ヲ要スルヲ以テ宜シクインターナショナル、フェデレーション」ノ委員ニ一任セラレンコトヲ望ムトノ事ヲ以テセリ滿場異議ナシ次ニブウス、デーファー氏、インターナショナーフェデレーション」ノ發達ヲ簡短ニ報告ス次テ代表者其他會員ヨリ會長及委員ニ對シテノ謝辭アリ議長ハ其答辭ヲ爲シ開會ス

右ハ本會議ノ一般ノ顚末ヲ記シタルモノニシテ此外會日ノ午後ニ於テ或ハ開會前ニ於テ催サレタル特別議論、地方的會議、「インターナショナルフェデレーション」會員ノ會合等ニ就キテノ詳細ハ別冊「トランザリション」ニ記載アレハ之ヲ略ス

本會ノ五日間ニ於テ則讀セラレタル論文ヲ研究事項ニ配當セシムレハ左ノ如シ

則讀セラレタル論文	討論題目	則讀セラレタル論文	討論題目
八月三日午前	第五及第四	同午後	第七
同　四日午前	第五	同午後	第九
同午後	第八	同午後	第一
同　五日午前	第三	同午後	第二
同　六日午前	第九	同午後	第八
同　七日午前	第一	同午後	第六

附屬展覽會出品目錄ハ（「トランザリション」）ニ掲載アリ又其概況ハ別冊「イラステッド、ハンドブック」ニテ其一般ヲ知ルヲ得ヘク且ツ同書ノ中ニ倫敦諸學校ノ組織、佛國巴里美術學校ノ組織等詳細ニ說明シアリ（別冊略ス）

○蘭白三大港視察報告　文部省外國留學生東京帝國大學工科大學助教授君島八郎ヨリ差出シタル和蘭白耳義三大港視察報告左ノ如シ（文部省）

第一章　緒論

西北歐洲ノ世界的大港トシテハ東ニ獨逸ノ漢堡、ブレーメンアリ西ニ佛蘭西ノルヽアーブルアリ之ヲ中ニシテハ和蘭ノアムステルダム、ロッテルダム及白耳義ノアンベルスアリ而シテ北ニハ即チ英國ノ倫敦リバプールヲ數ヘサルヲ得ス各々就キテ水陸連絡ノ設備ヲ整ヘ故岸壁ヲ修ムレハ我亦第巢ヲ作リ彼運河ノ深サヲ增セハ我モ亦掘割ノ修築ヲ忽セニセス以テ貨物ヲ吸收交通史上平和的一大活劇タルヲ失ハス殊ニ蘇士運河水深ノ增加ハ早ク既ニ各港ノ設備ニ影響セントシ此運河通航ノ船舶ヲ窘ルヽニ後ルヽナカランコトヲ期スルカ如キ以テ其一斑ヲ窺フヘク他ロ巴拿馬運河カ十二「メートル」ノ水深ヲ以テ開通スルノ日到ラハ亦如何ニ世界各港灣ニ反響スルモノアルヤハ想像ニ難カラサルモノアリ今茲ニ和蘭白耳義ノ三大港ニ就キ序述スル所アラントス

第二章　海上ノ位置

一港灣ヨリ滑貨生產ノ各地ニ達スル航路ノ長短ハ部子其港灣ノ價値ヲトスルニ足ルモノアリト雖モアムステルダム、ロッテルダム及アンベルスハ互ニ相近邇シテ海上ノ位置トシテハ殆ト相選差スル所ヲ見ス今三港ヨリ紐育（サントーマス）及里斯本（治里）ニ至ル航路ノ長サヲ擧クレハ左ノ如シ

	紐育（サントーマス）	紐育（治里）	里斯本（治里）
アムステルダム	三、六五五	三、八八五	一、〇九五
ロッテルダム	三、三四〇	三、三三〇	一、〇七〇
アンベルス	三、三六〇	三、三四〇	一、〇四〇

最近三十年歐洲ノ交通ハ著シク發達シテ各大港ヨリ世界各地ニ至ル直航航路ヲ開キテ以來運賃ノ競爭速カノ增加ハ或ル程度マテ航路ノ長短ヲシテ殆ト港灣ノ價値ニ影響スル所ナカラシム現象ヲ見

第三章　入港航路

一　アムステルダム

和蘭ノ西北北海ヨリ深ク灣入セルモノハ即チアイデルロゼーナリアムステルダムハ實ニ其西南ニ位スル千八百十八年ヨリ同二十五年ニ亙リ和蘭政府ハ八百万銀ノ豫算ヲ以テ長サ八〇、四キロメートルナルノルドホランドシッヒ運河ノ開鑿ヲ企テ水深五、五「メートル」幅三十五万至四十「メートル」ヲ得アムステルダムヨリ北走シテノルトホランドヲ縱貫シ以テ當時ノ主要貿易品ナルバルチック露西亞地方ノ穀物ヲ吸收セリ然ルニ船舶ノ增大ハ運輸方面ノ移動ト相俟チテ第十九世紀ノ中葉ニ至リテハノルトホランドノ半島ノ狹窄部ノ開鑿シテ大規模ノ水路ノ作ノ必要ヲ感シ千八百六十五年以來一會社ノ手ニ依リテノールドゼーカナルヲ起工シ同七十六年以來逐次改修ヲ加ヘ同八十二年以來政府ハ更ニ六百万銀ノ巨資ヲ投シテ長サ二十七、キロメートル」ノ運河ヲ作リ其海口アイムイデンニハ海間ヲ設ケテ內外水位ノ調節セリ此海間ハ百二十五「メートル」ノ船舶ヲ通過セシムルヲ得タリ而シテ此運河開通ニ至ルマテ投シタル總工費實ニ三千九百八十八万銀ニ及ヘリ千八百九十年此運河ノ第一次擴張工事ニ著手シアイムイデンニハ巢海間ノ側ニ長サ二百二十五「メートル」、幅二十五「メートル」ニ增セリ其工費五百万銀千八百九十六年ニ至リテ成ル然レトモ幾クモナクシテ千八百九十七年及同九十八年ニハ更ニ四百万銀ノ工費ヲ以テ運河ノ幅ヲ增シテ三十二「メートル」トシ同千八百九十九年ニハ更ニ大擴張工事ニ著手シ北海ノ外港ヲ最低水位ニ九、五「メートル」ノ內港ヲ平水位ニ九、八「メートル」トシ運河幅ノ擴張橋梁ノ架換ヲ爲セリ而シテアイムイデンノ外港ハ兩岸堤共ニ一、五キロメートル」ノ漁船ヲ容ルヘク其面積七、〇「タール」ニ及ヒ其側ナル魚舍ハ千九百八年ニ於テ四百四十万銀以上ノ魚類ヲ販賣セリ此等ノ總工費凡テ七百五十万銀ノ中アムステルダム市ノ負擔ハ其十分ノ一トス又千八百八十三年ヨリ千九百七年ニ至ルマテ運河ノ改良ニ費セシモノ實ニ千八百二十九万銀ニ上リ漁港ノ築設ニハ百八十六万銀ノ費セリ此工事竣成ノ後政府ハ更ニ米國ト英獨間ヲ往復セル大船ヲ容易ニアムステルダム港ニ出入スルヲ得シメンカタメ三十年ノ歲月トニ千百七十五万ノ豫算トヲ以テ此運河ノ擴張工事ヲ計畫シツヽアリ

二　ロッテルダム

由來ライン河ノ下流ハ和蘭ニ入リテ平野ノ間ニ分合錯綜スマース河ハライン河ノ一支ワール河ト合シテメルエーデ河ト爲リ更ニドルトレヒトヨリ分レテ其北支ハライン河ノ他ノ一支レク河ヲ合セリテイエッセル河ト共ニ同ジク北方ニ延長スルノ餘地ヲ存セントセリ而シテ潮汐干滿ノ差ハリロニ平均四、四五「メートル」アンベルス」ニ達スルヲ以テ來國通航ノ大海船ハ少クモ滿潮時ヲ利用スルトキハ直ニ港內ニ潮航シ來ルヲ得ヘシ然レトモ蘇士運河ノ通航スル凡テノ船舶ヲシテ低水位ノ際ニ自由ニ入港セシムルハ尙ホ繫リテ將來ノ計畫ニ屬ス

第四章　港內設備

概說

輓近運輸ノ激增ハ大船ノ通航ヲ容易ナラシメンカタメ港內水路ノ改良ヲ促シ延テ又港內貨物積卸ノ方法上屋倉庫軌道サテハ內地航行ノ連絡等港內設備ノ發達ヲ喚起スルノ原因ト爲レリ加フルニ各港航路ノ競爭ハ成ルヘク吃水ノ大ナル船舶ノ用ヒテ直航航路ノ開キ航海數ヲ多クシ以テ貨物ノ吸收ヲ圖リ他ノ一方ニハ營業修繕運轉費ノ減少ヲ圖ルノ點ニ出テシメントアリ一般ニ港ノ深ク內地ニ在リテ潮汐干滿ノ點キモノハ閘門ヲ設ケテ低水ニ備フルノ不便ナク港區ヲ擴ケテ開放セル水流中ニ築設スルヲ得ルノ便アリ從テ出入ノ船舶ヲシテ離時容易ニ貨物積卸ノ點ニ近ツクヲ得シムルノミナラス潮汐ノ關係ノ如キ時間ヲ徒費スルノ憂ナキヲ得但シ航路ノ起點若クハ終點

水位ニ四乃至五、五「メートル」ノ水深ヲ運河ニ得タルニ過キス斯クシテ上ノ大工事ハ失敗ニ終リシカ是時內閣交迭ト共ニ同ジク委員ニ付議調査セシメ下流ノ河幅ヲ狹メ導水堤ヲ延長シテ低水位九「メートル」ニ達セシムルノ案ヲ得タリ千八百八十二年七月二十六日ノ法律ニ依リテ更ニ工事ヲ續行スルコト、爲リ同年ヨリ同九十年ニ亙リテ工事ニ著手シ低水位ニ七乃至八「メートル」ニ於ケル如シ千八百八十一年ヨリ同九十六年ニ亙リテ工事ニ著手シ低水位ニ七乃至八「メートル」ニ於ケル九「メートル」ノ水深ヲ得ヘクヒックニ於テ六百八十五「メートル」ノ河幅ト八、七乃至十一、四「メートル」ノ水深トヲ保タシムルノ設計ナリシカ工事ノ結果ハ當初ノ企圖ニ達ス潮汐ノ利用ニ依リテ河床ヲ浚渫シ低水位ニ七、五「メートル」ノ水深ヲ得タリ其工費實ニ二千八十万銀前後ノ政府ノ費ス所年年四十五万銀ヲ要シツヽアリ然レトモ他ノ一方ニハ船舶吃水及貨物輸送ノ增加ハ早ク既ニ此水路ノ不充分ナルヲ示スニ至レリ即チ千八百八十一年值ニ八百三十万噸ノ船舶ノ通航セシメシモノモ千八百九十六年ニハ三千噸ノ舶艦相銜ミテ運河ヲ溯航スルヲ見タリ而シテ「ヘックフアンホランド」ニ於テ運河口ノ最小深低水位潮汐干滿ノ差一、六五「メートル」ニ達シ故ニ滿潮時ノ利用シテ千九百六十年ニハ八、五乃至八、九「メートル」吃水ノ大船カロッテルダムニ達シタルモノ十四隻ニ及ヒタリ然レトモ蘇士運河增築完成ノ曉ニハ少クモ九「メートル」以上ノ吃水海船ヲシテ自由ニ運河ヲ通航シ來リテマース河畔ノ港內ニ從容投錨セシムルヲ得ルニ至ラシメサルヘカラサルモノ現ニ政府ハ四百万銀ノ工費ヲ以テ改良ノ計畫ヲ立テヽアリ

三　アンベルス

アンベルスカ始メ屢ヽ其ノ航路ヲ變シタルハ恰モロッテルダムニ似タルモノアリ千六百四十八年「エストファリア」條約ノ和閣ハ入ラシシエルデ河口ヲ締切ラシメプラバント州ノ此商業市ヲシテ殆ト海ニ通スルノ路ナク榮廢國頓ノ窮境ニ陷ラシメタリ千七百九十二年佛閣西共和國ハアンベルスノ舟航ヲ再興シタリ千八百十五年巴里ノ平和成立セシ頃ハ前ニ閉塞セシ河口ハ砂塞シテ反テ西シエルデ河カ益々水深ヲ得達ニ千八百六十七年和閣ハフリッシンゲン鐵道ノ敷設シ全部前ノ狹窄部ニ築堤スルニ至リテ蔓河口ハ全然杜絕シテ唯僅ニ內地航行ノ小舟群ヲ行ルニ堪フルノミト爲レリ而シテ潮口フリッシンゲンヨリドウルニ至ル七七、キロメートル間ハ一大灣ヲ爲シテ深ク內地ニ灣入シ鹽館バトニ至ルマテ航路良好優ニ大艦巨船ヲ出入セシムヘシ而シテ唯多少ノ困難ヲ與ヘシハ即チドウルアンベルス間十八「キロメートル」ニシテシエルデノ流綿蜒曲折滯ハ彼コリ是ニ幅轉移動セリ此部分ヲ改修センカタメ百耳義政府ハ千八百八十年以來アンベルスヨリ上シェルデノ改修ニ著手シ千百万法ヲ投シテ新岸壁ヲ河岸ニ設ケタリ又千八百九十四年以來政府ハ其下流ニ淺漠ヲ强行シ低水位ニ六、「メートル」乃至八、四三「メートル」ニ達スルヲ以テ來國通航ノ大海船ハ少クモ滿潮時ヲ利用スルトキハ直ニ港內ニ潮航シ來ルヲ得ヘシ然レトモ蘇士運河ノ通航スル凡テノ船舶ヲシテ低水位ノ際ニ自由ニ入港セシムルハ尙ホ將來ノ計畫ニ屬ス

官報 8019 号

ニ位スル港ニ在リテハ如上ノ長所ハ甚シク大ナラス即チ長キ航路ト時間トニ比スレハ干滿ノタメニ妨ケラルヽ荷役ノ時間ハ比較的少ケレバナリ唯更ニ小井ヲ用ヒテ貨物ノ積換ヲ爲スモノニ在リテハ船退開門ノ開閉ハ比較的少ケレバナリ唯更ニ小井ヲ用ヒテ貨物ノ積換ヲ爲スモノニ在リテハ船退開門ノ開閉ハ荷役ノ敏活ヲ妨クルコト少カラサルノミナラス貨物積載量ノ小ナルカタメ時間ノ徒費ハ運輸費ノ昇上ヲ來スコト大ナリ然レトモ貨物ニシテ殆ト全ク陸上ニ運ヒ去ラルヽ又ハ接續セル運河ニ依リテ內地ニ輸送セラルヽナレハ荷役ノ際ニ水位ノ變動ナキハ有開船渠ノ長所ニ算フヘシ然レトモ航路ノ中間ニ在ル港灣ニ於テハ即チ之ニ反ス貨物一部ノ荷役ヲ了シ殊ニ旅客ノ乘降ニ費センカタメニハ成ヘク速ニ船舶ヲ陸岸ニ繫留スルヲ便トス故ニ多クノ開港ニ在リテハ開外ニ岸壁ヲ設ケテ先ツ旅客乘降便物ノ積卸ヲ終リ而シテ後開內ニ入リテ貨物ヲ處理スルモノ多シ此點ヨリ考フルトキハ開港ハ一層ヲ有スルモノト謂フヘシ

又荷役ノ點ヨリ考フルトキハ開內水位ノ移動ナキハ其長所タルコト明ナリト雖モ近來揚重裝置ハ著ク發達セルヲ以テ或ル點マテハ是レ終ニ彼ニ譲ヲコトヲ得ヘシ然レトモアンベルスノ如キ水位ノ差時ハ八「メートル」ニ達シ平均尚ホ四「メートル」ニ及ブ所ニ於テハ貨物積卸ノタメニ船舶ヲ用フルコト能ハサルコトアリ從テ計多ノ岸壁起重機ヲ用ヒサルヘカラサルハ一短所ト謂フコトヲ得ヘシ然レトモロッテルダムノ如ク干滿ノ差僅ニ一二「メートル」ニ過キサル所ニ於テハ即チ此憂尠シ且ツ水位ノ變化大ナル所ニ在リテハ大ナル工費ヲ以テ高キ岸壁深キ基礎ヲ築造セサレハ直ニ水岸ニ船舶ヲ繫留スルコト能ハス現今尚ホ開港ヲ併用スルモノ多キハ即チ之カタメニシテアンベルスノ如キ是ナリ

岸壁ニ依ラスシテ船舶ヲ港內ノ浮標ニ繫碇セル僅ノ艀舟ヲ用ヒテ荷役ヲ爲スハ楽ヨリ稀ナラス殊ニ運河水流カ其港內ヨリ內地ニ連絡セル場合或ハ貨物輜輦ノ結果船舶纜道ノ間ニ貨物ノ停滯セル場合ニ於リトス此等ノ場合ニハ岸壁上ノ上屋倉庫ヲ用フルコト少シ是レロッテルダムニ於テ往々見ル所ノ現象ナリ

岸壁上ニ相當ナル揚重力ヲ有スル起重機竝ニ上屋ノ揚重裝置ハ上屋倉庫軌道等ト相俟チテ近世港內設備ノ要素ヲ爲ス船舶ヨリ或ハ內地及倉庫ヨリ送致セル貨物ハ之ヲ上屋ニ運ヒ入レ之カ仕送先ヲ仕譯シテ更ニ之ヲ輸送シ去ル之カタメニハ上屋ニハ適當ノ廣袤及臨度竝ニ岸壁トノ間ニ充分ナル高サヲ有セル起重機及器干ノ軌條ノ要ス一言以テ之ヲ罷ヘハ上屋ハ即チ港陸運輸ノ仲介者タリ若シ其レ商品ヲ貯藏シテ更ニ之ヲ市場ニ送ラントスルカ又ハ船積ノ前若干時日間之ヲ貯藏センカタメニハ倉庫ノ必要起ル倉庫ハ一般ニ堅牢ナル構造タルヲ要スルノミナラス穀物類ニ在リテハ其揚穀ニ特別ノ裝置ヲ用フルモノアリ且ツ完全ナル上屋倉庫ニハ充分ナル消火ノ設備ヲ要ス

其外軌道ハ內外鐵道トノ連絡上大ニ必要ナルモノニシテ輸送貨物ノ種類數量ニ依リ港內ニハ相當ノ長サアル軌道ナカルヘカラス又起重機ニ用フル動力ノ種類ニ依リ或ハ電力、水力、氣力等ノ發力所ヲ要スヘク兼テ又漏內ノ夜照ノタメニハ電燈瓦斯等ノ設備ヲ要ス

石油又ハ木材ノ如キ特殊ノ貨物ニ至リテハ或ハ其危險ノ性質ヲ帶フルカタメ或ハ尨大ナル面積ヲ要スルカタメ夫レ特別ノ港域ヲ區劃シテ之ヲ取扱フハ一般ノ通則ナリトス

又船舶ノ修理ノタメニハ乾船渠、浮船渠等ノ港內ニ附記セラルヽハ水運業者ニ與フル便利鮮カラス

其外造船所ヲ有スルモノ亦少カラス　（未完）

○産業

○牛疫發生　一昨十七日警視廳及千葉、山梨兩縣ヨリ牛疫發生ニ關シ左ノ如ク報告アリ（農商務省）

獲生地　斃死撲殺

東京府北豐島郡巣鴨町　一頭　二頭　同大字平松

千葉縣安房郡曾呂村　一　一　三五

山梨縣西山梨郡千塚村　一　一　一

○米麥相場　去月下半月東京市米麥相場左ノ如シ（東京府）

玄米　白米　雜穀砂搗混砂搗　外國白米（一石ニ付キ）　大麥（一石ニ付キ）

日別	玄米（一石ニ付キ） 上	中	下	白米（一石ニ付キ） 一等	二等	三等	四等	五等	雜穀砂搗混砂搗	外國白米（一石ニ付キ） 上	中	下	大麥（一石ニ付キ）
十六日	四圓五〇錢	四圓四〇錢	四圓三〇錢	一圓七〇錢	一圓六〇錢	一圓五〇錢	一圓四〇錢	一圓三〇錢	一圓二〇錢	一圓五〇錢	一圓四〇錢	一圓三〇錢	一圓二〇錢
十七日	四圓五〇錢	四圓四〇錢	四圓三〇錢	一圓七〇錢	一圓六〇錢	一圓五〇錢	一圓四〇錢	一圓三〇錢	一圓二〇錢	一圓五〇錢	一圓四〇錢	一圓三〇錢	一圓二〇錢
十八日	四圓五〇錢	四圓四〇錢	四圓三〇錢	一圓七〇錢	一圓六〇錢	一圓五〇錢	一圓四〇錢	一圓三〇錢	一圓二〇錢	一圓五〇錢	一圓四〇錢	一圓三〇錢	一圓二〇錢
十九日	四圓五〇錢	四圓四〇錢	四圓三〇錢	一圓七〇錢	一圓六〇錢	一圓五〇錢	一圓四〇錢	一圓三〇錢	一圓二〇錢	一圓五〇錢	一圓四〇錢	一圓三〇錢	一圓二〇錢
二十日	四圓五〇錢	四圓四〇錢	四圓三〇錢	一圓七〇錢	一圓六〇錢	一圓五〇錢	一圓四〇錢	一圓三〇錢	一圓二〇錢	一圓五〇錢	一圓四〇錢	一圓三〇錢	一圓二〇錢
二十一日	四圓五〇錢	四圓四〇錢	四圓三〇錢	一圓七〇錢	一圓六〇錢	一圓五〇錢	一圓四〇錢	一圓三〇錢	一圓二〇錢	一圓五〇錢	一圓四〇錢	一圓三〇錢	一圓二〇錢
二十二日	四圓五〇錢	四圓四〇錢	四圓三〇錢	一圓七〇錢	一圓六〇錢	一圓五〇錢	一圓四〇錢	一圓三〇錢	一圓二〇錢	一圓五〇錢	一圓四〇錢	一圓三〇錢	一圓二〇錢
二十三日	四圓五〇錢	四圓四〇錢	四圓三〇錢	一圓七〇錢	一圓六〇錢	一圓五〇錢	一圓四〇錢	一圓三〇錢	一圓二〇錢	一圓五〇錢	一圓四〇錢	一圓三〇錢	一圓二〇錢
二十四日	四圓五〇錢	四圓四〇錢	四圓三〇錢	一圓七〇錢	一圓六〇錢	一圓五〇錢	一圓四〇錢	一圓三〇錢	一圓二〇錢	一圓五〇錢	一圓四〇錢	一圓三〇錢	一圓二〇錢
二十五日	四圓五〇錢	四圓四〇錢	四圓三〇錢	一圓七〇錢	一圓六〇錢	一圓五〇錢	一圓四〇錢	一圓三〇錢	一圓二〇錢	一圓五〇錢	一圓四〇錢	一圓三〇錢	一圓二〇錢
二十六日	四圓五〇錢	四圓四〇錢	四圓三〇錢	一圓七〇錢	一圓六〇錢	一圓五〇錢	一圓四〇錢	一圓三〇錢	一圓二〇錢	一圓五〇錢	一圓四〇錢	一圓三〇錢	一圓二〇錢
二十七日	四圓五〇錢	四圓四〇錢	四圓三〇錢	一圓七〇錢	一圓六〇錢	一圓五〇錢	一圓四〇錢	一圓三〇錢	一圓二〇錢	一圓五〇錢	一圓四〇錢	一圓三〇錢	一圓二〇錢
二十八日	四圓五〇錢	四圓四〇錢	四圓三〇錢	一圓七〇錢	一圓六〇錢	一圓五〇錢	一圓四〇錢	一圓三〇錢	一圓二〇錢	一圓五〇錢	一圓四〇錢	一圓三〇錢	一圓二〇錢
平均	四圓五〇錢	四圓四〇錢	四圓三〇錢	一圓七〇錢	一圓六〇錢	一圓五〇錢	一圓四〇錢	一圓三〇錢	一圓二〇錢	一圓五〇錢	一圓四〇錢	一圓三〇錢	一圓二〇錢
前月同期平均	四圓五〇錢	四圓四〇錢	四圓三〇錢	一圓七〇錢	一圓六〇錢	一圓五〇錢	一圓四〇錢	一圓三〇錢	一圓二〇錢	一圓五〇錢	一圓四〇錢	一圓三〇錢	一圓二〇錢
比較高	〇圓〇〇錢	〇圓〇〇錢	〇圓〇〇錢	〇圓〇〇錢	〇圓〇〇錢	〇圓〇〇錢	〇圓〇〇錢	〇圓〇〇錢	〇圓〇〇錢	〇圓〇〇錢	〇圓〇〇錢	〇圓〇〇錢	〇圓〇〇錢

○東京米穀商品取引所定期賣買高　東京米穀商品取引所ニ於ケル去月下半月定期米賣買石數竝ニ一石平均直段左ノ如シ（東京府）

東京米穀商品取引所ノ報告ニ據ル

日別	二月限	三月限	四月限	合計	二月限	三月限	四月限
	賣買石數				一石平均直段		
十六日	二、八〇〇石	九、〇〇〇石	四四、〇〇〇石	五五、八〇〇石	一圓七一錢	一圓九一錢	一圓三三錢
十七日	一、八〇〇	二、六〇〇	二五、四〇〇	三三、八〇〇	一圓七一錢	一圓九八錢	一圓三三錢
十八日	一、一〇〇	五、五〇〇	三七、〇〇〇	三五、八〇〇	一圓七一錢	一圓九〇錢	一圓三三錢
十九日	一、〇〇〇	三、三〇〇	二七、九〇〇	三一、二〇〇	一圓七〇錢	一圓九〇錢	一圓三四錢
二十日	一、〇〇〇	二、二〇〇	二四、〇〇〇	二七、二〇〇	一圓七〇錢	一圓八六錢	一圓三四錢
二十一日	一、〇〇〇	一、四〇〇	一四、五〇〇	一六、九〇〇	一圓六八錢	一圓八〇錢	一圓三四錢
二十二日	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一二、〇〇〇	一圓六八錢	一圓八〇錢	一圓三四錢
二十三日	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一二、〇〇〇	一圓六八錢	一圓八〇錢	一圓三四錢
二十四日	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一二、〇〇〇	一圓六八錢	一圓八〇錢	一圓三四錢
二十五日	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一二、〇〇〇	一圓六八錢	一圓八〇錢	一圓三四錢
二十六日	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一二、〇〇〇	一圓六八錢	一圓八〇錢	一圓三四錢
合計	一四、五〇〇	二五、八〇〇	一七四、〇〇〇	二一四、三〇〇	一圓六八錢	一圓八四錢	一圓三四錢
平均	一、〇〇〇	一、八五〇	一二、四三〇	一五、二七〇	一圓六八錢	一圓八四錢	一圓三四錢

○深川倉庫在米高　東京廻米問屋市場ニ於テ調査セル去月下半月深川倉庫在米高竝ニ庫出入額左ノ如シ（東京府）

日別	持越高 內國米（俵）	持越高 外國米（袋）	庫出高 內國米（俵）	庫出高 外國米（袋）	庫入高 內國米（俵）	庫入高 外國米（袋）	在米高 內國米（俵）	在米高 外國米（袋）
十六日	九、九〇七、七四	二、二二、六二四	三、七二三	三、五二〇	一、五八〇	三四六	九、九〇六、八四	二、二二、〇八四
十七日	九、九九、九九一	二、二四、〇八四	一、五八〇	三四六	五、〇五八	三、六〇〇	九、九〇五、四一	二、二二、七三八
十八日	九、九三、三六九	二、二三、七三八	三、六〇〇	五、〇一七	七六〇	一、二、七七	九、九〇二、三六	二、二二、七三九
十九日	九、九二、一一一	二、二四、一六五	五、〇一七	一、二一三	一、二、二四四	九、一六二	九、九〇一、一一一	二、二二、七三九
二十日	九、九六、二五六	二、二三、七三九	六、二八三	一、一〇六	四四、〇六七	三五〇	九、九〇一、〇四〇	二、二二、九八三
二十一日	一、〇二四、〇四〇	二、二二、九八三	二、四二二	四三四	二、八一二	一七〇	一、〇二四、四三九	二、二二、七一九
二十二日	一、〇二三、四三九	二、二二、七一九	四、七〇一	一	一、六、五二一	四四七	一、〇二二、七一八	二、二二、七一七
二十三日	一、〇二四、七三八	二、二二、七一七	五、七九四	三三八	一、三二、二〇八	一五〇	一、〇二二、八六三	二、二二、七一七
二十四日	一、〇二五、五四九	二、二二、〇四四	四、二二〇	一、二、七一九	五、八四四	九九四四	一、〇二三、五四四	二、二二、七一七
二十五日	一、〇二六、一、九六三	二、二二、〇四四	五、〇一一	五七五	五、一九九	一	一、〇二四、七三三	二、二二、〇八四
二十六日	一、〇二七、五八四	二、二二、六五九	一	一四五、一七一	七四〇〇	二三九、二六九	五、八七〇	五三三
合計	一	一	一	一四、一〇六	六七二	一二、六六九	一	一
平均	一	一	一	一	一	一	一	一

○鑛業事項　鑛業法ニ依リ處分シタルモノ左ノ如シ（農商務省）

試掘許可

登錄番號	鑛種	面積	鑛業權者住所氏名	許可及登錄ノ月日	事由
嘉標郡鑛西村及二瀨村地內	石炭	二五〇、六六〇坪	福岡縣田川郡川崎村坪根八三郎	三、八	試掘願許可

試掘不許可

出願地	鑛種	面積	出願人住所氏名	處分ノ月日	事由
鹿兒島縣伊佐郡山野村地內	金銀	一三四、五〇〇坪	鹿兒島縣日置郡中伊集院村 山下佐修外四人	三、九	本出願ハ出願ノ當時試掘權登錄第二三九號金銀鑛區ト全部重複ニ付キ鑛業法第二十八條ニ依リ不許可

○産業組合聯合會模範定款（昨十八日ノ續）

（三）有限責任何々縣賣買組合聯合會定款

第一章　總則

第一條　本會ハ所屬組合ノ購買スル物ヲ購買シテ之ヲ所屬組合ニ賣却スルヲ以テ目的トス

第二條　本會ハ有限責任何々縣賣買組合聯合會ト稱ス

第三條　本會ノ組織ハ有限責任トス

第四條　本會ノ區域ハ何縣何郡何郡及何郡ノ三郡トス

第五條　本會ノ事務所ハ之ヲ何縣何郡何村何番地ニ置ク

第六條　所屬組合ハ本會ノ區域內ニ主タル事務所ヲ有スル購買組合又ハ購買組合ノ事業ヲ兼營スル組合ニ限ル

第七條　本會ノ財產ニ對スル所屬組合ノ持分ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ定ム

一　出資金ニ對シテハ出資額ニ應シ算定ス

二　準備金ニ對シテハ拂込濟出資累計額ニ應シ年度毎ニ之ヲ算定加算ス

三　特別積立金ニ對シテハ其ノ年度ニ於テ本會ヨリ購買シタル物品ノ價額ニ應シ年度毎ニ之ヲ算定加算ス

四　其ノ他ノ財產ニ對シテハ拂込濟出資累計額ニ應シ之ヲ算定ス

五　本會ニ損失アリ其ノ未タ塡補ヲ爲ササル前持分ヲ拂戻ストキハ特別積立金ニ對スル持分ニ按分シテ控除シ其ノ特別積立金ヲ以テ足リサルトキハ準備金ニ對スル持分ニ按分シテ控除シ持分ヲ算定ス

本會ニ損失アリ其ノ未タ塡補ヲ爲ササル前持分ヲ拂戻ストキハ特別積立金ニ對スル持分ニ按分シテ控除シ持分ヲ算定ス第十六條ノ規定ニ依リ特別積立金ヲ隨時ノ支出ニ處分シタル場合亦同シ

本會財產カ出資額ヨリ減少シタルトキハ出資額ニ應シ持分ヲ算定ス

第八條　產業組合法第九條第一項第一號乃至第十號、第十二號及同法第十五條第一項第一號乃至第四號ニ掲ケタル事項竝所屬組合ノ區域、理事及監事ノ氏名、住所ニ變更アリタルトキハ所屬組合ハ毎月末限リ取纏メ本會ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス

第二章　出資及積立金

第九條　出資一口ノ金額ハ金二百圓トス

第十條　出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金二十圓トス

第一回後ノ出資拂込ハ配當スヘキ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノノ外出資一口ニ付毎年二月末迄ニ金二十圓宛拂込ムモノトス

第十一條　出資ノ拂込ヲ怠リタルトキハ期日後一日ニ付其ノ拂込ムヘキ金額ノ二百分ノ一ニ當タル過怠金ヲ徵收ス

第十二條　產業組合法第十五條第一項第一號及第二號ノ事項ニ付テ爲スヘキ產業組合聯合會區域ノ變更ハ毎年十二月三十一日ニ之ヲ取纏メテ其ノ後二週間內ニ之ヲ爲スモノトス

第十三條　本會ハ出資總額ト同額ニ達スル迄毎事業年度ノ剩餘金ノ四分ノ一以上ヲ準備金トシテ積立ツルモノトス

第十四條　加入金、過怠金、第四十八條ノ規定ニ依リ拂戻ヲ爲シタル持分ノ殘額及拂戻ヲ爲ササル持分ノ之ヲ準備金ニ組入ルルモノトス

第十五條　剩餘金ヨリ準備金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除シ仍殘餘アルトキハ配當金又ハ特別積立金ト爲スモノトス

第十六條　特別積立金ハ損失塡補ニ充ツルノ外總會ノ決議ニ依リ臨時ノ支出ニ處分スルコトヲ得

第十七條　準備金及特別積立金ハ何々信用組合聯合會又ハ總會ノ承認ヲ經タル銀行若ハ一個人ニ預入レ又ハ之ヲ國債證券若ハ抵方債證券ヲ買入ルルノ外他ニ之ヲ利用スルコトヲ得ス但シ總會ノ承認ヲ經テ事業資金ニ融通スルコトヲ得

第三章　機關

第十八條　本會ニ理事三名監事二名ヲ置ク

理事ハ會長一名ヲ互選ス

會長ハ會務ヲ總理シ本會ヲ代表ス會長事故アルトキハ理事ノ互選ニ依リ其ノ代理者一名ヲ定ム

第十九條　理事ノ任期ハ三箇年トシ監事ノ任期ハ一箇年トス但シ再選ヲ妨ケス

會長ノ任期ハ理事ノ任期ニ從フ

補闕選擧ニ依リ就任シタル理事又ハ監事ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス

理事及監事ハ任期滿了後ト雖後任者ノ就職スル迄仍其ノ職務ヲ行フモノトス

第二十條　辭任其ノ他ノ事由ニ依リ理事又ハ監事ニ闕員ヲ生シタルトキハ通常總會開會ノ時期迄猶豫スルコト能ハサル場合ニ限リ臨時總會ヲ招集シ補闕選擧ヲ爲スモノトス總會カ理事又ハ監事ノ解任ヲ議決シタルトキハ同時ニ其ノ補闕選擧ヲ爲スコトヲ要ス

第二十一條　總會ハ通常總會及臨時總會ノ二種トス

通常總會ハ毎年一回一月之ヲ開ク

臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

一　理事カ必要ト認メタルトキ

二　監事カ財產ノ狀況又ハ業務ノ執行ニ付不整ノ廉アルコトヲ發見シタル場合ニ於テ之ヲ總會ニ報告スル爲必要ト認メタルトキ

三　所屬組合ノ五分ノ一以上ヨリ會議ノ目的及其ノ招集ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ提出シテ總會ノ招集ヲ請求シタルトキ

第80119号

第二十二條　總會ノ招集ハ少クトモ七日前ニ書面ヲ以テ所屬組合ニ通知スルコトヲ要ス

前項ノ通知書ニハ招集者之ニ記名スルコトヲ要ス

第二十三條　所屬組合ハ本會ノ總會ニ出席セシムル爲理事ノ互選ニ依リ代表者一名ヲ定メ之ヲ本會ニ届出ツルコトヲ要ス其ノ代表者ニ變更アリタル場合亦同シ

第二十四條　總會ハ所屬組合ノ代表者中數以上出席スルニ非サレハ議事ヲ開キ議決ヲ爲スコトヲ得ス

第二十五條　總會ノ議長ハ第二十一條第三項第二號ノ場合ヲ除クノ外會長之ニ當タル會長事故アルトキハ理事ノ互選ニ依ル

第二十一條第三項第二號ノ場合ニ於ケル總會ノ議長ハ總會ヲ招集シタル監事之ニ當タル其ノ多數ナル場合ニ於テハ其ノ互選ニ依ル

總會ニ於テ必要ト認メタルトキハ出席者ノ互選ニ依リ之ヲ定ムルコトヲ得

第二十六條　總會ニ於テハ決議錄ヲ作リ會議ノ顚末及出席者ノ員數ヲ記載スルコトヲ要ス

決議錄ニハ議長ノ指名シタル出席者二名以上之ニ記名捺印スルコトヲ要ス

第二十七條　總會ノ議事ニ關スル細則ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

第二十八條　理事及監事ハ名譽職トス

理事及監事ハ正當ノ事由ナクシテ辭任スルコトヲ得ス

第二十九條　本會ニ技術員何名ヲ置キ理事之ヲ任免ス

技術員ハ理事ノ指揮ヲ承ケ取扱物品ノ品等及數量ノ査定其ノ他技術ニ關スル事務ニ從事ス

第三十條　本會ニ書記何名ヲ置キ理事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

書記ハ理事及監事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第四章　事業ノ執行

第三十一條　本會ノ事業年度ハ毎年一月一日ニ始マリ十二月三十一日ニ終ル

第三十二條　本會ニ於テ取扱フ物品左ノ如シ

一　肥料、種苗及農具

二　米麥及食鹽

三　其ノ他總會ノ決議ヲ經タル物品

第三十三條　前條ノ物品ハ理事ノ見込又ハ所屬組合ノ注文ニ依リ之ヲ購買スルモノトス

第三十四條　理事ハ所屬組合ノ取扱物品ニ付報告ヲ徵シ又ハ事業執行上必要ナル場合ニ於テ所屬組合ノ書類帳簿ヲ閲覽ヲ爲スコトヲ得

第三十五條　所屬組合ハ理事ノ承認ヲ經ルニ非サレハ本會ニ於テ取扱フ物品ヲ本會外ヨリ購買シ又ハ本會ヨリ購買シタル物品ヲ其ノ組合員ニ非サル者ニ賣却スルコトヲ得ス

第三十六條　組合ニ賣却スル物品ノ代價ハ市場ノ小賣價格以下ニ於テ理事之ヲ定ム

第三十七條　理事必要ト認ムルトキハ時期ヲ指定シテ所屬組合ニ注文物品ノ見積代金ノ一部ノ前拂ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十八條　所屬組合カ物品引渡ノ通知ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク之ヲ引取ルコトヲ要ス

前項ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ一週間内ニ引取リヲ爲ササルトキハ物品購入代價ノ十分ノ一ニ當タル過意金ヲ徵收ス此ノ場合ニ於テハ本會ニ於テ其ノ賣買契約ノ解除ヲ爲スコトヲ妨ケス

第三十九條　所屬組合ハ物品受取ト同時ニ其ノ代金ヲ支拂フコトヲ要ス但シ理事ニ於テ止ムコトヲ得サル事由アリト認ムルトキハ擔保ヲ供セシメ又ハ供セシメスシテ六箇月ヲ超ユサル期間代金支拂スコトヲ得

前項但書ノ場合ニ於テハ相當ノ利息ヲ徵收スルモノトス

第四十條　本會ソ餘裕金ハ何々信用組合購合會又ハ總會ノ承認ヲ經タル銀行又ハ一個人ノ外他ニ之ヲ預入ルコトヲ得ス

第四十一條　事業執行ニ關スル細則ハ理事之ヲ定ム

第五章　剩餘金處分及損失塡補

第四十二條　剩餘金ハ準備金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除シタル後ニ非サレハ之ヲ處分スルコトヲ得ス

剩餘金ノ配當金拂込濟出資額及其ノ年度ニ於テ本會ヨリ購買シタル物品ノ價額ニ應シテ之ヲ爲スモノトス但シ拂込濟出資額ニ對スル配當ノ率ハ年五分以下トス

第四十三條　損失ノ塡補ハ先ツ特別積立金ヲ以テシ次ニ準備金ヲ以テス

第六章　加入及脫退

第四十四條　本會ニ加入セムトスルトキハ申込書ニ加入金二圓及左ニ掲クル書類ヲ添附シテ理事ニ差出スコトヲ要ス

一　定款ノ謄本

二　最近ニ作成シタル貸借對照表

三　產業組合法第七十八條ノ規定ニ依ル總會又ハ總代會ノ決議錄ノ謄本

申込書ニハ設立許可ノ年月日並理事及監事ノ氏名、住所ヲ附記スルコトヲ要ス

理事加入ノ申込ヲ承諾シタルトキハ其ノ旨申込者ニ通知シ出資第一回ノ拂込ヲ爲サシメタル後所屬組合名簿ニ記載スルコトヲ要ス

加入ノ效力ハ第四十五條ノ場合ヲ除クノ外出資第一回ノ拂込ト同時ニ發生スルモノトス

第四十五條　持分ヲ讓渡サムトスル場合ニ於テハ理事ノ承諾ヲ經ルコトヲ要ス持分ヲ讓受ケムトスルモノカ所屬組合ニ非サルトキハ出資拂込ヲ爲サシメサルノ外前條第一項乃至第三項ノ規定ヲ準用ス

第四十六條　所屬組合カ脫退セムトスルトキハ少クトモ其ノ事業年度末六箇月前ニ其ノ旨ヲ理事ニ豫告スルコトヲ要ス

第四十七條　所屬組合カ左ノ事由ノ一ニ該當スルトキハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ除名ス

一　出資ノ拂込、過怠金ノ納付又ハ購買物品代金ノ支拂ヲ怠リ期限後一箇月内ニ其ノ義務ヲ履行セサルトキ

二　第三十五條ノ規定ニ違反シタルトキ

三　本會ノ事業ヲ妨クル行爲アリタルトキ

四　信用ヲ失ヒタルトキ

第四十八條　所屬組合カ脫退ノ場合ニ於ケル持分ノ拂戻ハ其ノ拂込濟出資額ニ止ムルモノトス

前條ノ規定ニ依リ除名セラレタル組合ニ對スル持分ノ拂戻ハ其ノ拂込濟出資額ノ半額ニ止ム

第四十九條　本會解散シタルトキハ理事其ノ清算人ト爲ル

解散

第七章　附則

第五十條　本會設立當時ノ理事及監事ヲ定ムルコト左ノ如シ但シ第一回通常總會ニ於テ之ヲ改選ス

理事　何　某
理事　何　某
理事　何　某
監事　何　某
監事　何　某

（未完）

○雜事

○外國旅券紛失及返納者

去月中外國旅券紛失ノ旨届出テタル者左ノ如シ

旅券番號	氏名	渡航先	下付官廳	下付年月日	届出接到日
四八二一三	吉川雅太郎	露領浦潮斯德	東京府	三九、九、二八	三九、一一、二
二二〇一九	酒井益次	同	東京都	三九、五、一八	三九、七
一三五一七	上山爲助	英領加拿陀	神奈川縣	三七、三、一	三九、一二、二四
一九〇四七	北川新作	露領浦潮斯德	同	三九、四、二	三九、一二、二四
六一四〇七	山崎伊八	米領布哇	兵庫縣	二九、四、二九	三九、七
四八〇四四一	榎本龜太郎	英領加拿陀	同	三三、三、三〇	三九、七
商一〇九一四	田上民治	米國	同	三九、五、二	三九、七
二〇九〇七	高平末太郎	露領浦潮斯德	長崎縣	三九、六、二	三九、七、二

三一五七三	小田平藏	同	露領浦潮斯德	三九、七、三	三九、七、一〇
三一七九二	荻岡八郎	同	同岡縣	三九、八、二四	四〇、三、八
五七〇八九	木村ヲナヲ	同			
工　三九四	木村政吉	米國	新潟縣	三九、四、一	三九、一一、一七
四一八〇三	近田友吉	米領布哇	同	三九、三、四	三九、一一、二一
出七四四一二	池田初太郎	英領加拿陀	同	三九、一、五	三九、一一、五
一六二四四一	新谷小市	米領布哇	同	三四、八、一	三九、一一、一七
六五四四四	紙谷勝太郎	同	同	三五、一、一五	三九、一一、二一
二六二五四四	須川又市	同	同	三五、七、六	三九、一一、二一
一〇〇九二八	田代三吉	露領浦潮斯德	同	四二、二、一	三九、一一、二一
七四三三一	黑川勇三郎	米國	愛知縣	三六、八、三一	三九、一一、二一
八六五八三	安部銀次郎	米領布哇	同	三七、二、三	三九、一一、二一
七四三〇四	猪子直平	同	同	三七、二、三一	三九、一一、二一
八六五八三	五味秀也	米國	山口縣	三四、七、三一	三九、一一、二一
三三四七	中川與惣次郎	米領布哇	賀茂縣	三六、九、二一	三九、一一、二一
六九五八三	宮本文次郎	同	同	三九、四、三	三九、一一、二一
一九六六二五	江見久次郎	米國	同	三九、六、四	三九、一一、二一
三二五九四	早川萬吉	同	福井縣	三三、三、二	三九、一一、二一
九九五〇四	砂流德太郎	同	同	三六、五、六	三九、一一、二一
九九二六二	竹原利平次	米國	鳥取縣	二九、八、一〇	三九、一一、二一
不詳	中虎太郎	米領布哇	同	三六、六、六	三九、一一、二一
七一五九〇	田中（妻カメノ）	同	同	三七、五、一〇	三九、一一、二一
八九九九〇	小野清太郎	米國	同	三七、二、二五	三九、一一、二一
二九七九	三皷槌太郎	米領布哇	同	四〇、一、二三	三九、一一、二一
五〇〇一	小山八郎	同	廣島縣	三七、二、一七	三九、一一、二一
八八七八	山口吉五郎	同	同	三七、三、三五	三九、一一、二一
一四二一五	中田三八	同	同	三七、一、一五	三九、一一、二一
二七一六四	中尾文藏	米國	同	三七、一一、一〇	三九、一一、二一
五六九三五	松島清次郎	米領布哇	同	三七、一一、二四	三九、一一、二一
六三三三三	末高多郎次	同	同	三七、一一、一〇	三九、一一、二一
六九四一六	下原正平	同	同	三七、一一、一〇	三九、一一、二一
一九二七一	上岡彌三郎	同	同	三七、六、七	三九、一一、二一
五四四四五	牧野春吉	同	同	三七、五、四	三九、一一、二一
出三〇〇六〇	河村頴母	同	山口縣	三七、七、七	三九、一一、二一
出四六一五七	土井關太郎	同	同	三七、七、三一	三九、一一、二一
出六三〇七九	友部三郎	同	同	三一、二、五	三九、一一、二一
出六八七八	酒井定次郎	米國	和歌山縣	三一、二、二五	三九、一一、二一
二七三五	小山藤一	同	同	三一、二、二一	三九、一一、二一
二四〇一六	窪田三右衛門	米國	同	三五、一〇、二一	三九、一一、二一
五九五六	大浦安松	同	同	三六、一、二一	三九、一一、二一
九四一〇六	寺西喜之助	英領加拿陀	同	三九、一、一五	四〇、八、三〇
三八九四九	北出彌三吉	同	同	四〇、八、三〇	四〇、一、一八
六〇四八五	宮崎ハツ	露領浦潮斯德	愛媛縣	三九、一二、一八	四〇、三、六
六〇七六七	北岡孫八	米領布哇	同	四〇、一、一九	四〇、四、一〇
六〇八八三	柳村德治	同	同		
國友	泉	同	同		

六一一九四	中村久吉	露	同	四一、一〇、六	一〇
二〇二一四	塚本儀三郎	米領布哇	福岡縣	三九、九、二一	三九
出二四九一八	小川松太郎	米國	同	三九、一、二一	七
一〇二五七	立石卯一郎	米領布哇	同	三九、三、二	一七
三五二六三	鍵田礒吉	同	同	三九、六、二九	二一
三五七九九	吉田松治郎	同	同	三九、七、二八	五
四八九九五	立石臣助	同	同	三九、七、三一	三九
四八九九五	庄島好太郎	同	同	三九、八、二四	一七
四八六〇〇	別府作太郎	同	同	三九、九、七	二一
六九六〇三	才田福太郎	露領浦潮斯德	同	三九、三、七	三九
八六〇四	持田吉次郎	佛領ニッカレドニア	同	三九、九、三五	七
四八〇五	篠原平三	米領布哇	同	三九、一、二八	二一
二四三六三	大隈作次	韓國元山津	同	三九、六、三〇	二一
三三七五四	江島清太郎（妻モト）	米領布哇	同	三九、九、三〇	五
六八二五六	携帶兒精一	同	同	三六、八、二九	一七
六八三三二	大庭松太郎	同	同	三六、九、一八	二一
七七二〇一	平田忠太郎	米領マニラ	同	三七、一〇、二〇	二一
八六四三九	慶田光太郎	米領布哇	同	三七、五、六	二五
九七七六二	原田鶴松	同	同	三八、六、二六	二一
八八四八	內田松次	同フィリピン	同	三八、一、一九	二一
八九四九	青山峰吉	同	同	三八、一、二〇	七
正野鐵太郎	同	同布哇	同	三八、一〇、一九	一七
二三五五三	鹽田竹次郎	米國	同	三九、四、一九	二六
一七四二四	龍己太郎	露領浦潮斯德	同	三九、一一、一〇	二一
六三七七九	武田蕃	米國シアトル	同	三九、一一、一〇	二一
六九二五	福山孫市	同華盛頓州	同	三九、七、二一	二一
三四〇二	福山孫市	英領加拿陀	同	三九、七、二一	二一
三二四〇〇	秀島轉	露領浦潮斯德	同	四〇、四、二四	一
六九九三三	山崎善作	墨西哥	同	四〇、四、二四	二一
六九九八二	青木スワ	露領浦潮斯德	同	四〇、五、二四	二一
一八八九九	辻イワ	同	同	四〇、五、二七	二一
原田西平	同	米領布哇	熊本縣	三四、一〇、二六	八
三八〇五六	江島寅八	米國桑港	同	三五、一、八	七
七三三四一	山內伊三郎	米領布哇	同	三七、一、九	七
七七四八五	有働新太郎	同	同	四〇、四、一〇	一〇
岡本クワ	露領ネルチンスキ市	在清國哈爾賓帝國總領事館		四一、六、六	二八
七九一九	藤定吉	露國	同	四一、二、一九	一〇
後	入江信照	在露國莫斯科帝國領事館	同	四一、六、一	二八
一三三	不詳				

又同月中在外公館下付外國旅券ヲ返納シタル者左ノ如シ（以上外務省）

旅券番號	氏名	渡航先	下付官廳	返納年月日	返納官廳
三〇一三	中村キミ	露領浦潮斯德	在清國上海帝國總領事館	三九、九、二八	長崎縣
五九一	松原ヤヒ	同	在同國牛莊帝國領事館	三九、六、一〇	熊本縣

官報 8019 19

六〇五七　内藤啓三　英領新嘉坡　同
二五五五　妻同キク子　露領浦潮斯德　同
五一〇七　德山良明　同西伯利亞　同
二七五五　縣文夫　同同　同
二六〇六　溝延惣平　米國桑港　同
二六一六　永峰治之　米領マニラ　同
二三四　陳異堂　羅羅地方　同
一七四四　森吉松　伊太利　同
一〇四四八　相馬千里　米國桑港　同
一三八一　藤本富藏　米國　露領ニコライエフスク
一三一〇　福島甲平　同　同
六五六四　坂上兵市　露國　同
六一七　池田シカ　同　同
（金泰世　妻氏　長男　金石）

○移民業務代理許可　移民取扱人竹村與右衛門ヨリ和歌山縣東牟婁郡七川村大字西川六二二番地平民宮本土郎ヲシテ內地ニ於テ業務代理ヲ爲サシムルノ件本月十二日許可セリ（外務省）

○帝國議會

○貴族院

○會議　昨十八日ノ議事（議事日程第十六號經過左ノ如シ）

會計檢査院法中改正法律案（政府提出衆議院送付）　電氣事業法案（政府提出衆議院送付）

右兩案ハ各〻之ヲ特別委員（議長指名）ニ付託ス

關稅定率法改正法律案（政府提出衆議院送付）

右議案ハ委員長侯爵黑田長成委員會ニ於ケル審査ノ報告ヲ爲シ次テ第一讀會ヲ了リ引續キ第二（第三讀會ヲ開キテ之ヲ修正議決ス

耕地整理法中改正法律案（政府提出衆議院送付）

右議案ハ委員長男爵目賀田種太郎委員會ニ於ケル審査ノ報告ヲ爲シ次テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ之ヲ可決ス

明治四十一年法律第三十七號中改正法律案（政府提出衆議院送付）

羅災救助基金法中改正法律案（政府提出衆議院送付）

東京市區改正條例中改正法律案（政府提出衆議院送付）

右三案ハ現ニ審査中ニ在ル營業稅法中改正法律案ノ議決ニ至ルマテ之カ議事ヲ延期スルニ決ス

皇族ヨリ臣籍ニ入リタル者及婚嫁ニ因リ臣籍ヨリ出テ皇族ト爲リタル者ノ戶籍ニ關スル法律案（政府提出）

右議案ハ委員長公爵二條基弘委員會ニ於ケル審査ノ報告ヲ爲シ次テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ之ヲ可決ス

北海道土功組合法中改正法律案（政府提出衆議院送付）

右議案ハ委員長男爵高木兼寬委員會ニ於ケル審査ノ報告ヲ爲シ次テ第一讀會ヲ了リ引續キ第二（第三讀會ヲ開キテ之ヲ可決ス

警部補退隱料及遺族扶助料等ニ關スル法律案（政府提出衆議院送付）

輕便鐵道法案（政府提出衆議院送付）

警部補退隱料及遺族扶助料等ニ關スル法律案ハ委員長子爵裏松良光、輕便鐵道法案ハ副委員長男爵田健治郎各〻委員會ニ於ケル審査ノ報告ヲ爲シ兩案孰モ三讀會ノ順序ヲ省略シテ之ヲ可決ス

各國國勢調査事業視察ニ關スル建議案（伯爵柳澤保惠發議）

右議案ハ之ヲ可決ス

○國務大臣出席　桂內閣總理大臣兼大藏大臣、小村外務大臣、平田內務大臣、大浦農商務大臣、後藤遞信大臣、小松原文部大臣、岡部司法大臣ハ昨十八日ノ會議ニ出席セリ

○議案奏上及通知　昨十八日可決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

耕地整理法中改正法律案

北海道土功組合法中改正法律案

警部補退隱料及遺族扶助料等ニ關スル法律案

輕便鐵道法案

○議案回付　昨十八日修正議決シタル左ノ政府提出案ハ即日之ヲ衆議院ニ回付セリ

關稅定率法改正法律案

○議案送付　昨十八日可決シタル左ノ政府提出案ハ即日之ヲ衆議院ニ送付セリ

皇族ヨリ臣籍ニ入リタル者及婚嫁ニ因リ臣籍ヨリ出テ皇族ト爲リタル者ノ戶籍ニ關スル法律案

○建議書呈出　昨十八日可決シタル左ノ建議ハ文書ヲ以テ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

各國國勢調査事業視察ニ關スル建議

○議案受領　昨十八日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

明治四十三年度歲入歲出總豫算追加案（第二號）

明治四十三年度各特別會計歲入歲出豫算追加案（特第一號）

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件（追第三號）

明治四十二年度歲入歲出總豫算追加案（第三號）

議事日程第十七號

右郵送

明治四十三年度歲入歲出總豫算追加案（第二號）

明治四十三年度各特別會計歲入歲出豫算追加案（特第一號）

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件（追第三號）

明治四十二年度歲入歲出總豫算追加案（第三號）

○書類配付　昨十八日左ノ書類ヲ配付セリ

明治三十七八年戰役ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル法律案（伯爵中川久任　副委員長　室田義文　委員長）

會計檢査院法中改正法律案（子爵實吉安純　委員長）

明治四十三年度歲入歲出總豫算追加案（第二號）

明治四十三年度各特別會計歲入歲出豫算追加案（特第一號）

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件（追第三號）

明治四十二年度歲入歲出總豫算追加案（第三號）

明治四十三年度歲入歲出總豫算追加案（第二號）

明治四十三年度特別會計歲入歲出豫算追加案（特第一號）

外國人ノ土地所有權ニ關スル法律案

鐵道營業法中改正法律案

○議案提出　昨十八日議員ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ

教員ノ待遇ニ關スル建議案（伯爵柳川逸孝外八名發議）

○兩院協議會ノ請求及通牒受領　昨十八日衆議院ヨリ本院ノ回付シタル左ノ政府提出案ハ同院ニ於テ本院ノ修正ニ同意セサルコトニ決議セル旨ヲ以テ兩院協議會ヲ開クノ請求ヲ受ケ又同時ニ同院ヨリ協議委員ノ數ヲ十名ト爲スニ決セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

關稅定率法改正法律案

又同日衆議院ヨリ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ハ同院ニ於テ本院ノ議決ニ同意シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

間島ニ於ケル領事官ノ裁判ニ關スル法律案

○報告書提出　昨十八日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

漁業法改正法律案可決報告書

營業稅法中改正法律案可決報告書

銃砲火藥類取締法改正法律案可決報告書

災害地地租特別處分法案可決報告書

又同日特別委員副委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

日本勸業銀行法中改正法律案可決報告書

農工銀行法中改正法律案可決報告書

北海道拓殖銀行法中改正法律案可決報告書

○特別委員選定　昨十八日議長ニ於テ特別委員ヲ左ノ如ク選定セリ

會計檢査院法中改正法律案

子爵渡邊昇　子爵松平忠禎　子爵得能通昌
子爵馬田正學　男爵北島孝　機邊包義
子爵賀吉安純　何禮之　下郷傳平

電氣事業法案

伯爵柳原義光　男爵田淺田徳則
子爵鳥居忠文　男爵中島健治郎
子爵有馬頼之　千坂高雅
石黑五十二
市川文藏

○委員長副委員長互選　昨十八日特別委員ニ於テ委員長副委員長ヲ互選セリ

其結果左ノ如シ

東洋拓殖株式會社法中改正法律案

委員長　伯爵正親町實正　副委員長　子爵水野直

日本勸業銀行法中改正法律案外二件

委員長　子爵三島彌太郎　副委員長　伯爵寺島誠一郎

午前九時

東洋拓殖株式會社法中改正法律案特別委員會

登錄稅法中改正法律案特別委員會

電氣事業法案特別委員會

互選（互選後引續キ會議）

韓國在勤鐵道院所屬官吏ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案特別委員長同副委員長ノ互選（互選後引續キ會議）

同副委員長ノ互選（互選後引續キ會議）

衆議院議員選擧法中改正法律案外一件特別委員會

午後一時

決算委員會

貴族院伯子男爵議員選擧規則中投票ニ關スル規定改正建議案特別委員會

豫約出版法案特別委員長同副委員長ノ互選（互選後引續キ會議）

民事訴訟法中改正法律案外一件特別委員長同副委員長ノ互選

國有土地森林原野下戻申請期間ニ關スル法律案特別委員會

以上議事散會後

午前十時

請願委員會

午後一時

行政執行法中改正法律案特別委員會

以上午前十時

官吏恩給法中改正法律案

裁判所構成法中改正法律案

辯護士法中改正法律案

營業稅法中改正法律案特別委員長報告書

漁業法改正法律案特別委員長報告書

銃砲火藥類取締法改正法律案特別委員長報告書

災害地地租特別處分法案特別委員長報告書

日本勸業銀行法中改正法律案特別委員副委員長報告書

農工銀行法中改正法律案特別委員副委員長報告書

北海道拓殖銀行法中改正法律案特別委員副委員長報告書

請願文書表（第八回報告）

以上文書函ニ投入

第8019号

○議事日程 今十九日ノ議事日程左ノ如シ

議事日程 第十七號 明治四十三年三月十九日(土曜日)

午前十時開議

第一 關稅定率法改正法律案兩院協議委員ノ選擧

第二 明治四十三年度歲入歲出總豫算追加案(第二號)審査期限ヲ定ムルノ件

第三 明治四十三年度各特別會計歲入歲出豫算追加案(特第一號)審査期限ヲ定ムルノ件

第四 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第三號)審査期限ヲ定ムルノ件

第五 明治四十二年度歲入歲出總豫算追加案(第三號)審査期限ヲ定ムルノ件

第六 明治四十三年度歲入歲出總豫算追加案(第三號)審査期限ヲ定ムルノ件

第七 明治四十三年度特別會計歲入歲出豫算追加案(特第二號)審査期限ヲ定ムルノ件

第八 外國人ノ土地所有權ニ關スル法律案(政府提出案 議院送付)

第九 鐵道營業法中改正法律案(政府提出案 議院送付)

第十 營業稅法中改正法律案(政府提出案 議院送付)

第十一 災害地地租特別處分法案(政府提出案 議院送付)

第十二 明治四十一年法律第三十七號中改正法律案(政府提出案 議院送付)

第十三 罹災救助基金法中改正法律案(政府提出案 議院送付)

第十四 東京市區改正條例中改正法律案(政府提出案 議院送付)

第十五 製鹽地整理ニ關スル法律案(政府提出案 議院送付)

第十六 漁業法改正法律案(政府提出案 議院送付)

第十七 銃砲火藥類取締法改正法律案(政府提出案 議院送付)

第十八 獸疫豫防法中改正法律案(衆議院提出)

第十九 軍人恩給法中改正法律案(衆議院提出)

第二十 官吏恩給法中改正法律案(衆議院提出)

第二十一 裁判所構成法中改正法律案(衆議院提出)

第二十二 辯護士法中改正法律案(衆議院提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第一讀會

第一讀會

第一讀會

第一讀會

第一讀會

○議員席次變更 昨十八日長谷場本院議長ニ於テ議席ヲ左ノ如ク變更セリ

五十七番 鈴木 力 九十七番 佐々木 安五郎

○會議 昨十八日ノ議事經過左ノ如シ

(第二號)明治四十三年度歲入歲出總豫算追加案

(特第一號)明治四十三年度各特別會計歲入歲出豫算追加案

(追第三號)豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

(第三號)明治四十二年度歲入歲出總豫算追加案

(特第二號)明治四十三年度特別會計歲入歲出豫算追加案

右各案ハ一括シテ院議ニ付シ院議之ヲ可決ス

外國人ノ土地所有權ニ關スル法律案(政府提出)

鐵道營業法中改正法律案(政府提出)

右兩案ハ孰モ第二讀會ヲ開クニ決シ引續キ第二讀會、第三讀會ヲ開キ修正議決ヲ爲ス

間島ニ於ケル領事官ノ裁判ニ關スル法律案(政府提出貴族院送付)

右議案ハ第二讀會ヲ開クニ決シ引續キ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シテ之ヲ可決ス

關稅定率法改正法律案(政府提出案 議院送付)

右議案ハ議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ院議貴族院ノ修正ニ同意セス十名ノ協議委員(議場選擧)ヲ設ケテ兩院協議會ヲ開クニ決シ他ハ延會ス

○國務大臣出席 小村外務大臣、平田內務大臣、岡部司法大臣、小松原文部大臣、後藤遞信大臣ハ昨十八日ノ會議ニ出席セリ

○議案奏上及通知 昨十八日可決シタル左ノ政府提出案ハ卽日裁可ヲ奏請シ同時ニ可決ノ旨ヲ貴族院ニ通知セリ

間島ニ於ケル領事官ノ裁判ニ關スル法律案

○議案送付 昨十八日左ノ政府提出案ヲ貴族院ニ送付セリ

(第二號)明治四十三年度歲入歲出總豫算追加案

(特第一號)明治四十三年度各特別會計歲入歲出豫算追加案

(追第三號)豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

(第三號)明治四十二年度歲入歲出總豫算追加案

(特第二號)明治四十三年度特別會計歲入歲出豫算追加案

外國人ノ土地所有權ニ關スル法律案

鐵道營業法中改正法律案

○議案受領 昨十八日貴族院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

皇族ヨリ臣籍ニ入リタル者及婚嫁ニ因リ臣籍ヨリ出テ皇族ト爲リタル者ノ戶籍ニ關スル法律案

又同日貴族院ヨリ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ノ回付ヲ受領セリ

關稅定率法改正法律案

○議案提出 昨十八日議員ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ

上越鐵道敷設ニ關スル建議案(根岸鶴太郎外三名)

鐵道營業法中改正法律案中修正案(高木益太郎)

○議案通牒受領 昨十八日貴族院ニ於テ耕地整理法中改正法律案、北海道土功組合法中改正法律案、警部補退隱料及遺族扶助料等ニ關スル法律案、輕便鐵道法案ヲ可決シタル旨同院ヨリ通牒ヲ受領セリ

○請求及通知 昨十八日關稅定率法改正法律案ニ付キ兩院協議會ヲ開クコトヲ請求シ其委員ヲ十名ト爲スコトヲ貴族院ニ通知セリ

○答辯書受領 昨十八日政府ヨリ左ノ答辯書ヲ受領セリ

官有地拂下ニ關スル件(平田內務大臣)

○質問書提出 昨十八日議員ヨリ政府ニ對シ左ノ質問主意書ヲ提出セリ

四國ノ交通機關ニ關スル件(高山長幸外三名)

神社合祀ニ關スル件(中村啓次郎外二名)

○委員異動 昨十八日鐵道建設ニ關スル建議案外三件委員齋藤宇一郎辭任ニ付キ其補闕トシテ西村丹治郎ヲ議長ニ於テ選定セリ

○委員長及理事 昨十八日委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ

明治四十年法律第五十二號中改正法律案外一件

委員長 小川 平吉 理事 高木 益太郎

國稅徵收法改正ニ關スル建議案

委員長 古井 山之 理事 古野 孫太郎

○兩院協議委員選擧 昨十八日議場ニ於テ兩院協議委員ヲ左ノ如ク選擧セリ

關稅定率法改正法律案

長島 警太郎 渡邊 勘十郎

鳩山 和夫 野田 卯太郎 井上 敏夫 元田 肇 ——

長 晴登 望月 右內

大岡 育造 横山 寅一郎

○兩院協議會議長及副議長 昨十八日兩院協議會議長及副議長互選ノ結果左ノ如シ

關稅定率法改正法律案

議長 大岡 育造 副議長 野田 卯太郎

○委員會 今十九日開會ノ委員會左ノ如シ

豫算委員會

會議ニ付スヘキ議案

(第四號)明治四十二年度歲入歲出總豫算追加案

(第四號)明治四十三年度歲入歲出總豫算追加案

(追第四號)豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

第一 明治四十一年度特別會計豫備金支出ノ件

明治四十一年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

明治四十一年度清國事件第二豫備金支出ノ件

明治四十一年度韓國派遣部隊豫備費支出ノ件

皇族ヨリ臣籍ニ入リタル者及婚嫁ニ因リ臣籍ヨリ出テ皇族ト爲リタル者ノ戶籍ニ關スル法律案(政府提出案 貴族院送付)

第二 明治四十一年度豫備金支出ノ件

明治四十一年度豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件

明治四十一年度特別會計豫備金支出ノ件

第一讀會

請願委員會

午前十時

帝國學制案委員會

國稅徵收法改正ニ關スル建議案委員會

會計法中改正法律案委員會

以上午後一時

○議事日程 第二十四號 明治四十三年三月十九日(土曜日)

午前十一時

○議事日程 今十九日ノ議事日程左ノ如シ

午後一時開議

第三 明治四十一年度豫備金支出ノ件

明治四十一年度豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件

明治四十一年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

第四 明治四十一年法律第五十二號中改正法律案(政府提出貴族院送付)

第五 明治四十二年法律第三十六號中改正法律案(政府提出貴族院送付)

第六 臺灣銀行法中改正法律案(政府提出)

第七 狩獵法中改正法律案(中村彌六君外三名提出)

第八 普通選擧ニ關スル法律案(日向輝武君外十三名提出)

第九 北海道釧路根室間鐵道速成ニ關スル建議案(白石義郎君外一名提出)

第十 漁港開築ニ關スル建議案(三浦覺一君外二名提出)

(承諾ヲ求ムル件)(委員長報告)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第一讀會

第一讀會

第一讀會

第一讀會

第 80119 号

第十一 學制改革ニ關スル建議案（松田正久君外五名提出）
第十二 上越鐵道敷設ニ關スル建議案（根津嘉太郎君外三名提出）
第十三 央談會國庫補助ニ關スル建議案（尾崎行雄君外五名提出）
第十四 北韓鐵道改築及航海開始ニ關スル建議案（三浦覺一君外一名提出）
第十五 鐵道建設ニ關スル建議案（衆第七〇號）（長崎登君外二名提出）（委員長報告）
第十六 滿洲銀行設立ニ關スル建議案（元田肇君外三名提出）（委員長報告）
第十七 臺灣拓殖銀行設立ニ關スル建議案（櫻國軍之佐君外一名提出）（委員長報告）
第十八 鑛煙毒除害命令竝被害救濟ニ關スル建議案（武藤金吉君外十一名提出）（委員長報告）
第十九 水產講習所分場設置ニ關スル建議案（吉田虎之助君外一名提出）（委員長報告）

○在外公館報告

○傳染病月報 本年一、二兩月中ノ傳染病狀況ニ付キ在外公館ヨリノ月報左ノ如シ 去月十七、十八兩日及本月一日本欄內參看（外務省）

邊陽（鐵道附屬地ヲ含ム）自一月二十一日至同二十八日 賜金扶恤私費者一人發生シ遼陽城內官設醫院ニ入院治療中ナリ（在遼陽帝國領事館報告）

南京、鎭江、蘇州 自一月二十八日至同二十八日 患者死者共皆無ナリ（在南京帝國領事館報告）

蘇州 自一月二十八日至同二十八日 患者死者共皆無ナリ但シ滯國人ノ患者及死者ノ有無不詳（在蘇州帝國領事館報告）

漢口 自一月二十八日至同二十八日 痘瘡患者二人（內一人一日全治）實布垤利亞患者一人（五日全治）アリ（在漢口帝國總領事館報告）

福州 自一月二十八日至同二十八日 痘瘡死者二人アリ目下福州市街滯國人間ニ天然痘流行ノ兆アリ右死者モ滯國人ニシテ本邦醫師ノ診斷ヲシモノナリ在留本邦人間ニハ傳染病者ナシ（在福州帝國領事館報告）

バタビア 自一月三十日至同三十一日 虎列刺患者百三十五人アリ同死者、不明、プロボルリンバニガン 自一月一日至同三十一日 虎列刺患者三十七人同死者二十五人アリスマラン 自一月三十一日至同三十一日 賜金扶恤私費者二十八人同死者八人アリ（在バタビア帝國領事館報告）

○漢口痘瘡週報 漢口ニ於ケル痘瘡患者ニ關スル在同地帝國總領事館ヨリノ週報左ノ如シ 本月十日本欄內參看（外務省）

期間 自一月二十日至同二十六日

	新患者	死者	全治
本年初發以來累計	一	一	一
患者	死者	全治	現在
一	一	一	一

○香港天然痘週報 香港ニ於ケル天然痘患者ニ關スル在同地帝國總領事館ヨリノ週報左ノ如シ 本月八日本欄內參看（外務省）

期間 自二月二十一日至同二十七日

	新患者	死者	全治	現在
本年初發以來累計	二	一	一	二
患者	死者	全治	現在	
二	一	一	二	

（備考）新患者國別清國人三、英國人一ナリ

○般谷ペスト、虎列刺及痘瘡週報 般谷ニ於ケル「ペスト」、虎列刺及痘瘡患者ニ關スル在同地帝國領事館ヨリノ週報左ノ如シ 本月五日本欄內參看（外務省）

期間 自二月六日至同十二日

	病名	新患者	死者	全治
本年初發以來累計	「ペスト」	五	五	一
	虎列刺	一	一	一
	痘瘡	一	一	一
患者	死者	全治	現在	
一五	一三	二	一	
一	一	一	一	
一	一	一	一	

○カルカッタ「ペスト」虎列刺及痘瘡週報 カルカッタニ於ケル「ペスト」、虎列刺及痘瘡患者ニ關スル在同地帝國總領事館ヨリノ週報左ノ如シ 本月一日本欄內參看（外務省）

期間 自一月二十三日至同二十九日

	病名	新患者	死者	全治	現在
本年初發以來累計	「ペスト」	不明	八	不明	不明
	虎列刺	不明	八一	不明	不明
	痘瘡	不明	一	不明	不明
患者	死者	全治	現在		
三一	三	不明	不明		
一九八	一	不明	不明		
二	不明	不明	不明		

○バタビア虎列刺週報 バタビアニ於ケル虎列刺患者ニ關スル在同地帝國領事館ヨリノ週報左ノ如シ 本月二日本欄內參看（外務省）

期間 自一月二十七日至同三月十一日

	新患者	死者	全治	現在
第一區	?	?	?	?
第二區	?	?	?	?
第三區	?	?	?	?
第四區	?	?	?	?
第五區	?	?	?	?
第六區	?	?	?	?
第七區	?	?	?	?
第八區	?	?	?	?
第九區	?	?	?	?
第十區	?	?	?	?

	患者	死者	全治	現在
本年初發以來累計	三二	三	不明	不明
	一三五	一九八	不明	不明
	一四	一	不明	不明
患者	死者	全治	現在	
一三	一	二	一	
一五六	一	二	一	
一八四	一	二	一	

第一區 北ノ風、概ネ曇
第二區 南又ハ西ノ風、概ネ晴後曇天ト爲リ雨模樣アリ
第三區 同シ
第四區 第一區ニ同シ
第五區 南ノ風、概ネ晴ナレトモ雨模樣ノ處アリ風強カルヘシ
第六區 第五區ニ同シ
第七區 南ノ風、概ネ曇風強カルヘシ
第八區 南西ノ風、概ネ晴ナレトモ雨模樣ノ處アリ風強カルヘシ
第九區 南ノ風、概ネ曇ナレトモ雨模樣アリ
第十區 第九區ニ同シ

○觀象

○全國天氣豫報 自三月十八日午後六時至三月十九日午後六時 十四時間ノ天氣豫報 十八日發

○東京地方天氣豫報

南ノ風晴ナレトモ一時雲ラントスル模樣アリ、風強カルヘシ

○東京氣象

三月十七日

氣壓（海面ノ度）平均 七六二・四粍
氣溫 平均 四・八度
最高（平年ヨリ一〇度低シ） 一〇・七度
最低 〇・七度
濕度 平均 三九・〇％
水蒸氣張力 平均 二・四粍
雲量 平均 〇・〇
日照時間 平均 一・〇時
風 最大速度 七・一米
最多方向 北西
降水 總量 一・〇粍
一時間最大量 一・〇粍
總雲量 四・八粍
記事 朝霧

（以上中央氣象臺）

○廣告

本月二十一日春季祭ニ付キ非役從二位以下同勳二等以下ノ者ハ正午十二時ヨリ午後一時マテニ參拜スヘシ 但シ有位者及有位有勳者ハ位階相當ノ大禮服無位有勳者ハ通常禮服勳章ハ綬佩用ノコト

明治四十三年三月 式部職

○收容貨物

左記貨物ハ收容後滿六箇月ヲ經過シタルモノニ付キ關稅法第五十條ニ依リ公告ス

明治四十三年三月 大阪稅關

記號	品名	箇數	
	羊毛皮	一箇	茶托

○生徒募集

來ル四月ヨリ施行ス、ヘキ特殊技術員養成科學程（本月二日官報農商務省告示第百四號）ニ依リ第五條第一號資格者中ヨリ製鹽科生徒十人ヲ募集ス志願者ハ左記事項ヲ知ノ上願書ニ卒業當該學校長若クハ講習所長ノ卒業證明書並ニ履歷書ヲ添ヘ來ル四月五日マテニ到達スル樣直接本所ニ差出スヘシ

明治四十三年三月 水產講習所

入學試業科目 物理、化學、數學、算術、代數、幾何、圖畫、作文及體格

入學試業ノ場所及期日 入學試業ハ來ル四月九、十二兩日本所ニ於テ施行ス

入學願書式 宿所屆書ヲ差出シ受驗證票及受驗心得書ヲ受領シ時間割等ヲ承合スヘシ

（用紙美濃）

私費御所特殊技術員養成科製鹽科（入學志願ニ付御許可被成下度別紙履歷書並ニ卒業證明書相添ヘ此段相願候也

年 月 日

水產講習所長機原新之助殿

原籍族籍 某男子弟等 何 某印

○登記公告方

明治四十三年中當區裁判所ニ於テ取扱フ商業其他法定登記公告ヲ掲場スル新聞紙ヲ以後韓國大田ニ於テ發行スル三種新報ニ選定ス

在韓國 大田區裁判所

明治四十三年三月

○貯金通帳亡失及盜難

左記貯金通帳亡失及盜難ニ付ムタルニ付キ若シ其所在ヲ發見シタル者ハ速ニ最寄郵便貯金取扱局所ニ屆出ツヘシ

明治四十三年三月

記番號		預ケ人氏名	
韓いき	三五五	洪	交付局所名
韓いに	五四二	江	州
韓はに	五九	錢	昇
韓とに	二二七五	馬	中野
韓はに	七五二	仁	西川
韓なに	四〇	川	州
特扇天	九	京	勝山
韓林	四四九	城	山本
韓を	一八五三	寺	勝山
韓いに	三三九	洞	嘉三郎
韓ほわ	一五	釜山鎭	芳
		徐	金
		永	鶴
		容	鎭
		朴	根
		斌	山
		渡邊	城
		開	水原
		武夫	倉重橋
		信助	前
		永	京城
		容	寺
		斌	洞

○免狀亡失

第四〇號 乙種三等狩獵免狀 東京府荏原郡世田ケ谷村大字池尻百五十番地平民 江川 竹次郎
右遺失ノ旨屆出テタリ
明治四十三年三月 警視廳

第五一號 乙種二等狩獵免狀
右遺失ノ旨屆出テタリ
明治四十三年三月 千葉縣

第二六號 乙種三等狩獵免狀 南巨摩郡硯島村二百六十番地平民 大野 政重
第三〇號 同 上 北都留郡廣里村農木六千八百五十七番地平民農 小林 丈太郎
右孰モ遺失ノ旨屆出テタリ
明治四十三年三月 山梨縣

第五四〇號 乙種三等狩獵免狀 武儀郡中有知村大字松森 並 米八
右遺失ノ旨屆出テタリ
明治四十三年三月 岐阜縣

稿第二八六號 乙種三等狩獵免狀 豐橋郡湯田村大字井出字下川原三十四番地 松本 富之助
右遺失ノ旨屆出テタリ
明治四十三年三月 福島縣

第二〇六號 乙種三等狩獵免狀 伸多度郡十郷村大字十郷百八十五番戶 大西 民五郎
右紛失ノ旨屆出テタリ
明治四十三年三月 香川縣

第一一四六號 乙種三等狩獵免狀 下益城郡隈庄町四百八十番地 曾我 覺蔵
右遺失ノ旨屆出テタリ
明治四十三年三月 熊本縣

○土地編入

町村制第四條第二項ニ依リ坂井郡國岳村清瀧、後山、鐵谷、鬥、櫨世、櫨世市野々、同郡坪江村中川、北前谷、北野、微塵尾、次郎丸、北正田、南正田、堀水、梁、梁坪江、瓜生、東田中、里竹田入會左記所屬未定地ヲ今般同郡國岳村清瀧地籍ニ編入ノ處分ヲ爲セリ

明治四十三年三月 福井縣

特 8019 号 文

一字北一ノ谷一番　保安林　三十一町三段五畝二十九歩
二字北二ノ谷一番　同　畝二十三町八段一畝二十八町二段四歩
三字北三ノ谷一番甲　同　畝二十八町二段四歩
同一番乙　同　畝二十八町六段一歩
四字口ノ谷一番甲ノ一　同　四十七町五段歩
同一番乙　同　畝六歩
五字水坪一番　同　十二町七段二歩
六字施谷一番　同　二十九町一畝七歩
七字金藤坊一番甲　同　九町二段七畝二歩
同一番乙　同　十二歩二町七段八畝二十九歩
八字奥ノ谷一番　同　畝十九町二段六歩
九字月神谷一番　同　十字南一ノ谷一番　同　畝三十七町七段九歩
十一字南二ノ谷一番　同　畝二十四町三段六歩
十二字南三ノ谷一番　同　畝三十五町二段二歩
十三字北獅坂一番　同　三十一町一畝七歩
十四字剣岳一番甲　同　十三町三段歩
同一番乙　同　十三町二段九畝歩
十五字長房谷一番　同　十五町一段十八歩
十六字長尾一番　同　四十二町三段七畝二十八歩
十七字北又一番　同　三十町九段二畝歩
十八字間元一番　同　十八町一段六歩
十九字松木谷一番　同　畝二十九町二段三歩

○交官普通試驗場所變更

本月二十二日ヨリ執行スヘキ宮崎縣交官普通試驗ノ筆記試驗場所ヲ宮崎縣立宮崎中學校內（宮崎縣宮崎郡大宮村所在ニ變更ス

宮崎縣交官普通試驗委員長
宮崎縣事務官　武井友貞

明治四十三年三月

○購買入札

一手帳及厚紙表紙帳簿類　二十五點
一鐵ボールナット及墨品　十八點
一燈芯類　六點
一「ゲージグラス」　四點
以上上野納
右來ル四月四日入札執行
以上入札保證金賣買總代金百分ノ五以上（圓未滿切上ク）
一橋上用枕木　七百樅
上野國田川平ノ目光横川間納
右本月二十六日入札執行
右購買スル入札望ノ者ハ當局計理課ニ就キ入札人心得書及契約書案等熟覽ノ上來ル四月四日午前十時限入札書ヲ同課ニ差出スヘシ即時開札ス
此契約ハ東部鐵道管理局長谷川謹介擔任ス

明治四十三年三月十九日

東部鐵道管理局

一過燐酸石灰　一万六百六十貫　軍馬補充部川上支部納
一宮舍及附屬建物　建坪約六百三十九坪　同八十六坪
一倉庫及附屬建物　延長十八尺
一板塀　延長十八尺
以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上（圓未滿切上ク）
右請負望ノ者ハ當所ニ就キ入札人心得書契約書案ニ示ス書圖面及現場等熟覽ノ上來ル四月四日午前十時限入札書ヲ當所ニ差出スヘシ即時開札ス
此契約ハ鐵道院北海道建設事務所長粉垣兵太郎擔任ス

明治四十三年三月十九日　鐵道院北海道建設事務所

○入札拂下

一古制服類　十四點　福島渡
入札保證金各自見積代價百分ノ五以上（圓未滿切上ク）
右買却ス買受望ノ者ハ當局福島出納事務所ニ就キ入札人心得書及契約書案等熟覽ノ上來ル四月四日午前十時限入札書ヲ同所ニ差出スヘシ即時開札ス
此契約ハ東京鐵道管理局長谷川謹介擔任ス

明治四十三年三月十九日　東京鐵道管理局

一自然一號至第八號舊式徒歩外套千八百三十一箇外七點　若松歩兵第六十五聯隊廢品被服
入札保證金各自見積代價百分ノ五以上
右賣却ス買受望ノ者ハ今十九日ヨリ來ル四月一日マテ（執務時間中）ニ前記部隊ニ就キ入札心得書契約書案及現品熟覽ノ上同二日午前十時限前記當該部隊ニ入札スヘシ（即時開札ス　但シ郵便入札ヲ許ス
此契約ハ第二師團經理部長田中三郎ノ委任ニ依リ歩兵第六十五聯隊長飯島藝擔任ス

明治四十三年三月十九日　東部鐵道管理局

○入札拂下公告中訂正

本月十一日本欄內掲載當署入札拂下公告中二八四頁下欄一段十三行ノ次ニ「一雜木　同五棚」ノ一行ヲ加ヘ二段十三行同欄〇七八ノ「同〇欄〇七八」ニ二八五頁二段十七行、五八八〇三」ヲ、五八八〇三」ニ改モ訂正ス

明治四十三年三月十九日　第二師團經理部

正誤

昨十八日本欄軌道財團ノ項二十三行五、五八九ハ五、六八九同二十六行四一、八〇八ハ四一、七〇八ノ誤モ誤植

○商業登記

合名會社登記第十冊第四八五號
一商號　合名會社岡島鑛工所
一本店　東京市本所區北新町五十八番地
一目的　船舶用具、諸機械、車輛、鐵管建築材料其他附屬品ノ鑄造

○購買入札公告中訂正

本月九日本欄內掲載當部購買入札公告中電線三廻ノ入札ハ都合二依リ取消ス

明治四十三年三月十九日　横須賀海軍工廠會計部

本月九日本欄內掲載當局購買入札公告中大麥外五點ヲ左ノ通訂正シ開札期日「本月二十四日」ヲ來ル四月一日ニ改ム

明治四十三年三月十九日

第一號　大麥外二點　第二號　粟外一點　第三號　切藁

東京郵便局

九千六十九貫匁

○工事請負入札

北海道線淵田間鋼桁間ノ內側子府外二停車場踏建物工事
一宮舍及附屬建物　建坪約六百三十九坪　一井戸
一倉庫及附屬建物　同八十六坪　一井戸屋形
一板塀　延長十八尺
以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上（圓未滿切上ク）
右請負望ノ者ハ當所ニ就キ入札人心得書契約書案示ス書圖面及現場等熟覽ノ上來ル四月四日午前十時限入札書ヲ當所ニ差出スヘシ即時開札ス
此契約ハ鐵道院北海道建設事務所長粉垣兵太郎擔任ス

明治四十三年三月十九日　鐵道院北海道建設事務所

○入札拂下

一古制服類　十四點　福島渡
入札保證金各自見積代價百分ノ五以上（圓未滿切上ク）
右買却ス買受望ノ者ハ當局福島出納事務所ニ就キ入札人心得書及契約書案等熟覽ノ上來ル四月四日午前十時限入札書ヲ同所ニ差出スヘシ即時開札ス
此契約ハ東京鐵道管理局長谷川謹介擔任ス

明治四十三年三月十九日　東京鐵道管理局

一自然一號至第八號舊式徒歩外套千八百三十一箇外七點　若松歩兵第六十五聯隊廢品被服
入札保證金各自見積代價百分ノ五以上
右賣却ス買受望ノ者ハ今十九日ヨリ來ル四月一日マテ（執務時間中）ニ前記部隊ニ就キ入札心得書契約書案及現品熟覽ノ上同二日午前十時限前記當該部隊ニ入札スヘシ（即時開札ス　但シ郵便入札ヲ許ス
此契約ハ第二師團經理部長田中三郎ノ委任ニ依リ歩兵第六十五聯隊長飯島藝擔任ス

明治四十三年三月十九日　東部鐵道管理局

○入札拂下公告中訂正

本月十一日本欄內掲載當署入札拂下公告中二八四頁下欄一段十三行ノ次ニ「一雜木　同五棚」ノ一行ヲ加ヘ二段十三行同欄〇七八ノ「同〇欄〇七八」ニ二八五頁二段十七行、五八八〇三」ヲ、五八八〇三」ニ改モ訂正ス

明治四十三年三月十九日　第二師團經理部

廣島大林區署

○商業登記

合名會社登記第十冊第四八五號
一商號　合名會社岡島鑛工所
一本店　東京市本所區北新町五十八番地
一目的　船舶用具、諸機械、車輛、鐵管建築材料其他附屬品ノ鑄造

官報　第八〇一九號　明治四十三年三月十九日（第三種郵便物認可）

以上入札保證金各自見積金高百分ノ五以上（圓未滿切上ク）入札者ハ二年以來引續キ其業ニ從事スル旨郡市區町村長ノ證明アル者ニ限ル此證明書ハ來ル四月一日マテ當部ニ差出スヘシ
右購買スル入札望ノ者ハ今十九日ヨリ來ル四月一日マテ（執務時間內）ニ當部ニ出頭入札心得書契約書案及標本等熟覽ノ上同四日午前十時限入札書ヲ當部ニ差出スヘシ即時開札ス
此契約ハ第一師團經理部長正木勝次郎擔任ス

明治四十三年三月十九日　第一師團經理部

二万五千瓩
三万瓩
一箇
一廉

一「フランネル」　九千米
一赤セル地　千五百米
一「エポナイト外器（大）」　二百五十五箇
一白「ヘヤノット」　二廉

百六十七立坪
八十八立坪

一「ルル」地外三十九廉
入札保證金各自見積額百分ノ五以上（圓未滿切上ク）ノ入札者ハ二年以來其業ニ從事シ且ツ明治四十一年五月遞信省令第二十四號ノ資格ヲ備フルヲ要ス
右購買ス入札望ノ者ハ當局會計課ニ就キ入札人心得書及契約書案等熟覽ノ上來ル四月六日午前十時三十分マテニ入札保證金ヲ納入シ同十一時限入札書ヲ當局ニ差出スヘシ即時開札ス
此契約ハ廣島郵便局長森義一擔任ス

明治四十三年三月十九日　廣島郵便局

明治四十三年二月十五日
後藤彌四郎
明治四十三年二月十五日ヨリ同五十三年二月十五日マテ滿十年
神奈川縣横濱市元濱町二丁目十二番地
千葉縣君津郡周南村六千七百六十三番地
東京市本所區北新町六十一番地
東京市日本橋區伊勢町二十番地
明治四十三年二月十五日
東京市日本橋區伊勢町二十番地
明治四十三年二月十五日
松田喜右衛門
東京市芝區白金臺町一丁目二十六番地ニ社員大澤幸次郎ハ明治四十三年二月八日重任ス
東京市赤坂區青山高樹町十二番地
同市東京橋區新富町五丁目十四番地
同市赤坂區仲ノ町十二番地
株式會社農工貯蓄銀行登記事項中左ノ如ク變更ス
一明治四十三年二月十五日左ノ者監査役ニ就任ス
東京市深川區醬油町一丁目七番地
株式會社三越呉服店登記事項中左ノ如ク變更ス
一各株ニ付拂込タル株金額ヲ金五十圓ト變更ス
合名會社山田商店登記事項中左ノ如ク變更ス
一明治四十三年二月十六日本店ヲ左ノ所ニ移轉ス
東京市日本橋區横山町二丁目十二番地
右明治四十三年二月十七日登記
株式會社南總鹽業銀行登記事項中左ノ通變更ス
一監査役横尾宜弘ハ明治四十三年二月五日辭任セリ
右明治四十三年二月十五日登記
宇都宮區裁判所口粟野出張所
中川煙草製造合資會社解散ニ清算人選任登記
一解散ノ原由及年月日　會社ノ目的タル事業ノ不能ニ依リ明治三十八年四月一日解散ス
右清算人ノ氏名住所　栃木縣芳賀郡中川村大字小深五十番地　小林桂藏
右明治四十三年二月十七日登記
眞岡區裁判所茂木出張所
一合資會社望田商店ハ總社員ノ同意ニ因リ明治四十三年二月十三日解散ス
熊谷區裁判所本庄出張所
株式會社登記第二號
一監査役ノ氏名住所
長野縣小縣郡泉田村四百四十二番地
同縣同郡玉賀村百四十七番地
同縣同郡同村百八十七番地
同縣同郡同村二百十三番地
同縣同郡同村上千九百九十一番イ號
株式會社登記第一號
一取締役ノ氏名住所
長野縣小縣郡浦里村四百七十三番地
同縣同郡同村甲四百七十七番地
同縣同郡同村越五百十二番地
石井木次郎
山崎芳右衛門
小山藤三郎
白鳥幸太郎
猪水幸一郎
株式會社登記第一號
合名會社岡島鑛工所
東京市本所區北新町五十八番地
船舶用具、諸機械、車輛、鐵管建築材料其他附屬品ノ鑄造
井澤北太
井澤六郎右衛門
今井吉太郎

特 8019 号

一監査役ノ氏名住所

合資會社登記第二號
合資會社淵澤商店登記事項中明治四十三年一月十七日社員瀧澤安太郎ハ他ノ社員一同ノ同意ヲ得テ出資金一千圓ヲ寶貨鈴太郎宮田政次郎宮田彌兵衛ニ讓渡シ同日讓リ受ケ有限責任ヲ以テ入社スル社シタル社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任左ノ如シ
金三百圓　長野縣小縣郡城下村大字蓮町防彩千二十八番地　有限責任
金二百圓　同縣同郡同村同大字上河原地　有限責任

合資會社淵澤商店登記第二號
合資會社淵澤商店登記事項中左ノ通變更ス
明治四十三年一月七日總社員ノ同意ヲ得テ社員瀧澤安太郎ハ出資額金八百圓ヲ減少シタルニ依リ出資額ヲ金二百圓ト變更ス
右明治四十三年一月二十九日登記

上田區裁判所浦野出張所

合資會社登記第六號
一信濃肥料合資會社登記事項中　本店ヲ明治四十三年二月三日總社員ノ同意ニヨリ長野縣北佐久郡岩村田町四百九十二番地ヘ移轉ス
右明治四十三年二月十四日登記

岩村田區裁判所

合資會社西瑞商店　紀伊郡伏見町字城通六百十一番地笹井熊吉清算人ニ選任
明治四十三年二月十六日登記

伏見區裁判所

愛知縣碧海郡矢作町大字橋目字御小屋西八番地博愛合資會社登記事項中社員ノ氏名住所錯誤ニ付左ノ通更正シタリ
一所氏名　有限責任社員　鄭樂泰一郎
一住所　有限責任社員　大久保庄五郎ノ

碧海郡上鄉村大字桝塚百一番戶　鄭樂泰一郎
類田郡岡崎町大字篠島三十四番戶
愛知縣碧海郡矢作町大字橋目字御小屋西八番地　博愛合資會社

右ハ明治四十三年二月十一日總社員ノ同意ニ依リ會社ヲ解散セリ
清算人ノ選任

石川　新六
永田　勇藏

以上明治四十三年二月十五日登記
右公告ス

明治四十三年二月十六日

岡崎區裁判所

株式會社登記第六號
一有限責任社員名簿變更
株式會社蘇東銀行大井支店登記事項中明治四十三年一月三十一日新株一株ニ付金十二圓五十錢ヲ拂込タルニ依リ拂込金額ヲ金五十圓ト變更ス
右明治四十三年二月十四日登記

西尾區裁判所

株式會社蘇東銀行大井支店登記事項中明治四十三年一月三十一日株主總會ニ於テ改選ノ結果左ノ者當選就任セリ

惠那郡蛭川村百二十七番戶　綱嶺秋三郎
同郡同村圓百三十六番戶　板津直太郎
同郡同村三百二十四番戶　林　安彌
同郡同村百三十番戶ノ一　小川安太郎
同郡同村四百十番戶　田口久夫

御嵩區裁判所大井出張所

右明治四十三年二月十四日登記

○産業組合登記

有限責任南細野信用組合監事並理事變更登記　監事並理事滿期ニ付明治四十三年一月三十一日總會ニ於テ改選ノ結果左ノ通嶋日就任セリ　監事ノ氏名住所宮崎縣西諸縣郡小林村大字細野七十一番戶　蔡長興同所二十二番戶　同縣宗兵衛同所二十一番戶志戶本宗次郎　理事ノ氏名住所宮崎縣西諸縣郡小林村大字細野四千九百三十六番地黒木枝盛同所百九十八番戶外園裂婆一同所五千四百八十一番ロ號地松山榮吉同所四十八番戶東園清右衛門同所四千六百二十五番地志戶本次兵同所二十六番戶滿雄辨助同所二百四十六番戶鶴元勘市
右明治四十三年二月十一日登記
有限責任向江馬場信用組合監事並理事變更登記　監事並理事滿期ニ付明治四十三年一月三十一日總會ニ於テ改選ノ結果左ノ通嶋日就任セリ　監事ノ氏名住所宮崎縣西諸縣郡小林村大字眞方百二十四番戶井上政用同所百二十七番戶前田利雄　理事ノ氏名住所宮崎縣西諸縣郡小林村大字眞方百三十六番戶栗屋住本同所百十一番戶水間彦衛同所千五百二十三番地横山通吉同所百二十一番戶押川兼利
右明治四十三年二月十二日登記
有限責任五家村信用組合監事並理事變更登記　監事滿期理事中山吉次退任ニ付明治四十三年一月三十一日總會ニ於テ改選ノ結果左ノ通間日就任セリ　監事ノ氏名住所宮崎縣西諸縣郡小林村大字眞方百二十四番戶　理事ノ氏名住所宮崎縣西諸縣郡小林村大字細野四百九十七番戶中山友次
右明治四十三年二月十二日登記

西三軌道株式會社
愛知縣幡豆郡西尾町大字錦城四十七番地
愛知縣幡豆郡西尾町同縣額田郡岡崎村間ニ軌道ヲ敷設シ運輸ノ業ヲ營ムヲ以テ目的トス
明治四十三年二月十一日
金十五万圓
金五十圓
金十二圓五十錢
所轄裁判所ノ公告スル新聞紙ニ掲載ス

幡豆郡西尾町大字氣田四十三番戶
同郡同町大字本町十四番戶
同郡同町大字四十九番戶
額田郡岡崎町大字康生西百六十九番戶
幡豆郡西尾町大字本町九番戶
幡豆郡六ツ美村大字下中島二百四十二番戶
幡豆郡西尾町大字寄町十四番戶
明治七十二年十二月十七日迄

西尾區裁判所

一商號
一本店
一目的
一設立ノ年月日
一資本ノ總額
一各株ニ付キ拂込ミタル株金額
公告ヲ爲ス方法
一取締役ノ氏名住所

一監査役ノ氏名住所

一存立ノ時期
明治四十三年二月十六日登記
右公告ス

明治四十三年二月十六日

株式會社變更
株式會社蘇東銀行大井支店登記事項中明治四十三年一月三十一日新株一株ニ付金十二圓五十錢ヲ拂込タルニ依リ拂込金額ヲ金五十圓ト變更ス
右明治四十三年二月十四日登記

御嵩區裁判所大井出張所

株式會社變更
經川鑛業株式會社監査役任期滿了ニ付明治四十三年一月三十一日株主總會ニ於テ改選ノ結果左ノ者當選就任セリ

新賀　仁助
島山　武平
尾崎　久治
清水半次郎
島山傳兵衛
鵜田勝藏
谷　熊次郎

有限責任小濱信用購買組合登記事項中左ノ通變更ス
監事金員任期滿了ニ付キ明治四十三年一月二十六日總會ニ於テ改選ノ處左記ノ者當選ス
一監事ノ氏名住所

安遠郡小濱町大字小濱字島居町六十一番地　根本清左衛門
同郡同村同字同町三十二番地　大内豐吉
同郡同町大字同字藤町七十一番地　渡邊傳兵衛

福島區裁判所小濱出張所

右明治四十三年二月二日登記

無限責任新殿信用購買販賣組合登記事項中左ノ通變更ス
一監事金員任期滿了ニ付キ明治四十三年一月二十日總會ニ於テ改選ノ處左記ノ者當選ス
一監事ノ氏名住所

安遠郡新殿村大字西新殿字西九十一番地　安齊　勘助
同郡同村大字東新殿字野田十二番地　佐久間庄之介
同郡同村大字杉澤字岩桑八十八番地　伊藤榮太郎
同郡同村大字西新殿字北百六十番地　本田彌助
同郡同村大字杉澤字宮ノ前三十六番地　安齊　虎雄

福島區裁判所小濱出張所

右明治四十三年二月二日登記

一明治四十三年一月三十一日總會ニ於テ理事及監事改選ノ處左記ノ者當選就任ス
理事

安遠郡旭村大字田澤字蕨平十五番地　本田甲子雄
同郡同村大字田澤字叶ケ作十五番地　菅野　伸治
同郡同村大字同字落合十四番地　渡邊　作助
同郡同村大字同字上山山二十四番地　遠藤　丑治
安遠郡旭村大字田澤字二本木二十一番地　門馬庄治郎
同郡同村大字同字川口五番地　石井　貫松

福島區裁判所小濱出張所

監事

右明治四十三年二月十二日登記

有限責任山形縣蚕桑種苗販賣組合ハ明治四十三年一月三十日總會ノ決議ニ因リ解散シ左記ノ者清算人ニ就任ス

山形市諏訪町四百四十番地　小野　英三
東村山郡長崎町大字長崎百十五番地　大友　直人
同郡千歳村大字長町五百二十三番地　佐藤與三郎

山形區裁判所

右明治四十三年二月十二日登記

有限責任稍庭信用組合登記事項中明治四十三年一月三十日總會ニ於テ理事及監事滿期改選ニ因リ左ノ通變更ス
一理事ノ氏名住所

秋田縣雄勝郡稍庭町百二十八番地　佐藤金十郎
同縣同郡同町字早坂七十六番地　小野寺林兵衛
同縣同郡同町二十九番地　新井久七
同縣同郡同町二百十五番地　佐藤平
同縣同郡同町字稍庭百九十九番地　藤谷　吉治
秋田縣雄勝郡稍庭町百三十五番地　栗原　文藏
同縣同郡同町百九番地　阿部　松藏
同縣同郡同町乙二百十二番地　根元　文英

湯澤區裁判所駒形出張所

右明治四十三年二月十三日登記

○準禁治産宣告

東京市麹町區麹町八丁目二番地平民戸主旅人宿營業　小林儁太郎
明治十六年十月二十八日生
右ニ對シ同所本人父小林西蹟ノ申立ニ因リ當區裁判所ハ明治四十三年三月七日準禁治産ノ宣告ヲ爲シタリ

東京區裁判所
判事　柴田言一

明治四十三年三月七日

明治四十三年(チ)第一號

群馬縣勢多郡富士見村大字時澤村八十七番地平民農　茂木　留
右ニ對シ群馬縣勢多郡富士見村大字時澤村八十七番地茂木留ノ申立ニヨリ當區裁判所ハ明治四十三年二月二十八日準禁治産ノ宣告ヲ爲シタリ

明治四十三年八月十八日生

明治四十三年三月七日

○準禁治産宣告取消

栃木縣河内郡明治村大字多功二千二十五番地平民農　石崎斧次郎　慶應元年十一月一日生
右ニ對シ明治四十二年八月二十五日當區裁判所カ宣告シタル準禁治産ハ要石崎ヲクノ申立ニ因リ明治四十三年三月三日ヲ取消シタリ

宇都宮區裁判所
判事　生駒八十彌

明治四十三年三月八日

石川縣能美郡板津村字大島カ百十六番地平民農　小倉　石松
準禁治産者ハ父小倉新右衛門ノ申立ニ依リ之ヲ取消シタリ

小松區裁判所
判事　高橋長榮

明治四十三年二月二十八日

○公示催告

長野縣諏訪郡佐久郡田町百二十五番地平民業子製造職工　井出傳治郎
不在者
明治四年十二月六日生
右ニ對シ利害關係人井出宗五郎ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ明治四十三年十月十九日生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其屆出ヲ爲サヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其屆出ヲ爲スヘシ

岩村田區裁判所
判事　有泉義行

明治四十三年三月八日

○除權判決

東京市本郷區西竹町三十四番地大光館方　鍵島　亮
申立人
一株式會社日本勸業銀行發行額面金五圓貯蓄債券一枚
但ル號二ノ組第六八八四番
明治四十二年十二月以降利札付
右貯蓄債券ニ付キ申立人ノ申立ニヨリ公示催告ヲ爲シタル處明治四十三年二月十五日午前九時ノ期日迄ニ權利ヲ屆出テ且ツ該債券ヲ提出スルモノナキヲ以テ申立人ノ申立ニ基ツキ前記貯蓄債券ノ無效ヲ宣言ス

明治四十三年三月一日

東京區裁判所
判事　安藤政信

○債券募集

日本勸業銀行ハ今般左記ノ通無記名利札附日本勸業債券ヲ募集スルニ付キ御希望ノ向ハ直接本行ニ御申込アルヘシ
一債券ノ總額　一万圓
一債券一通ノ金額　一千圓
一債券總數　一千通
一債券ノ利率　年五分五厘
一債券償還ノ金額方法及期限
明治四十五年三月二十三日ヨリ明治四十四年三月三十一日マテ據置キ其以降每年三回（三月、九月、抽籤ヲ以テ每回元金三万圓以上ヲ償還シ十五箇年以内ニ於テ全額ヲ償還スルモノトス但シ臨時ニ償還スルコトアルヘシ

本文
80119

一債券發行價格　額面金額
一商號　株式會社日本勸業銀行
一資本金　一千万圓
一拂込濟株金總額　六百二十五万圓
一現在債券未償還額　五千十八万四千百九十圓（明治四十三年三月十四日現在）
一現在財産　八千六百二十一万三千六十圓二十五錢九厘
一元金及利子支拂期　毎年四月十月ノ二回
一申込期日　本月十九日
一申込證據金　債券一通ニ付キ二十圓
一拂込期日　本月二十二日
一應募申込高カ發行ノ總額ニ超過スルトキハ申込順序ニ依リ募入ス
一拂込期日ニ拂込ナキトキハ債券ヲ交付セス其既ニ拂込ミタル證據金ハ還付セス
一擬似期間ノ利子ハ元金拂込ノ月ノ翌月分ヨリ之ヲ附ス

明治四十三年三月十九日

東京市麹町區内山下町一丁目一番地
株式會社日本勸業銀行

○東京郵便局外國郵便締切時限

明後二十一日横濱マテ汽車便送同地ヨリ「フィヂツパトリック」號ヲ以テ「ビクトリア」經由歐米ヘ差立ノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

	東京局	市内各局	小包	聯合爲替
通常	二十一日午前八時 同日午前七時半	二十日午後十時 同上	二十日午後八時 二十一日午前七時	同日午後六時 同日午後四時

（備考）小包ハ北米合衆國及ポートリコ宛トス

同日敦賀マテ汽車便送同地ヨリ鳳山丸ヲ以テ浦潮斯德經由西伯利、歐洲及南米（亞爾然丁、伯剌西爾、智利、巴拉圭、烏爾圭）ヘ差立ノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

	東京局	市内各局	價格表記	小包	聯合爲替
通常	二十一日午後七時半 同日午後七時	二十一日午後五時 同上	同上 同上	同上 同上	同日午後四時 同日正午十二時

（備考）露國以外諸國宛各種郵便物ハ本便差立ノ指定アルモノニ限ル

本月二十三日横濱マテ汽車便送同地ヨリ「クメリック」號ヲ以テ「ビクトリア」經由歐米ヘ差立ノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

	東京局	市内各局	小包	聯合爲替	聯合特別
通常	二十三日午前十一時 同日午前十時半	二十三日午前八時 同上	二十二日午後八時 二十三日午前十時 二十二日正午十二時	二十二日午後六時 同日午後四時 同日正午十二時	

（備考）小包ハ北米合衆國、ポートリコ及加奈陀宛トス

○同上締切豫告

本月中外國郵便締切豫定日左ノ如シ

一布哇經由歐米諸國宛　二十三、三十日頃締切ノ筈
一加奈陀經由同　二十三日頃締切ノ筈
一ポートランド經由同　二十八日頃締切ノ筈
一西伯利經由ノ歐洲諸國及南米（亞爾然丁、伯剌西爾、智利、巴拉圭、烏爾圭）宛ハ毎週月、水、金曜日ニ上海、香港並ニ印度地方ヘハ毎週數回ノ差立アルニ依リ臨時差出ス方速達ヲ得ヘシ

○日本郵船株式會社汽船出發表

歐洲行

宮崎丸（新船）　本月三十日正午十二時横濱出帆四月二日午前十一時神戸出帆門司、上海、香港、新嘉坡、彼南、コロンボ、蘇士、ポートサイド、馬耳塞、倫敦、アントワープ行

米國行

阿波丸　四月八日正午十二時神戸出帆同十三日午後二時横濱出帆ビクトリア、シアトル行

筑後丸　本月二十二日午前十時神戸出帆門司、長崎、上海行
筑前丸　同二十四日午前十時横濱出帆同二十六日午前十時神戸出帆門司、長崎、上海行
弘濟丸　同二十七日午前十時横濱出帆同二十九日午前十時神戸出帆門司、長崎、上海行
春日丸　同三十一日午前十時横濱出帆四月二日午前十時神戸出帆門司、長崎、上海行
因幡丸　四月四日午前十時横濱出帆同八日午前十時神戸出帆門司、長崎、上海行

韓國北清方面行

山東丸　明後二十一日午前十時横濱出帆門司、長崎、釜山、仁川、大連、大沽、牛莊行
營口丸　同二十四日午前十時門司、長崎、芝罘、大沽、牛莊行
西門丸　同三十日正午十二時横濱出帆四月二日午前十時神戸、門司、仁川、大連、大沽、牛莊行
濟路丸　同三十一日午前十時神戸出帆門司、大連、芝罘、大沽、牛莊行

臺灣行

錢倉丸　神戸發正午十二時（毎月十八日）門司發午後四時（四十九日）基隆著（七十二日）
讃岐丸　神戸發正午十二時（毎月二十一日 二十六日）門司發午後四時（十二日 二十七日）基隆著（十五日 三十日）

浦潮斯德行

立神丸　本月二十七日午前十時神戸出帆門司、長崎、釜山、元山、清津、浦潮斯德行

北海道連絡線

毎日（午後七時半）室蘭發　翌朝七時半　室蘭著
（午後五時半）青森發　翌朝五時半　青森著

○大阪廻船株式會社汽船出發表

韓濟行

城津丸　明二十日午前八時大阪出帆同日正午十二時神戸出帆門司（下關）、釜山、元山、城津、清津行
巡州丸　同日午前十時神戸出帆門司（下關）、仁川、鎮南浦、安東縣行
信濃丸　本月二十三日午前八時大阪出帆同日午後一時神戸出帆門司（下關）釜山、本浦、群山、仁川行
成興丸　同二十六日午前八時大阪出帆同日正午十二時神戸出帆門司（下關）釜山、元山、城津、清津行

清國行

天草丸　明二十日正午十二時大阪出帆翌二十一日午前十時神戸出帆門司、大連行
大信丸　本月二十四日正午十二時大阪出帆翌二十五日午前十時神戸出帆門司、天津行
嘉榮丸　同日正午十二時大阪出帆翌二十五日午前十時神戸出帆門司、大連行
開城丸　同二十七日午後四時神戸出帆翌二十八日午後四時宇品出帆門司、大連行
鐵嶺丸　同三十一日正午十二時大阪出帆翌一日午前十時神戸出帆門司、大連行
大智丸　四月二日正午十二時大阪出帆翌三日午前十時神戸出帆門司、天津行

（天津行ハ白河ヲ遡航シ居留地碼頭ニ横付ス）

米國行

「フィヂツパトリック」號　明後二十一日午前横濱出帆タコマ行
ふじあまとる丸　本月二十五日午前横濱出帆神戸、門司、マニラ、香港行
たこまま丸　四月五日午前横濱出帆タコマ行

臺灣行

福岡丸　本月二十五日正午十二時横濱出帆同二十八日午前八時神戸出帆門司、基隆、安平、打狗行
桑中丸　四月一日午後三時横濱出帆同四日正午十二時神戸出帆宇品、門司、長崎、基隆、澎湖島、安平、打狗行

さくら丸　毎月一日、十五日午後二時神戸出帆門司、基隆行
寧南丸　毎月八日、二十四日正午十二時神戸出帆門司、基隆行

浦潮斯德行

黑山丸　本月二十二日午後五時敦賀出帆同二十四日浦潮斯德著
金曜丸　毎月二日午後三時浦潮斯德歐洲行急行列車ニ連絡ス

○號外　昨十八日發刊第二十六回貴族院議事速記錄第十五號二十頁　同衆議院議事速記錄第二十三號十六頁
○附錄　今十九日發刊廣告八頁

特別 80019 号

付録

官報第八千十九號附錄

明治四十三年三月十九日

○廣告

○商業登記

三浦共立運輸株式會社登記事項中左ノ如ク變更ス
一監査役左者ハ明治四十三年一月三十日重任ス
小牧正平
石渡寅吉
湊萬次郎
神奈川縣三浦郡三崎町仲崎三十二番地
同縣同郡同町六合三千九百二十八番地
同縣同郡同町宮城五番地

和協信託合名會社登記事項中左ノ如ク變更ス
一清算結了ノ年月日
明治四十三年二月十五日

合名會社東京共盛社登記事項中左ノ如ク變更ス
一本店
東京府豐多摩郡淀橋町大字角筈九十二番地

明治四十三年二月十六日本店ヲ左ノ所ニ移轉ス

株式會社神田商業銀行登記事項中左ノ如ク變更ス
一取締役福岡重右衛門、細谷和助、平野慶太郎ハ明治四十三年二月十五日辭任シ左者ハ同日取締役ニ就任ス
福岡重右衛門
吉澤陸太郎
川井新兵衛
東京市神田區宮本町六番地
同市同區東紺屋町二十六番地
同市同區佐久間町四丁目二十四番地

株式會社二十七銀行登記事項中左ノ如ク變更ス
一監査役渡邊六藏ハ明治四十三年二月十五日其住所ヲ東京市下谷區上野花園町五番地ニ移轉セリ
二葉鎖業株式會社登記事項中左ノ如ク變更ス
一左者ハ明治四十三年二月十三日監査役ニ就任ス
東京市京橋區本材木町三丁目二番地　宮古庸之輔

柳屋登記事項中左ノ如ク變更ス
一明治四十三年七月一日營業ノ種類ヲ左ノ如ク變更ス
營業ノ種類　繊節乾海苔商

株式會社東京土地建物商店登記事項中左ノ如ク變更ス
一取締役稲山傳太郎、高田真三郎ハ明治四十三年二月十二日辭任シ左者ハ同日取締役ニ就任ス
東京市京橋區山下町六番地　稲山久仙
同市赤坂區赤坂一ッ木町二十一番地　別所音吉

右明治四十三年一月十六日登記

東京區裁判所

商號　トウエーツ、リミテッド株式會社
一本店　横濱市中村町四百十三番地
一目的　木細工指物家具其他類似品ノ製造及販賣
一設立年月日　明治四十三年一月四日
一資本總額　金十万圓
一各株ニ付拂込タル株金額　金五十圓
一公告ヲ爲ス方法　總株二千株ノ内四百八十三株ハ金錢以外ノ財産ヲ以テ出資差入濟殘一千五百十七株ハ金十二圓五十錢
横濱ニ於テ發行スル一個ノ歐文日刊新聞紙上ニ英語ヲ以テ及一個ノ日本新聞紙上ニ於テ邦語ヲ以テス
一取締役　モーリス、ラッセル　横濱市山下町八十二番地英國臣民
チヤールス、トウエーツ　同所六十一番地同國臣民
チエヲット、デ、ベリグニー　同所六十番地同國臣民
ギルバート、オクテービアス、ロース　同所七十九番地同國臣民

同所二百十四番地獨逸國臣民　フデリック、レッツ
同所二十八番地米國市民　デイー、エイッチ、ブレーク
横濱市山下町五十一番地英國臣民　エー、エル、ジエー、ヂユーウエット
無期

右明治四十三年二月十四日登記

日出合名會社變更事項
一本店　横濱市松影町一丁目三十六番地

右明治四十三年二月十五日登記

横濱區裁判所

湘南馬車鉄道株式會社變更事項
取締役及監査役改選
取締役
中郡秦野町曾屋二千七百七番地
同所二千七百三十四番地
同所二千四百二十三番地
同郡吾妻村二宮七百十番地
足柄下郡下中村明澤千二百六十八番地
中郡秦野町曾屋二千二百八十四番地
同郡秦野町曾屋二千七百四番地
足柄下郡前羽村羽根尾三十一番地
奥村藤七
栗原林太郎
川口定一
松木友三郎
秋澤藤吉
西山京次郎
村上長藏
峰尾幸之助

右明治四十三年二月十四日登記

小田原區裁判所曾屋出張所

監査役

株式會社登記第三號
株式泉田會社登記事項中取締役補闕選擧及監査役滿期改選ニ依リ左ノ通變更ス
一取締役ノ氏名住所
長野縣泉田村九十九番地
一監査役ノ氏名住所
長野縣小縣郡泉田村百四十七番地　西川爲太郎
同縣同郡同村二百九番地　田中道太郎
同縣同郡同村四百六十番地　小林桂十郎
同縣同郡同村大字小泉三千三百十九番地　上野藤作
上田區裁判所浦野出張所　石井熊次郎

右明治四十三年二月十日登記

新潟區裁判所

新潟ラムネ株式會社登記事項中監査役横塚郁三郎ハ其住所ヲ左ノ地ニ移轉變更ス
新潟市東堀前通九番町千三百八十四番地ノニ

明治四十三年二月十五日登記

長岡區裁判所

株式會社長岡米穀株式取引所登記事項中理事任期滿了ニ因リ佐藤惣吉駒形宇太七渡邊多四郎ハ重任變更ス

同會社登記事項中監事任期滿了ニ因リ川上生三郎川上佐太郎ハ重任變更ス

右明治四十三年二月十六日登記

六日町區裁判所

南北魚沼煙草元賣捌合名會社登記事項中設立ノ年月日ヲ明治四十一年九月三十日ト更正ス

右明治四十三年二月十四日登記

京都區裁判所

特許自働運輸株式會社登記事項中變更　京都府乙訓郡向日町字上植野百二番戸永井龜次郎取締役ニ就任

合資會社累辻商店登記事項中變更　大阪支店ヲ大阪市北區常安町六十三番屋敷ニ變更

右明治四十三年二月十四日登記

福知山區裁判所

福知山煙草合名會社登記事項中變更　綾部支店ヲ京都府何鹿郡綾部町字綾部二十二番地ニ移轉ス

右明治四十三年二月十六日登記

付録
第80119号

株式会社神戸貯蓄銀行監査役住所移轉及重任登記　監査役長馬長藏ハ其住所ヲ大阪府西成郡豊州村ノ内大字海老江五丁目ニ移シ同日重任セリ　神戸市加納町四丁目十六番地ヘ移轉ス　監査役長馬保藏和田三郎各再選重任セリ

右明治四十三年二月十五日登記　神戸區裁判所

株式会社神戸貯蓄銀行西宮支店役員變更及住所移轉登記　監査役住期滿了ニ付改選ノ結果長馬保藏和田三郎各再選重任ス　監査役長馬保藏ハ其住所ヲ神戸市加納町四丁目十六番地ノ一ニ、和田三郎神戸市加納町四丁目十六番地ニ各住所移轉セリ

右明治四十三年二月十四日登記　神戸區裁判所西宮出張所

龍野電気軌道株式会社役員變更登記　取締役ニ愛知縣名古屋市東區石神堂町二十五番地服部新吉監査役ニ兵庫縣飾磨郡魚谷村ノ内山ノ内村五百三十七番地ノ一岩國今太郎氏ヲ當選重任ス　伊丹區裁判所

右明治四十三年二月十五日登記

明石鉄道株式会社役員變更及監査役任期滿了ニ付改選ノ結果取締役ニ羽子岡伊藤稲田藤市金井源之助藤原德助監査役ニ稲田市松光田啓三馬田藤藏再選重任

右明治四十三年二月十四日登記　明石區裁判所

播磨鉱業株式会社清算人變更登記　清算人飯田亀記辭任ス

右明治四十三年二月十五日登記　龍野區裁判所赤穂出張所

株式会社豊橋米穀取引所登記事項中左ノ通變更ス

一監査役浦野七亀井新七伊東治郎

明治四十三年二月十五日登記　豊橋區裁判所

丸二形原海産合資会社登記事項中左ノ通變更ス

一有限責任社員髙谷善之助ハ明治四十三年二月二日死亡ニ因リ該出資額ヲ其家督相續人ニ於テ左ノ通承継シタリ

一金三十圓　有限責任　髙谷　藤助

明治四十三年二月十四日登記　豊飯郡形原村大字形原字東戸甫弁四十五番地第三　豊橋區裁判所浦郡出張所

商號三日市太兵次郎三日市太兵三日市松心ヲ明治四十一年六月二十六日讓渡ニ基ク判決正本ニ因リ左ノ者取得シタリ

右明治四十三年二月十六日登記　飯南郡松阪町大字松阪本町二千百九十四番地　山田區裁判所

商業登記變更

株式会社登松銀行登記事項中明治四十三年二月十日町名改稱ニヨリ木曽川支店所在地ヲ左ノ如ク變更ス

愛知縣葉栗郡木曽川町大字黒田字西新田中ノ切　木曽川支店

一番地ノ一、一番地ノ一

如ク變更ス

愛知縣葉栗郡木曽川町黒田百四十五番戸　川井半兵衛

同縣同郡同町玉ノ井二百七十六番戸　宮川嘉右衛門

右明治四十三年二月十六日登記　岐阜區裁判所笠松出張所

合名会社ノ設立

一商號廣島木材合名会社　本店廣島市銀冶屋町三十七番地ノ二　目的板材木ノ販賣ニアリ　代表社員ノ氏名居住所及價格一金七千圓廣島市銀冶屋町百六十九番次一番郎矢野清九郎、一金五千圓同市廣瀬村二百五十五番地ノ二吉村孝一郎、一金四千圓同市鷹匠町九十八番次二番郎窪月識三、一金四千圓同市猿樂町八十四番地宮内直吉、一金三千圓同市天神町六十番地井上恒吉存立ノ時期滿了箇月

右明治四十三年二月十五日登記　廣島區裁判所

一株式会社ノ設立　商號東橋市場株式会社　本店廣島市上柳町六十八番地ノ二　目的野菜魚鳥其他諸品ノ賣買鑑賞委托賣買替事業ノ商行爲並ニ地家屋ノ賃貸借ヲナス以テ目的トス　設立本ノ總額金一万二千圓　一株ノ金額金二十圓　會社ノ公告ヲナス方法地方發行ノ新聞紙ヲ以テス

明治四十二年三月七日存立ノ時期設立登記ノ日ヨリ滿三十箇年　各株ニ付拂込タル株金額金二十圓　取締役氏名住所廣島市上柳町六十七番地ノ二石橋嘉吉同市中島新町百六十九番戸太田幸吉同市上柳町三十二番地熊谷直一　監査役氏名住所廣島市字品町一番地安達万藏同市平田屋町二番戸永井幸兵衛

右明治四十三年二月十四日登記　廣島區裁判所

一明治四十三年一月二十七日當報商業登記公告中株式會社廣島貯蓄銀行監査役久保栄次郎トアルハ久保田栄次郎ノ公告誤謬

一同年同月三十一日同公告中株式會社廣島縣農工銀行監査役田原香藏ノ公告誤謬　廣島區裁判所

合名会社設立ノ登記

一商號今合名会社　一本店島根縣大原郡太次町大字太次町七十六番地　一目的物品販賣業及精米業

一設立ノ年月日明治四十三年二月十四日　一代表社員ノ氏名居所出資ノ種類價格

類及價格金百圓島根縣大原郡太次町大字太次町二百四十六番地髙橋喜三郎金百圓同縣飯石郡吉田村大字吉田二千五百五十五番

高橋辰藏金二十圓同所二百四十六番地髙橋喜三郎金百圓同縣飯石郡吉田村大字吉田二千五百五十五番

地藤川利一郎　一存立ノ時期無期限

右明治四十三年二月十四日登記　木次區裁判所

隱岐汽船株式会社登記事項ノ變更及更正

一營業所ヲ島根縣周吉郡西郷町大字中町ト變更

一明治四十三年一月三十一日營業所ヲ島根縣周吉郡西郷町大字中町字目貫ノ四九番ノ内第一第五合併地ニ移轉

一取締役魚山幸市ノ住所ヲ島根縣海士郡海士郡海士郡大字福井千三百四十三番地ト同柏木節雄ノ住所ヲ島取縣西伯郡境町千百六十九番地ト更正

右明治四十三年二月九日登記　西郷區裁判所

取締役浦默辭任ニ付明治四十三年二月十一日臨時株主總會ニ於テ補缺選擧ニ依リ左記ノ者當選就任ス

取締役　吉備郡足守町大字上足守千二百三番地　加藤三子吉

右明治四十三年二月十六日登記　岡山區裁判所足守出張所

富ノ浦炭鑛合資会社登記事項中變更　明治四十三年二月九日總社員ノ決議ニ依リ社員平岡萬次郎ハ出資金ノ内五千圓ヲ社員尾崎作次郎ヘ譲渡ス尾崎作次郎ハ之ヲ譲受ケ出資金三万圓ト變更ス

右明治四十三年二月十五日登記　唐津區裁判所相知出張所

一商號　統榮水力電氣株式会社

一本店　福岡縣福岡市天神町ヌノ三十七番地

一目的　福岡縣筑紫郡南畑村ニ發電所ヲ設キ福岡市金部及其接續町村並ニ統榮郡二日市町太宰府町等現ニ特許ヲ受ケタル營業區域ヘ電力電燈ヲ供給シ一般ノ需用ニ應スルト電力電燈用器具器械ヲ販賣スルニ在リ

一設立ノ年月日　明治四十三年一月三十一日

一資本ノ總額　金五十万圓

一各株ニ付キ拂込ミタル株金額　金十二圓五十錢

一公告ヲ爲ス方法　所轄裁判所登記事項ヲ公告スル新聞紙ヲ以テ之ヲ爲ス

一取締役ノ氏名住所　東京府東京市麻布區廣尾町六番地　櫻井　高翁

福岡縣筑紫郡篠栗村五千七十七番地　藤　金作

同縣福岡市藏本町五千番地ノ一　太田　清藏

同縣早良郡田隈村野芥七百七番地　戸川　直

同縣福岡市中町四番地　野村久一郎

株式会社二十三銀行中津支店登記事項中門司支店ヲ明治四十三年二月十三日左ノ通移轉ニ付變更ス

福岡縣門司市西本町二十五番地

右明治四十三年二月十五日登記　中津區裁判所

株式会社大分貯蓄銀行高田出張所登記事項中明治四十三年二月十三日福岡縣門司市西本町二十五番地ニ株式會社大分貯蓄銀行門司支店ヲ設置ス

右明治四十三年二月十四日登記　玉津區裁判所

江南株式会社取締役及監査役變更登記　取締役及監査役任期滿了ニ付キ改選ノ結果左記ノ者當選シ明治四十三年二月六日重任ス　取締役宮崎那恭江村大字田吉百八十三番戸杉田與助同郡同村大字城ケ崎町六十四番戸太田久三郎同郡同村大字田吉百八十二番戸河野忠次郎同郡同村大字恒久三千四百九十九番地立山嘉一　監事同郡同村大字十九番戸長友鑑　同郡同村大字吉九十二番地ロ號岡本榮三郎同郡同村同村大字百八十九番戸中村勝次郎同郡同村同大字十九番戸長友鑑

右明治四十三年二月十四日登記　宮崎區裁判所

沖縄肥料株式会社取締役普久里宗榮ハ明治四十二年十月二十五日死亡ス

同会社取締役補缺選擧ニ因リ明治四十三年一月二十六日臨時株主總會ニ於テ首里區字大中四百六十四番地高嶺朝申當選セリ

同会社監査役任期滿了ニ付明治四十三年一月二十六日臨時株主總會ニ於テ那覇區字西八十二番地中馬長次郎同區同字九十六番地古賀辰四郎當選セリ

右明治四十三年二月八日登記　那覇區裁判所

合資会社宗田商店登記事項中左ノ如ク變更ス

一明治四十三年二月五日總社員ノ同意ニ因リ有限責任社員中宗田利八宗田利助宗田長次郎ノ三名ハ退社ス

右明治四十三年二月十五日登記　白河區裁判所棚倉出張所

合資会社宗田商店登記事項中左ノ通變更ス

一各株ニ付拂込ミタル株金額ヲ四十圓ト變更ス

右明治四十三年二月十四日登記　長井區裁判所荒砥出張所

合資会社設立

一商號　村本純粹種麹製造合資會社　一本店　秋田市中龜ノ丁上町二十三番地

一會社設立ノ年月日　明治四十三年二月十日　一代表社員ノ氏名　村本乙案　一存立ノ時期會社設立ノ日ヨリ滿十箇年　一目的　純粹種麹製造販賣

一設立ノ年月日　明治四十三年二月十日　一代表社員ノ氏名居住所出資ノ種類價格

及責任　一製麹室二箇附屬品下及器具其他附屬品一切並ニ細菌培養器械化學器械家具什器器物等此評價價格　金一千七百五十圓　無限

右明治四十三年二月十四日登記　秋田區裁判所

株式会社藤崎銀行登記事項中變更

一取締役田中福十郎辭任ニ付抹消ス

右明治四十三年二月十六日登記　弘前區裁判所藤崎出張所

北見株式会社登記事項中左ノ通變更ス

一取締役及監査役任期滿了ノ處明治四十三年一月三十日株主臨時總會ノ決議ニ因リ左ノ通當選就任ス

取締役　佐賀清太郎　八谷理兵衛

取締役　廣谷源治　廣谷季太郎

取締役　八谷傳助

監査役

監査役

右明治四十三年二月十日登記　秋田區裁判所

株式会社二十三銀行中津支店登記事項中門司支店ヲ廃止ス

福岡縣門司市西本町二十五番地

右明治四十三年二月十五日登記　中津區裁判所

株式会社大分貯蓄銀行門司支店ヲ廃止ス

右明治四十三年二月十四日登記　白河區裁判所棚倉出張所

蚕桑共同株式会社登記事項中左ノ通變更ス

一各株ニ付拂込ミタル株金額ヲ四十圓ト變更ス

右明治四十三年二月十四日登記　長井區裁判所荒砥出張所

株式会社藤崎銀行登記事項中變更

右明治四十三年二月十四日登記　秋田區裁判所

株式会社大分貯蓄銀行佐伯出張所登記事項中左ノ通變更ス

一會社公告ノ方法所轄裁判所ノ公告スル新聞紙ヲ以テ公告ス

右明治四十三年二月十四日登記　佐伯區裁判所

株式会社大分貯蓄銀行日出出張所登記事項中支店設置ニ依リ左ノ通變更ス

一門司支店　福岡縣豐前國門司市西本町二十五番地

右明治四十三年二月十四日登記　杵築區裁判所日出出張所

鶴成合資株式会社登記事項中明治四十三年二月十二日臨時株主總會ノ決議ニ依リ左ノ通變更ス

一會社公告ノ方法所轄裁判所ノ公告スル新聞紙ヲ以テ公告ス　一取締役中島新一　岩尾徳太郎　洋末良介　一監査役ニ依リ左ノ通當選ス　一取締役ノ住所氏名東京市牛込區矢來町三番地磯部正勝鹿兒島縣鹿兒島市鴨池屋町百三番地中島新一東京市四谷區四谷坂町六十四番地水上克己　一監査役任期滿了ニ依リ左ノ通變更ス　一監査役ノ住所氏名大分縣速見郡中山香村大字野原百八十四番地帶刀寅吉東京市赤坂區青山高樹町十二番地蜂谷春次郎東京市牛込區新天町百二十四番地ニ移轉

右明治四十三年二月十日登記　杵築區裁判所日出出張所

官報 第8019号 明治43年3月19日

支配人解任登記
韓國農業株式會社釜山支店支配人佐々木清藤解任ニ付代理權消滅
右明治四十三年一月十九日登記

在韓國
釜山區裁判所

支配人選任登記
一支配人ノ氏名住所
一主人ノ氏名住所
一主人ノ營業
釜山港佐藤町二番地
東京市日本橋區蠣殼町一丁目三番地
土地買入農業殖林牧畜農事ノ改良ニ關スル各種ノ事業及農産物ノ賣買倉庫業運送業並貸金業以上ノ事業ヲ助成スヘキ事務ノ經營
韓國農業株式會社釜山支店
釜山港佐藤町二番地
一支配人ノ用ユヘキ商號
一支配人ヲ置キタル場所
右明治四十三年一月十九日登記

在韓國
釜山區裁判所

株式會社變更登記
韓國拓殖株式會社登記事項中左ノ通變更ス
一明治四十三年一月十五日臨時株主總會ノ決議ニ因リ東京市日本橋區蠣殼町一丁目三番地ニ在ル本店ヲ韓國釜山港佐藤町二番地ニ移轉ス
右明治四十三年一月二十日登記

在韓國
釜山區裁判所

株式會社變更登記
韓國拓殖株式會社ハ株主總會ノ決議ニ因リ目的ヲ左ノ通變更ス
一土地及農産物ノ寛買其他農事經營ニ關スル事業
二以上ノ目的ヲ遂スルニ必要ナル附帶ノ事業
右明治四十三年一月二十日登記

在韓國
釜山區裁判所

株式會社都橋市場登記事項中左ノ通變更ス
一監査役久野傳次郎直野市五郎朴鍾陽ハ滿期重任
右明治四十三年二月八日登記

開城區裁判所

○法人登記

（合資會社ニ第二冊第九八號
準スル部）

共同生産合資會社
東京市淺草區馬道町一丁目二十九番地
勤儉貯蓄ノ美風ト會員相互ノ親睦ヲ計リ一定ノ會員ヲ募集シテ之ニ積立金ヲ爲サシメ且ツ利殖ヲ圖リ又會員ノ事業經營ヲ便スル爲メ優免拂戻ノ方法ニ依リ資金ヲ貸付ルヲ以テ目的トス
明治四十三年二月六日
自明治四十三年二月六日
至同六十三年二月六日　滿二十箇年
一社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任
金三百圓　無限
金三百圓　同
金三百圓　有限
金三百圓　同
右明治四十三年二月六日登記

在韓國
釜山區裁判所

株式會社變更登記
韓國農業株式會社ハ株主總會ノ決議ニ因リ目的ヲ左ノ通變更ス
一土地及農産物ノ寛買其他農事經營ニ關スル事業
二以上ノ目的ヲ遂スルニ必要ナル附帶ノ事業
右明治四十三年一月二十日登記

在韓國
釜山區裁判所

一設立年月日
一存立時期
一本店
一目的

一監事ノ氏名住所

右明治四十三年二月十四日登記

伊那區裁判所朝日出張所

産業組合登記第二號
無限責任泉田信用組合登記事項中監事任期滿了改選ニ依リ左記ノ通當選重任セリ
一監事ノ氏名住所
産業組合登記第三號
有限責任田澤購買組合登記事項中監事任期滿了改選ニ依リ左記ノ通當選重任セリ
一監事ノ氏名住所

長野縣小縣郡青木村四百十二番地
同縣同郡同村四百一番地
同縣同郡同村大字田澤三千四番地

産業組合登記第五號
無限責任町小泉購買組合登記事項中理事任期滿了改選ニ依リ左ノ通變更ス
長野縣小縣郡泉田村二百七番地
同縣同郡同村百四十七番地
同縣同郡同村百九十六番地

産業組合登記第八號
無限責任青木信用組合登記事項中監事任期滿了改選ニ依リ左ノ通當選重任セリ
一監事ノ氏名住所

倉坂芳太郎
小林芳右衛門
若林　多十
高柳作太郎
竹花庄太郎
武田由次郎
田中源兵衛
小泉小藤太
新村　清一郎
新村　藤
三輪　重
中村六三郎
有賀豈野三郎
仁科　岡八
有賀春太郎
下澤時太郎
清水　竹藏
小泉小藤太

上伊那郡朝日村大字平出千五百十一番地
同郡同村四百七十一番地
同郡同村五百六十五番地
同郡同村五百二十五番地
同郡同村甲五百五番地
同郡同村三百七番地
同郡同村十九番地
同郡同村百七十三番地
上伊那郡朝日村五百七十六番地
同郡同村四百三十番地
同郡同村四百六十六番地
同郡同村四百六十一番地
同郡同村大字本出三千七百五十番地
右明治四十三年二月十四日登記

伊那區裁判所朝日出張所

産業組合登記第一號
無限責任東組信用組合登記事項中理事山田佐治郎トアルヲ山田佐次郎ト更正ス
産業組合登記第三號
有限責任長地下諏訪平野購買組合登記事項中監事山田佐治郎トアルヲ山田佐次郎ト更正ス
右明治四十三年二月十五日登記

上諏訪區裁判所平野出張所

登記番號第七號
無限責任中山信用組合登記事項中監事任期滿了ニ付左ノ通變更ス
長野縣下伊那郡生田村三百九十七番地
同縣同郡同村三百五十七番地
右明治四十三年二月十二日登記

飯田區裁判所河野出張所

登記第二號
有限責任平出購買組合登記事項中理事及監事滿期改選ニ依リ左ノ通變更ス
一理事ノ氏名住所
上伊那郡朝日村大字平出千五百十一番地
同郡同村四百七十一番地
同郡同村五百六十五番地
同郡同村五百二十五番地
同郡同村甲五百五番地
同郡同村三百七番地
同郡同村十九番地
同郡同村百七十三番地
上伊那郡朝日村五百七十六番地
同郡同村四百三十番地
同郡同村四百六十六番地
同郡同村四百六十一番地
同郡同村大字本出三千七百五十番地
右明治四十三年二月十四日登記

伊那區裁判所朝日出張所

産業組合登記第一號
無限責任泉田信用組合登記事項中理事及監事任期滿了改選ニ依リ左ノ通當選重任セリ
一監事ノ氏名住所
産業組合登記第三號
有限責任田澤購買組合登記事項中監事任期滿了改選ニ依リ左記ノ通當選重任セリ
一監事ノ氏名住所

長野縣小縣郡青木村四百十二番地
同縣同郡同村四百一番地
同縣同郡同村大字田澤三千四番地

産業組合登記第五號
無限責任町小泉購買組合登記事項中理事任期滿了改選ニ依リ左ノ通變更ス
長野縣小縣郡泉田村二百七番地
同縣同郡同村百四十七番地
同縣同郡同村百九十六番地

産業組合登記第八號
無限責任青木信用組合登記事項中監事任期滿了改選ニ依リ左ノ通當選重任セリ
一監事ノ氏名住所

倉坂芳太郎
小林芳右衛門
若林　多十
高柳作太郎
竹花庄太郎
武田由次郎
田中源兵衛
小泉小藤太

長野縣小縣郡青木村五十二番地
同縣同郡同村大字天神千七百三十九番地
右明治四十三年二月十二日登記

上田區裁判所蓼原出張所

○産業組合登記

産業組合登記第二號
無限責任東組信用組合登記事項中理事山田佐治郎トアルヲ山田佐次郎ト更正ス
産業組合登記第三號
有限責任長地下諏訪平野購買組合登記事項中監事山田佐治郎トアルヲ山田佐次郎ト更正ス
右明治四十三年二月十五日登記

上諏訪區裁判所平野出張所

登記番號第七號
無限責任中山信用組合登記事項中監事任期滿了ニ付左ノ通變更ス
長野縣下伊那郡生田村三百九十七番地
同縣同郡同村三百五十七番地
右明治四十三年二月十二日登記

飯田區裁判所河野出張所

登記第二號
有限責任平出購買組合登記事項中理事及監事滿期改選ニ依リ左ノ通變更ス
一理事ノ氏名住所
上伊那郡朝日村大字平出千五百十一番地
同郡同村四百七十一番地
同郡同村五百六十五番地
同郡同村五百二十五番地
同郡同村甲五百五番地
同郡同村三百七番地
同郡同村十九番地
同郡同村百七十三番地
上伊那郡朝日村五百七十六番地
同郡同村四百三十番地
同郡同村四百六十六番地
同郡同村四百六十一番地
同郡同村大字本出三千七百五十番地
右明治四十三年二月十四日登記

伊那區裁判所朝日出張所

産業組合登記第一號
無限責任泉田信用組合登記事項中理事及監事任期滿了改選ニ依リ左ノ通當選重任セリ
一理事ノ氏名住所
産業組合登記第三號
有限責任田澤購買組合登記事項中理事及監事任期滿了改選ニ依リ左記ノ通當選重任セリ
一理事ノ氏名住所

長野縣小縣郡青木村四百十二番地
同縣同郡同村四百一番地
同縣同郡同村大字田澤三千四番地

産業組合登記第五號
無限責任町小泉購買組合登記事項中理事任期滿了改選ニ依リ左ノ通當選重任セリ
一理事ノ氏名住所

倉坂芳太郎
小林芳右衛門
若林　多十
高柳作太郎
竹花庄太郎
武田由次郎
田中源兵衛
小泉小藤太
新村　周治
赤羽甚五郎
村上　榮十
有賀作太郎
古田　啓藏
新村　清一郎
新村　藤
三輪　重
中村六三郎
有賀豈野三郎
仁科　岡八
有賀春太郎
下澤時太郎
清水　竹藏
小泉小藤太

上伊那郡朝日村大字平出千五百十一番地
同郡同村四百七十一番地
同郡同村五百六十五番地
同郡同村五百二十五番地
同郡同村甲五百五番地
同郡同村三百七番地
同郡同村十九番地
同郡同村百七十三番地
上伊那郡朝日村五百七十六番地
同郡同村四百三十番地
同郡同村四百六十六番地
同郡同村四百六十一番地
同郡同村大字本出三千七百五十番地
右明治四十三年二月十四日登記

伊那區裁判所朝日出張所

産業組合登記第八號
無限責任青木信用組合登記事項中理事任期滿了改選ニ依リ左ノ通當選重任セリ
一理事ノ氏名住所

倉坂芳太郎
小林芳右衛門
若林　多十
高柳作太郎
竹花庄太郎
武田由次郎
田中源兵衛
小泉小藤太
新村　清一郎
新村　藤
三輪　重
中村六三郎
有賀豈野三郎
仁科　岡八
有賀春太郎
下澤時太郎
清水　竹藏
小泉小藤太

上伊那郡朝日村大字平出千五百十一番地
同郡同村四百七十一番地
同郡同村五百六十五番地
同郡同村五百二十五番地
同郡同村甲五百五番地
同郡同村三百七番地
同郡同村十九番地
同郡同村百七十三番地
上伊那郡朝日村五百七十六番地
同郡同村四百三十番地
同郡同村四百六十六番地
同郡同村四百六十一番地
同郡同村大字本出三千七百五十番地
右明治四十三年二月十四日登記

伊那區裁判所朝日出張所

産業組合登記第一號
無限責任東組信用組合登記事項中理事山田佐治郎トアルヲ山田佐次郎ト更正ス
産業組合登記第三號
有限責任長地下諏訪平野購買組合登記事項中監事山田佐治郎トアルヲ山田佐次郎ト更正ス
右明治四十三年二月十五日登記

上諏訪區裁判所平野出張所

登記番號第七號
無限責任中山信用組合登記事項中理事任期滿了ニ付左ノ通變更ス
長野縣下伊那郡生田村三百九十七番地
同縣同郡同村三百五十七番地
右明治四十三年二月十二日登記

飯田區裁判所河野出張所

登記第二號
有限責任平出購買組合登記事項中理事及監事滿期改選ニ依リ左ノ通變更ス
一理事ノ氏名住所

有限責任岩倉養蚕信用生産購買販賣組合登記事項中左ノ通變更ス
一理事　丹羽嘉五郎、小笠英、西野百太郎、織司治二郎、田所義平、八島永住男　監事　高部張吉、佐藤國次郎、森兵次郎ハ明治四十三年一月三十一日任期滿了ニ付キ同日總會ニ於テ再選重任ス
右明治四十三年二月十二日登記　脇町區裁判所

産業組合變更登記
有限責任坂手信用組合　監事任期滿了ニ因リ明治四十三年一月二十八日臨時總會ニ於テ改選ノ結果左記ノ者當選就任ス
監事　中井房太郎
監事　川野次郎吉
同　久留島米藏
右明治四十三年二月十二日登記　高松區裁判所草壁出張所

轟豆郡横須賀村大字友國字揚ケ四番地有限責任友國購買販賣組合登記事項中左ノ通變更ス
理事及監事任期滿了ニ付明治四十三年一月三十日總會ニ於テ左記ノ者當選就任シタリ
一理事ノ氏名住所
轟豆郡横須賀村大字友國字揚ケ二十三番地　岩崎彌平次
同郡同村同大字二十三番地　鈴木安右衛門
同郡同村同大字友國二番地　木村丈吉
一監事ノ氏名住所
轟豆郡横須賀村大字友國十五番地　尾崎勇太郎
同郡同村同大字松下二十二番地　尾崎忠太郎
同郡同村同大字八十六番地　荒川德次郎
右公告ス　西尾區裁判所横須賀出張所
明治四十三年二月十日登記

産業組合設立登記
一名稱　有限責任則武信用購買販賣組合
一組織　有限責任
一事務所　岐阜縣稻葉郡則武村百二十一番戸
一目的　組合員ニ産業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト、産業及生計ニ必要ナル物ヲ購買シテ組合員ニ實費ヲ以テスルコト、組合員ノ委托ヲ受ケ其生産シタル農産物ヲ販賣スルコト
一設立許可ノ年月日　明治四十三年二月一日
一出資一口ノ金額　金十圓
一出資拂込ノ方法　第一回拂込ノ金額ハ一口ニ付金二圓ニシテ第一回拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノヽ外組合員ハ第一回出資拂込後五箇年以内ニ全額ヲ拂込ムコトヲ要ス
但其拂込期日及金額ハ理事ノ之ヲ定メ一箇月前ニ組合員ニ通知スルモノトス
一理事ノ氏名住所
稲葉郡則武村百二十一番戸　高橋質
同所百二十四番戸　高橋儀作
同所百九番戸　栗本利吉
同所五十一番地　栗本新治郎
同所二百一番戸　國治郎
一監事ノ氏名住所
稲葉郡則武村百八十六番戸　又平
同所百二十四番戸　加藤與市
同所百二十二番戸　高橋多一郎
右明治四十三年二月十五日登記　岐阜區裁判所
無限責任明知勧勉信用組合監事任期滿了ニ付總會ニ於テ改選ノ結果左記ノ者當選就任ス
監事　西戸助一
同郡同町　土屋金次郎
右明治四十三年二月十四日登記　御嵩區裁判所明知出張所

産業組合設立登記
一名稱　有限責任則武信用購買販賣組合
一組織　有限責任
一事務所　岐阜縣稻葉郡則武村百二十一番戸
一目的　組合員ニ産業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト、産業及生計ニ必要ナル物ヲ購買シテ組合員ニ實費ヲ以テスルコト、組合員ノ委托ヲ受ケ其生産シタル農産物ヲ販賣スルコト
一設立許可ノ年月日　明治四十三年二月一日
一出資一口ノ金額　金十圓
一出資拂込ノ方法　第一回拂込ノ金額ハ一口ニ付金二圓ニシテ第一回拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノヽ外組合員ハ第一回出資拂込後五箇年以内ニ全額ヲ拂込ムコトヲ要ス
但其拂込期日及金額ハ理事ノ之ヲ定メ一箇月前ニ組合員ニ通知スルモノトス
一理事ノ氏名住所
稲葉郡則武村百二十一番戸　高橋質
同所百二十四番戸　高橋儀作
同所百九番戸　栗本利吉
同所五十一番地　栗本新治郎
同所二百一番戸　國治郎
一監事ノ氏名住所
稲葉郡則武村百八十六番戸　又平
同所百二十四番戸　加藤與市
同所百二十二番戸　高橋多一郎
右明治四十三年二月十五日登記　岐阜區裁判所
無限責任明知勧勉信用組合監事任期滿了ニ付總會ニ於テ改選ノ結果左記ノ者當選就任ス
監事　西戸助一
同郡同町　土屋金次郎
右明治四十三年二月十四日登記　御嵩區裁判所明知出張所

産業組合設立登記
一名稱　有限責任則武信用購買販賣組合
一組織　有限責任
一事務所　岐阜縣稻葉郡則武村百二十一番戸
一目的　組合員ニ産業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト、産業及生計ニ必要ナル物ヲ購買シテ組合員ニ實費ヲ以テスルコト、組合員ノ委托ヲ受ケ其生産シタル農産物ヲ販賣スルコト
一設立許可ノ年月日　明治四十三年二月一日
一出資一口ノ金額　金十圓
一出資拂込ノ方法　第一回拂込ノ金額ハ一口ニ付金二圓ニシテ第一回拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノヽ外組合員ハ第一回出資拂込後五箇年以内ニ全額ヲ拂込ムコトヲ要ス
但其拂込期日及金額ハ理事ノ之ヲ定メ一箇月前ニ組合員ニ通知スルモノトス
一理事ノ氏名住所
稲葉郡則武村百二十一番戸　高橋質
同所百二十四番戸　高橋儀作
同所百九番戸　栗本利吉
同所五十一番地　栗本新治郎
同所二百一番戸　國治郎
一監事ノ氏名住所
稲葉郡則武村百八十六番戸　又平
同所百二十四番戸　加藤與市
同所百二十二番戸　高橋多一郎
右明治四十三年二月十五日登記　岐阜區裁判所
無限責任明知勧勉信用組合監事任期滿了ニ付總會ニ於テ改選ノ結果左記ノ者當選就任ス
監事　西戸助一
同郡同町　土屋金次郎
右明治四十三年二月十四日登記　御嵩區裁判所明知出張所

産業組合設立登記
一名稱　有限責任則武信用購買販賣組合
一組織　有限責任
一事務所　岐阜縣稻葉郡則武村百二十一番戸
一目的　組合員ニ産業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト、産業及生計ニ必要ナル物ヲ購買シテ組合員ニ實費ヲ以テスルコト、組合員ノ委托ヲ受ケ其生産シタル農産物ヲ販賣スルコト
一設立許可ノ年月日　明治四十三年二月一日
一出資一口ノ金額　金十圓
一出資拂込ノ方法　第一回拂込ノ金額ハ一口ニ付金二圓ニシテ第一回拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノヽ外組合員ハ第一回出資拂込後五箇年以内ニ全額ヲ拂込ムコトヲ要ス
但其拂込期日及金額ハ理事ノ之ヲ定メ一箇月前ニ組合員ニ通知スルモノトス
一理事ノ氏名住所
稲葉郡則武村百二十一番戸　高橋質
同所百二十四番戸　高橋儀作
同所百九番戸　栗本利吉
同所五十一番地　栗本新治郎
同所二百一番戸　國治郎
一監事ノ氏名住所
稲葉郡則武村百八十六番戸　又平
同所百二十四番戸　加藤與市
同所百二十二番戸　高橋多一郎
右明治四十三年二月十五日登記　岐阜區裁判所
無限責任明知勧勉信用組合監事任期滿了ニ付總會ニ於テ改選ノ結果左記ノ者當選就任ス
監事　西戸助一
同郡同町　土屋金次郎
右明治四十三年二月十四日登記　御嵩區裁判所明知出張所

産業組合設立登記
一名稱　有限責任則武信用購買販賣組合
一組織　有限責任
一事務所　岐阜縣稻葉郡則武村百二十一番戸
一目的　組合員ニ産業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト、産業及生計ニ必要ナル物ヲ購買シテ組合員ニ實費ヲ以テスルコト、組合員ノ委托ヲ受ケ其生産シタル農産物ヲ販賣スルコト
一設立許可ノ年月日　明治四十三年二月一日
一出資一口ノ金額　金十圓
一出資拂込ノ方法　第一回拂込ノ金額ハ一口ニ付金二圓ニシテ第一回拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノヽ外組合員ハ第一回出資拂込後五箇年以内ニ全額ヲ拂込ムコトヲ要ス
但其拂込期日及金額ハ理事ノ之ヲ定メ一箇月前ニ組合員ニ通知スルモノトス
一理事ノ氏名住所
稲葉郡則武村百二十一番戸　高橋質
同所百二十四番戸　高橋儀作
同所百九番戸　栗本利吉
同所五十一番地　栗本新治郎
同所二百一番戸　國治郎
一監事ノ氏名住所
稲葉郡則武村百八十六番戸　又平
同所百二十四番戸　加藤與市
同所百二十二番戸　高橋多一郎
右明治四十三年二月十五日登記　岐阜區裁判所
無限責任明知勧勉信用組合監事任期滿了ニ付總會ニ於テ改選ノ結果左記ノ者當選就任ス
監事　西戸助一
同郡同町　土屋金次郎
右明治四十三年二月十四日登記　御嵩區裁判所明知出張所

無限責任茂申會三成信用販賣購買組合登記事項中左ノ通變更ス
一明治四十三年一月二十六日總會ニ於テ理事及監事改選ノ結果左ノ通當選就任ス
理事　藤田圧六
同　平祇見
同　平繁爲四郎
同　澤西才次郎
同　大谷一六
同　廣橋靜
同　藤田逸美
同　池田延平
同　蓑壽
同　金清進
同　河谷俊平
同　金原治郎
同　金原數馬
同　重川惣平
同　奥田榮太郎
右明治四十三年二月十五日登記　竹原區裁判所西條出張所

有限責任向島信用組合理事林與吉ハ脱退ニ因リ明治四十三年二月十二日共賛格ヲ消滅セリ
右明治四十三年二月十四日登記　金澤區裁判所松任出張所

産業組合登記變更
無限責任粟津信用組合登記事項中明治四十三年二月七日臨時總會ニ於テ改選ノ結果左記ノ者當選就任ス
右明治四十三年二月十六日登記　小松區裁判所

一有限責任鯉城購買組合登記事項中理事兒玉錦平堀幸次郎山根齋岡田賢造任期滿了再選重任セリ
一同上登記事項中監事任期滿了ニ付改選左ノ者當選就任セリ
廣島市研屋町九十五番地三坂繁八同市觀音村二千二十四番地藤井断太郎　廣島區裁判所
右明治四十三年二月十二日登記

無限責任板城販賣購買生産組合登記事項中理事及監事任期滿了ニ因リ左ノ如ク變更
一理事ノ氏名住所
廣島縣賀茂郡板城村大字森近七十九番地　荒谷喜一郎
同縣同郡同村大字同八十九番地　矢吹東四郎
同縣同郡同村大字大澤四十一番地　山田藤四郎
同縣同郡同村大字同四十五番地　寺田圧作
同縣同郡同村大字馬木三十九番地　宮川吾作
同縣同郡同村大字同六番地　土屋和三郎
廣島縣賀茂郡板城村大字森近九十六番地　岩田多次郎
同縣同郡同村大字同六十七番地　荒谷榮太郎
同縣同郡同村大字同七十七番地　辰巳一馬
同縣同郡同村大字同九十五番地　高原健一
同縣同郡同村大字同九十五番地　荒谷坂太郎
同縣同郡同村大字同八十二番地　荒谷政一
同縣同郡同村大字大澤三百九十番地　竹原區裁判所西條出張所

右明治四十三年二月十五日登記

無限責任鄉田北信用販賣購買生産組合登記事項中左ノ通變更
一理事任期改選ニ因リ左ノ者當選ス
廣島縣賀茂郡鄉田村大字田口百番地
同縣同郡同村大字同千八百三十六番地
同縣同郡同村大字同八十二番地
同縣同郡同村大字同千三百四十二番地
同縣同郡同村大字同二千八百十五番地
同縣同郡同村大字同十一番地
同縣同郡同村大字同二千八百十番地
同縣同郡同村大字同百二十三番地
同縣同郡同村大字同百四十五番地
同縣同郡同村大字同二百九十六番地

一監事任期改選ニ因リ左ノ者當選ス
廣島縣賀茂郡鄉田村大字田口三千二百八十番地
同縣同郡同村大字同四十四番地
同縣同郡同村大字同二千百八番地
同縣同郡同村大字同千百七十一番地
同縣同郡同村大字同百三千七百番地
同縣同郡同村大字同百八十五番地
竹原區裁判所西條出張所

右明治四十三年二月十五日登記

無限責任太田信用購買販賣組合登記事項中左ノ通變更ス
一監事任期滿了ニ付明治四十三年一月三十一日組合員總會ニ於テ改選シタルニ左ノ者當選就任ス
監事　阿智郡新砥村大字大野百七十七番地　定岡照次郎
同　阿智郡新砥村大字田淵二千五百八十九番地　奥津菊太郎
右明治四十三年二月十四日登記　新見區裁判所

無限責任西野信用購買組合登記事項ノ變更　監事任期滿了ニ因リ明治四十三年一月三十一日改選ノ結果太田鄉藏、佐々木虎藏ハ重任柴英郡西粟村大字粟谷百三十六番地大門虎吉ハ新任
右明治四十三年二月十四日登記　鳥取區裁判所

無限責任祉信用組合登記事項ノ變更　明治四十三年二月三日存立時期ヲ二十箇年ト變更ス
右明治四十三年二月十五日登記　鳥取區裁判所用瀬出張所

産業組合設立登記　名稱　有限責任殿村信用組合　組織　有限責任　事務所　鳥取縣氣高郡逢坂村大字殿村三百五十九番地　目的　組合員ニ産業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト　設立許可ノ年月日　明治四十三年二月三日　出資一口ノ金額五圓　出資拂込ノ方法　出資拂込ノ第一回拂込金額ハ一口ニ付金五十錢トス第一回拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノヽ外組合員ハ出資後一箇年以内ニ全額ヲ拂込ムコトヲ要ス　理事ノ氏名住所　同縣同郡同村大字殿村二百三十九番地中原義蔵　同縣同郡同村大字同村十番屋敷井上庄藏　同縣同郡同村大字同村六十番屋敷　理事ノ氏名住所　同縣同郡同村大字同村三十八番屋敷　理事ノ氏名住所　同縣同郡同村大字同村百八十六番屋敷井上考吉　存立ノ時期二十箇年
右明治四十三年二月十四日登記　鳥取區裁判所鹿野出張所

無限責任賀野信用組合登記事項變更ノ抹消　明治四十二年五月二十六日錯誤ニヨリ　理事、岡田平次郎、細田信太郎、恩田瀧三郎　監事、門原唯三郎、玉木菊太郎各再選重任ハ抹消ス
同組合登記事項變更　理事、岡田平次郎、細田信太郎、恩田瀧三郎　監事、門原唯三郎、玉木菊太郎任期滿了ノ處明治四十三年一月二十五日改選ニヨリ各重任ス
右各明治四十三年二月八日登記　米子區裁判所法勝寺出張所

無限責任名尾信用購買販賣組合登記事項中變更　理事西川廣三ハ任期滿了ニ付辭任シ佐賀郡松梅村大字松園二十一番地高島與吉改選セラレ川濱正隆寺崎與平次成窪熊吉手塚權作森田倉一納富清六野田藤七山本勇吉監事谷口種市納富良右衛門西川常七ハ再選セラレ明治四十三年一月三十一日就任並ニ重任セリ
右明治四十三年二月十四日登記　佐賀區裁判所三反田出張所

無限責任北信飯信用購買販賣組合登記事項中變更　明治四十三年一月二十九日總會ニ於テ松島郡福村大字大日百七十七番地山崎仁助同所百五十七番地一丸善作同所八千二百六十一番地市丸穆吉同所百六十七百四十八番地大塚八藏ヲ理事ニ同所百七十一番地山崎郁吉同所又百八十
右明治四十三年二月十日登記　武雄區裁判所

無限責任鬱金寺信用及購買販賣組合登記事項中左ノ通變更ス　理事及監事任期滿了ニ付明治四十三年一月二十五日總會ニ於テ梓島郡橘下村大字芦原百六十二番地光武鶴次郎同所百三十七番地眞崎雅九郎同所百七十三番地山口喜助ヲ理事ニ同所四千四百六十八番地山口四久八同所百六十九番地山口佐兵衛同所二千六百八十番地梶原平七ヲ監事ニ選任ス
右明治四十三年二月九日登記　武雄區裁判所

無限責任鬱金信用組合登記事項變更登記　理事監事任期滿了ニ付明治四十三年一月二十三日總會ニ於テ改選ノ結果理事ニ神樹縣島尻郡鹿文仁村字伊奈八十二番地玉城太郎同縣同郡同村字小城百六十一番地宮里滿助同縣同郡同村字米谷百七十六番地久馬長本宮市郎ヲ監事ニ神縄縣島尻郡鹿文仁村字米須百五十七番地山里榮三同縣同郡同村字米谷百七十四番地玉城清榮ヲ選ス
右明治四十三年二月十二日登記　那覇區裁判所糸満出張所

官報 8019 号

無限責任知念村信用組合監事變更登記　監事渓那付八神村朝功任期滿了ニ付改選ノ結果再選重任ス
右明治四十三年二月九日登記　那覇區裁判所與那原出張所

無限責任浦添信用組合役員變更登記　理事監事ノ總員任期滿了ニ付改選ノ結果　理事銘苅雅晴、與座鉢不、宮城喜善　監事知念德利、知念俊仁再選重任ス
右明治四十三年一月十日登記　那覇區裁判所首里出張所

無限責任越來村信用組合變更登記　監事任期滿了ニ付改選ノ結果沖繩縣中頭郡越來村字胡屋百二十六番地高江洲松一同縣同郡同村字諸見里千四百七十九番地佛宗根神明倉當選就任ス
右明治四十三年二月八日登記　那覇區裁判所嘉手納出張所

無限責任具志川村信用組合事務所ハ明治四十三年一月二十四日沖繩縣中頭郡具志川村字上江洲五百十五番地ヘ移轉ス　無限責任具志川村信用組合理事辭任ニ付明治四十三年一月二十九日株主總會ニ於テ沖繩縣中頭郡具志川村字具志川三百五十一番地義田善永同縣同郡同村字宮里七百四十二番地久吉倫祥選任ス　無限責任具志川村信用組合監事任期滿了ニ付明治四十三年一月二十九日株主總會ニ於テ沖繩縣中頭郡具志川村字具志川百四十番地德吉松次郎同縣同郡同村字上江洲三百二十九番地天願松藩選任ス
右明治四十三年二月十日登記　那覇區裁判所具志川出張所

無限責任國頭間切販賣購買組合理事監事變更登記　理事監事任期滿了ニ付改選ノ結果理事宮城清永同邊野喜前原、監事金城永元、同友寄吳賀再選重任シ國頭郡國頭村字邊土名五百九十番地宮城親吉ハ理事ニ當選就任ス
右明治四十三年二月八日登記　那覇區裁判所大宜味出張所

無限責任今歸仁村販賣購買信用組合監事任期滿了ニ付明治四十三年一月三十日臨時總會ニ於テ國頭郡今歸仁村字今泊百二十二番地城間伊藏同郡同村字湧川三百八十七番地仲宗根宗助當選セリ
右明治四十三年二月九日登記　那覇區裁判所渡久地出張所

產業組合登記簿第一號
保證責任大高根村產牛信用生產販賣組合變更事項左ノ通
一理事及監事滿期改選
同　上　理事重任　永澤平兵衛　齋藤　貞
理事新任　北村山郡大高根村大字山ノ內二百六十七番地　井上　鶴吉
監事重任　北村山郡大高根村大字富並八百九十六番地　大沼　文友
監事新任　黑沼金次郎
同　上　同所千八百八十五番地　寺崎　幸吉
右明治四十三年二月十四日登記　山形區裁判所白鳥出張所

有限責任錦田生產組合登記事項中變更
一理事及監事任期滿了ニ付明治四十三年二月二日總會ニ於テ左ノ通選任
理事　南部賜郡錦田村大字錦田千七百九十七番地　五十嵐惣太郎
同　同郡同村大字中田百六十九番地　加藤龍太郎
同　同郡同村大字錦田三千四十八番地　佐藤　勘助
監事　同郡同村大字同三千十九番地　佐藤小太郎
同　東餐賜郡上鄉村大字淺川七百八十八番地　油井　運藏
同　同郡同村大字下新田六百九十三番地　高橋　倉吉
右明治四十三年二月十四日登記　米澤區裁判所糠野目出張所

有限責任大辰信用組合登記事項中監事任期滿了ニ付明治四十三年二月一日總會ニ於テ左者選任ニ因リ變更ス
一監事ノ氏名住所　嶺手縣九戶郡大野村大字大野九十九番戶　野田　米吉
同縣同郡同村大字同九十七番戶　野村　元吉
同縣同郡同村大字同五十六番戶　野田　三郎
右明治四十三年二月十五日登記　福岡（盛岡地方裁判所管內）區裁判所大野出張所

無限責任下奥玉信用組合監事任期滿了ニ依リ明治四十三年一月三十一日總會ニ於テ左記ノ通選任セラレタリ
東磐井郡奥玉村字刈屋野百十一番地　菊地　順
同郡同村二百九十一番戶　佐藤　彌助
右明治四十三年二月十五日登記　磐井區裁判所千厩出張所

無限責任若柳信用組合登記事項中監事任期滿了シ明治四十三年一月三十日總會ニ於テ左記ノ通選任セラレタルニ因リ變更ス
一監事ノ氏名住所　膽澤郡若柳村若柳字津倉田二十三番地　阿部　良作
同郡同村同字松原九番地　渡邊　行宗
右明治四十三年二月十四日登記　水澤區裁判所

無限責任姉体村實業同盟會信用生產購買販賣組合理事及監事任期滿了シ明治四十三年一月二十七日總會ニ於テ左記ノ通選任セラレタルニ因リ變更ス
一理事ノ住所氏名　膽澤郡姉体村白山二十五番戶　安彥　鶴松
同郡同村秋成百七十九番戶　菊地常三郎
同郡同村同百六十八番戶　菊地　喜內
一監事ノ住所氏名　膽澤郡姉体村秋成字水ノ口前百九十番地　岡元　國藏
同郡同村白山四十八番戶　佐々木午吉
同郡同村同二百八十一番戶　佐藤貞之丞
右明治四十三年二月十四日登記　水澤區裁判所

○禁治產宣告

愛媛縣松山市大字南北行町二十三番地　福水　旭
右ニ對シ繼毋マスエノ請求ニヨリ當區裁判所ハ明治四十三年三月三日禁治產ヲ宣告シタリ
明治四十三年二月十四日生
明治四十三年三月三日　松山區裁判所　判事　瀧本駒太郎

○準禁治產宣告

神奈川縣橘樹郡町田村矢向八百三十二番地平民農宗次郎長男　中村橘三郎
右ノ者ニ對シ實父宗次郎ノ申立ニ依リ當區裁判所ハ浪費者ト認メ明治四十三年三月四日準禁治產ノ宣告ヲ爲シタリ
明治四十三年三月四日　橫濱區裁判所　判事　大野惠眼

愛媛縣溫泉郡坂本村大字窪野九十番戶　橋　久惠
右ニ對シ父佐七ノ申立ニヨリ當區裁判所ハ浪費者ト認メ明治四十三年三月三日準禁治產ヲ宣告シタリ
明治四十三年三月三日　松山區裁判所　判事　瀧本駒太郎

第8019号